# 法学部

School of Law

## ■ 法律学科

ビジネスローコース

- 国際関係法コース

法と情報コース

- 公共法務コース

法曹コース

明治大学法学部の強み

# 豊かな法的素養を育む教育プログラム

将来が具体的に見えてくる! 5つのコース制

2年次から「ビジネスロー」「国際関係法」「法と情報」「公共法務」「法曹」の5コースに分かれ、専門性を身につけます。 フレキシブルに、コースの垣根を越えて幅広く学べます。

まずは六法の読み方、論文の書き方を学ぼう! リテラシー教育

法律学を学ぶために必要な基礎知識を、1年次の必修科目「法律リテラシー」「法学部生のための日本語」で習得します。 法律の調べ方や文章の理解力を高め、論文の書き方を学びます。

グローバルな社会で活躍したい! 外国語教育・外国語による法律授業

> 国際社会やグローバル企業で活躍する人材を育てる外国語教育や国際交流が充実。 海外研修や、海外留学支援など、国際化社会に対応したプログラムを用意しています。

先生と一緒に研究を楽しもう! / 多彩な少人数教育

> 少人数で行われるゼミナール教育は、講義形式の授業と異なる「参加型」。 単に知識を吸収するだけでなく、プレゼンテーション能力や問題解決能力の向上を目指します。

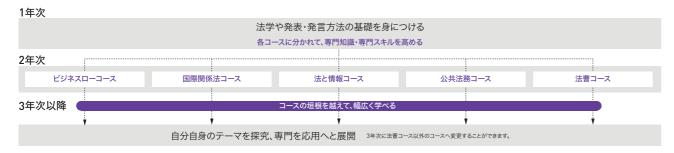




## 5コース制で専門性を高めながら、関連分野まで幅広く学べます

学科制とは異なる5つのコース制を採用しています。「法学」の知識は、弁護士や司法書士などの法律関連専門職はもちろん、公務員、金融、マスコミ、情 報、通信などあらゆる分野で活かすことができます。入学後、自分の志望に合わせて、その進路に合ったコースを選択し、専門性を高めます。また、コー スの枠を超えた授業履修も可能ですので、自分自身のテーマを探究しつつ、関連分野まで幅広く学ぶことができます。

#### ■ 学びとコース選択の流れ



#### ■ カリキュラム体系図 □=必修科目

		1年次	$\rangle$ :	2年次	》 3年次	〉 4年次
基礎科目群		<ul><li>○法律リテラシー</li><li>○法学部生のための日本語</li><li>I (リテラシー)・II (精読)</li></ul>			,	,
	人間と科学			『「・II、スポーツと社会A・B、身体活動と健康A・B、身体と環境A・B マイノリテ 会「・II、情報と思考」・II、エネルギーと環境」・II、科学と技術「・II		・ツとメディア、科学技術と社会、エネルギー・環境正
	社会と思想		礎論、政治社会学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅲ、歴史学(西洋史)、歴史学(東洋史) 『史Ⅰ・Ⅱ、社会思想史Ⅰ・Ⅱ、現代世界と社会思想Ⅰ・Ⅱ、映像リテラシーⅠ・Ⅲ		現代哲学、社会思想史III・IV、メディア文化論I・II、映画論A・B	
教養科目群	地域と文化	ドイツ語圏の文化I・II、フランス語圏の文 イスラーム文化I・II、日本文化A~DI・II、		圏の文化Ⅰ・Ⅱ、アジア文化Ⅰ・Ⅱ	ドイツ語圏の文化II・IV、ヨーロッパ文化I・II、アメリカ文化I・II、英語圏の スペイン文化I・II、ラテンアメリカ文化I・II、アフリカ文化、アジア文化III・IV イスラーム文化II・IV、比較文化AI・II、BI・II	
	共通	テーマ講座				
外国語科目群		■ 外国語科目 I English A1·II, B1·II 初級ドイツ語実践 1·II, B1·II 初級ドイツ語実践 1·II 特別ドイツ語 (1年) A1·II, B1·II 初級 フランス語 (1年) A1·II, B1·II 初級フランス語 (1年) A1·II, B1·II 初級中国語 A1·II, B1·II 初級アイン語 A1·II, B1·II 初級アボイン語 A1·II, B1·II	■ 外国語科目 II English C1・II English C1・II Presentation A1・II Media English A1・II Withing A1・II TOEIC*/TOEFL*講座A1・II TOEIC*/TOEFL*講座A1・II 中級ドイツ語A1・II トルジョゼミナールA1・II 時事ドイツ語A1・II 特別ドイツ語A1・II 特別ドイツ語(2年)C1・II、D1・II トクリ語(2年)C1・II、D1・II 下イツ語(2年)C1・II、D1・II 下イツ語(2年)C1・II、D1・II 下イツ語(2年)C1・II、D1・II 下列:II 下イツ語(2年)C1・II、D1・II 下列:II 下列	中級フランス語AI・II、BI・II 中級フランス語実践I・II フランス語なEI・II 資格フランス語AI・II 資格フランス語AI・II 特別フランス語(2年) CI・II、DI・II 中級の中国語AI・II、BI・II スペイン語実践I・II 中級ロシア語AI・II、BI・II 日本語(2年) CI・II、DI・II	■ 外国語科目 III English Seminar B1·II Presentation B1·II Media English B1·II Advanced Reading1·II Writing B1·II ドイツ語ゼミナールB1·II 時事ドイツ語B1·II 上級ドイツ語1・II 上級ドイツ語1・II 上級ドイツ語1・II	時事フランス語BI・II 資格フランス語BI・II 上級フランス語   II 上級フランス語   II 上級フランス語   II 上級中国語AI・II、BI・II 上級スペイン語AI・II、BI・II 上級ロシア語AI・II、BI・II
保健体育科目	群	◎基礎運動実習Ⅰ・Ⅱ	スポーツ実習			
法律必修科目	群	◎憲法(人権) ·   ◎民法(総則) ·   ◎刑法(総論) ·	<ul><li>◎憲法(統治)   ·    ○民法(</li><li>◎刑法(各論)   ·   </li></ul>	債権総論)Ⅰ・Ⅱ		
演習科目群					◎専門演習A I・II	◎専門演習BI·Ⅱ
コース科目群			科目詞	詳細は学部ガイドを参照して	てください	
自由選択科目	群	■ 他学部履修科目(各学部のカリキュラ <i>L</i>	ュや配当年次に従って60単位まで/	優修可能) ■ グローバル人材育成プ	社会政策 I・II、経済政策 I・II、 ログラム ■ 情報関係科目 ■	
留学関係科目	群	留学関係科目A~EI・Ⅱ・Ⅲ、留学関係科目	IFI·Ⅱ、留学基礎講座 A~DI·Ⅱ	(B·Cのみ2~4年次配当)、Legal Stu	dies Abroad A~EI·II、Japar	nese Law Study in English AI · II
資格課程関係科目群 教育職員免許状取得用科目						

※カリキュラムは、一部変更となる場合があります。最新情報は法学部ホームページをご確認ください。

#### 「個」を強くするゼミナール教育

### 強い「個」を育むために、 法学部は少人数による参加型授業= ゼミナールを重視しています。

法学部では、1年次から段階的に履修できる演習形式の 授業を設けています。中でも3年次から履修するゼミは 受け身で講義を聴くのではなく、学生主体の参加型の授業。 少人数の学生が意見交換をしたり、テーマを決めてディ スカッションしたり、プレゼンテーションをしたりしなが ら、「発言」「発表」「探究」することで、コミュニケーション 能力や問題解決能力が培われます。



#### 当事者の立場で考えることの大切さを実感。

判例を題材としたディベートを通じて、憲法への理解を深める憲法ゼミに 所属しています。憲法にかかわる判例が中心ですが、一票の格差や夫婦別 姓の是非など、メディアや世論で話題になったことについて議論すること も。自分の視点だけでなく、当事者の立場から俯瞰的に事象を捉え、考え られるようになりました。この力を活かし、他の人の意見に耳を傾けて柔 軟に対応することで、円滑な対人関係を構築したいです。

法律学科公共法務コース3年 金森 一慶さん (福島県私立日本大学東北高等学校卒業)

## ビジネスローコース

## コース詳細・コース科目

学部ガイド

P.13

## 企業や社会で役立つ リーガルマインドを養う

「リーガルマインド」を身につけ、企業の法務部門への就職や海 外のロースクールへの進学を希望する学生が対象です。基本 六法のほか、銀行取引法や金融商品取引法といった多様な法 律科目、さらにはBusiness Law in English などの英語科目も 配置。きめ細かい教育を行っています。



#### 授業レポート 会社法

企業の仕組みや活動について、 法律がどのように規制している のか、またなぜそのように規制 しているのかを学びます。社会 に出てからも、不断に変化する 経済社会の最前線に目を向け ることができるようになります。

## 目指す将来イメージ

- 企業経営や経済活動に関する豊富な法的リテラシ を持つビジネスパーソンとして、企業や団体で活躍する
- ソフト商品を扱う企業で知的財産権の管理と活用に よって法的な観点から経営戦略を立案する
- 企業組織の内部統制システムの構築と実践に取り組 み、企業の法務部門で契約を有利に進める戦略を練る
- 海外との取引や海外子会社設立および海外での事業
- 活動の展開など、国際的なビジネス法務に集わる

#### 国際関係法コース

## 地球規模で通用する 法的ルールを考える

国家間の共通のルールである国際法と、各国が外国との対外関 係について定めた国内法の両面から、国際的な活動に関する法 律について学びます。特徴的なのは、法律だけでなく文化に関 する科目も設置していること。その国の社会を知ることで国際 関係法への理解も深められるようになっています。



#### 授業レポート フランス法 吉井啓子 教授

授業では、フランスにおける家族 や財産をめぐる法律問題につい て、日本と比較しながら勉強しま す。同性婚、遺産相続、動物虐待、 高齢者の住居、老朽化マンショ ン、債権担保の仕組みなど様々 なテーマを取り上げます。

#### 目指す将来イメージ

コース詳細・コース科目

コース詳細・コース科目

- 国連などの国際機関で活躍
- 海外の日系企業で現地のメンバーと協働する
- 人権・環境・経済援助などの 活動をするNGOで活躍
- メーカー・商社などの 輸出入や投資にかかわる部門で活躍

### 法と情報コース

## 情報社会における 問題解決能力を養う

インターネットやスマートフォンの普及により情報社会の利便性 が飛躍的に拡大する一方、新たな検討課題も出現しています。問 題解決に必要な現行法令を正確に理解する能力を養うととも に、IoTやAI等の情報関連の新規立法や内外の最新動向の情報 を提供し、これからの社会を力強く生きる人材を育成します。



#### 授業レポート サイバー法 佐々木 秀智 教授

インターネット上で生じる様々 な法的問題について考えてい きます。ITの進歩は日進月歩な ので、迅速かつ的確な法的対 応を行うためには、現行法の理 解を前提とした柔軟な思考が

## 目指す将来イメージ

- 企業の情報財・知的財産の管理・運用担当者
- 管理·運用扣当者
- 企業などの情報セキュリティ・危機管理の担当 者、アドバイザー
- 行政機関,企業などにおける

国・自治体の電子化された業務の

### 公共法務コース

## 幅広く活躍する 公務員の土台をつくる

年々希望者が増加している、国家・地方公務員や法律関連専門 職を目指すコースです。憲法や民法、行政法を中心に、各種試験 の準備に役立つようにカリキュラムが構成されています。一般 的な公務員だけでなく、国税専門官や労働基準監督官など、多 方面にわたる公務員を目指すことができます。



## 行政法 下川環 教授

今日 高度情報化 小子高齢化 物砂温暖化な どに伴う現代的問題が山積しています。行政 は、これらの課題に迅速に対応する必要性に 迫られていますが、その際、法律上専門技術的 な裁量が与えられていることが少なくありませ ん。この裁量権の適正な行使を確保し、民主的 ための法理を探究する学問が行政法学です

# コース詳細・コース科目

#### 目指す将来イメージ 国家・地方公務員として行政に携わる

- 国会の事務局・法制局などに勤務し
- 立法にかかわる仕事に携わる
- 行政書十の資格を取得する
- 税理士の資格を取得する

### 法曹コース

## 第一線の法曹実務家となる 知識と能力を養う

裁判官、検察官、弁護士といった法曹と、その他法律関係の資格 取得に特化したコースです。法科大学院入学、司法試験予備試 験合格のために、憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟 法の6科目を中心に学び、基礎的知識とリーガルマインドを身 につけます。



## 授業レポート

わが国の犯罪捜査は高い検挙 率を誇り、刑事裁判の有罪率も 99%を超えます。しかし、捜査・ 裁判や刑罰は人権制約を伴い 時には「えん罪」も起こります。

#### 目指す将来イメージ

- 裁判官、検察官、弁護十、司法書十などの
- 全国の法科大学院への進学
- 大学教員などの法律研究者



刑事手続きの在り方を老えます。

コース詳細・コース科目

### 法学部•法制研究所共催 「予備試験対策答案練習講座」

予備試験とは、司法試験を受けようとする者が法科大学院修了者と同等の学識およびその応用力ならびに 法律に関する実務の基礎的素養を有するかどうかを判定することを目的とし、短答式および論文式による 筆記ならびに口述の方法により行うものです。選択科目があること、短答式試験に合格→論文式試験に合 格→口述試験に合格と、段階的に試験が進む点に特徴があります。

法学部では、法制研究所と連携し、2016年度から同試験に対応するため「論文の書き方」を中心とした講 座を実施しており、本講座を受講する在学生から予備試験合格者が出ています。また、4年生の多くは法 科大学院の入学試験を突破しており、本講座は予備試験のためだけでなく、法曹を目指す学生の学習の 一助ともなっています。講師は、本学法学部出身の若手弁護士や司法修習生が担当し、自身の経験も踏ま えたきめ細かい指導にあたっています。そのため、参加学生の満足度は高く、多くの学生が翌年度以降も 継続して受講しています。また付属高校生も受講するなど、法曹を目指す強い志を持った学生たちが切磋 琢磨しています。





**TOPICS** 

## 留学制度 法学部主催

#### 短期留学プログラム

夏休み・春休みの2週間~1カ月を利用し、海外の大学で現地の法律について学ぶことで、英語での専門知識を深めることのできる、法学部なら ではの短期留学プログラムです。

#### **<プログラム>**

大学はノーベル賞受賞者を多数輩出している名 ムです。 門校です。



## ケンブリッジ大学夏期法学研修(イギリス) デ・ラ・サール大学春期法学研修(フィリピン) ハワイ大学春期法学研修(アメリカ)



夏休みの約1カ月間、イギリスのケンブリッジ大学春休みの約2週間、フィリピンの名門校、デ・ラ・春休みの約2週間、アメリカ国内の全ロースクール で英国法の理論および実践的な側面を、ネイティ サール大学で、英語のみを使用し、フィリピンの法 の中で、最も多様な学生構成かつ教授陣と評価 プの講師から学ぶプログラムです。ケンブリッジ 律を中心に、文化や社会についても学ぶプログラ されるハワイ大学マノア校ウィリアム・リチャード ソン法科大学院でアメリカ法を中心に学ぶプログ ラムです。



#### 学部間協定留学

法学部と交換留学の協定を締結している学部間協定校に交換留学生として留学できる、1学期間~1学年間の長期留学プログラムです。留学先 で修得した単位の一部が条件付きで卒業要件単位として認定されます。

<協定校> 南京師範大学(中国)、サンパウロ大学(ブラジル)、バイロイト大学(ドイツ)、国立台湾大学(台湾)

#### **OB-OG MESSAGE**

国家を支える、スケールの大きな政策に携われることが魅力です。



国土交通省 航空局総務課政策企画調査室

朝井 麻由さん 法律学科公共法務コース2019年卒業 (大阪府立三国丘高等学校卒業)

少子高齢化や環境問題、ポストコロナへの対応など、現代の社会には多くの問題がありますが、それら の多種多様な課題を自分ごとと捉え、解決に貢献したいと公務員を志しました。国土交通省を選んだの は、人々の日常生活に密接にかかわる、幅広い政策分野に携われることや、国家全体に影響する政策の スケールの大きさに魅力を感じたからです。現在は、空港使用料の制度の整備や、地方創生事業の一環 として、地方空港へのインバウンド誘致に関する仕事に取り組んでいます。在学中は、多くの法に触れ、 法律独特の表現に慣れることができたおかげで、初見の法律を読み解く力を養うことができました。 国家公務員として法律改正に携わるための基礎知識として、役に立っています。また、ゼミで知的財産 法について研究できたことも貴重な経験でした。発明やアイデアなど、知恵から生まれた財産を法的に 守る意義など、自分のイメージとは違う考え方に気づくことができ、視野が広がりました。これからは、 様々な分野での経験を積み重ねていきながら、影響力が大きい仕事だからこそ、色々な立場の人の目線 に立って政策を考えられるような公務員になることが目標です。

教員	員紹力	个・研究ラ	=	※2023年4月1日現 ※退職等により変更	在 ことなる場合があります。
科目	氏名·職名	研究テーマ	科目	氏名·職名	研究テーマ
憲法	大津浩 教授	国家構造と地方自治の憲法理論、自己決定権、	外国法	佐々木 秀智 教授	アメリカ不法行為法理の現代的役割

科目	氏名·職名	研究テーマ
憲法	大津浩 教授	国家構造と地方自治の憲法理論、自己決定権、 憲法と文化
憲法	江島 晶子 教授	多元的・非階層的・循環的な人権保障システム、 グローバル立憲主義
憲法	辻雄一郎 教授	憲法(司法審査、州際通商)、 行政法(行政機関の法的統制)
憲法	江藤 英樹 教授	フランスの違憲立法審査権についての研究
教育法	斎藤 一久 教授	憲法と教育
行政法	下川環 教授	民主的責任行政の日米比較法研究
行政法	横田 明美 教授	データ駆動社会における情報行政法、 行政訴訟論、リスク制御のための法政策論
租税法	小林宏之 教授	租税法学の基礎理論、所得課税法、 消費課税法に関する研究
民法	林幸司 教授	契約の不成立、無効、取消、解除の研究
民法	長坂 純 教授	契約責任の構造と射程、 民事責任の分化史的諸相、役務提供契約論
民法	川地 宏行 教授	金融サービス業者の民事責任、 キャッシュレス支払手段、金銭債権の研究
民法	都筑 満雄 教授	現代における複雑な契約関係、 集団的消費者被害の救済、キャッシュレス決済法
民法	有賀 恵美子 教授	契約締結過程における諸問題
民法	星野茂 准教授	現代社会の家族をめぐる法的諸問題
民法	亀田浩一郎 准教授	物的担保と公示方法
民法	神田 英明 専任講師	契約の拘束力に関する基礎理論の再検討、 善意者保護法理の再検討
刑法	中空壽雅 教授	規範論的観点による犯罪成立要件の検討
刑法	内田 幸隆 教授	刑法総論の理論的枠組みを背景とした 財産犯体系の再構築
刑法	川口浩一 教授	刑法理論の哲学的基礎
刑事訴訟法	黒澤睦 教授	刑事司法をめぐる諸問題の理論的検討
刑事訴訟法	石田 倫識 教授	被疑者、被告人の防御権(黙秘権、弁護士の援助 を受ける権利)と誤判冤罪事件の研究
犯罪学·少年法	上野正雄 教授	犯罪統制活動および 少年法・少年事件に関する諸問題
商法	南保勝美 教授	現代会社法制の基本問題とその比較法的考察
商法	柿﨑環 教授	資本市場法規制における コーポレート・ガバナンス・システムのあり方
商法	根本 伸一 教授	少数株主保護、企業買収、取締役の義務
商法	高木正則 准教授	商法上の諸問題、支払決済制度の発展に伴う 法制度・法理論の展開
商法	陳亮 専任講師	保険をめぐる各種の法律問題と その比較法的研究
民事訴訟法	岡田洋一 教授	知的財産をめぐる訴訟上の諸問題
民事訴訟法	柳川 鋭士 准教授	民事訴訟手続の迅速化に関する 立法論的・解釈論的手段
労働法	小西 康之 教授	労働法規整のあり方に関する考察
労働法	山川隆一 教授	労働紛争処理、労働法及び労働政策の実現手法
社会保障法	小西 啓文 教授	介護サービスの質の確保についての 日独比較法研究
経済法	山部 俊文 教授	経済法・独占禁止法に関する諸問題
知的財産法	金子 敏哉 教授	知的財産法の相互比較、 民法との対比による研究
医事法	小西 知世 准教授	看護制度・医療スタッフ間の 業務分担構造に関する研究、医事法制史
法情報学	夏井高人 教授	ネットワーク社会の法、法情報論、人工知能と法、同一性の識別
情報法	丸橋 透 教授	インターネット上のプラットフォーマーの 民事責任と公法上の責務
国際法	西元 宏治 教授	条約法の現代的展開、国際法秩序の多元化と 国際法上の紛争処理
国際法	水田 周平 専任講師	海洋法·武力紛争をめぐる諸問題
国際私法	福井清貴 専任講師	国際私法における当事者自治の原則
外国法 (中国法)	鈴木賢 教授	現代中国法の各分野、司法制度、
外国法	メンクハウス, ハインリッヒ	台湾の民主化と法 国際企業法、比較憲法学、 日独生律な音中 宗教と注
(ドイツ法)	ヨハネス 教授	日独法律交流史、宗教と法

科日	戊石・臧石	研究アーマ
外国法 (アメリカ法)	佐々木 秀智 教授	アメリカ不法行為法理の現代的役割 (公益実現の道具としてのtorts)の分析
外国法 (フランス法)	吉井 啓子 教授	日仏物権法における諸課題の研究
外国法 (EU法)	佐藤 智恵 教授	EU法が既存の国際法秩序に与える影響
法社会学	太田 勝造 教授	交渉およびADRによる紛争解決、 リーガル・マインド研究、弁護士論、社会規範論など
法史学 (東洋)	陶安 あんど 教授	最新史料に見る秦·漢法制の変革と 帝制中国の成立
法史学 (西洋)	小室 輝久 教授	ヨーロッパにおける 紛争解決・統治・行政に関する歴史的諸問題
日本近代法史	村上一博 教授	近世・近代東アジアにおける 民事法の展開と法曹の役割
法哲学	小林 史明 准教授	法と人文学に関する研究
法思想史 (西洋)	亀本洋 教授	現代正義論史
英語	西垣 学 教授	表象文化論
英語	矢ケ﨑 淳子 教授	アメリカ社会・文化と民族性
英語	斎藤 英治 教授	現代米文学およびアメリカ映画史
英語	中村和恵 教授	英語圏を中心とする比較文学・比較文化 およびマイノリティ研究
英語	辻岡 宏子 教授	第二言語習得理論および外国語教育
英語	堀田秀吾 教授	法コンテキストにおける言語使用の分析、 英語と日本語の統語論·語形成論
英語	鈴木哲也 教授	コミュニケーションテクノロジーの発達と 社会構造の変化の相関性
英語	実村文 准教授	教会音楽、演劇
英語	上村 威 准教授	国際関係、中国外交
英語	ダン, ジェームス デウィット 専任講師	批判的思考とカリキュラム設計、異文化間コミュ ニケーション能力、ゲーミフィケーション
ドイツ語	シェアマン, スザンネ 教授	映画学(映画史、映画理論)、映画製作
ドイツ語	伊藤 真弓 准教授	19世紀末ミュンヒェンの文化と社会、 ルーマニアの文化
ドイツ語	佐藤 公紀 専任講師	近代ドイツにおける監獄制度の歴史的展開、 ドイツの右翼ポピュリズム
フランス語	乾昌幸 教授	俳句創作の国際普及活動および比較研究、 文化基層比較論
フランス語	岩野 卓司 教授	哲学、思想史、贈与研究、共同体研究、 バタイユ研究
フランス語	渡辺響子 教授	19世紀フランス小説文学における身体表象
スペイン語	大楠 栄三 教授	19・20世紀交替期スペインの作家たち
スペイン語	松尾俊輔 専任講師	20世紀初頭南米における国家形成とスポーツの歴史
中国語	加藤 徹 教授	中国伝統文化·表象文化
中国語	川野 明正 教授	中国の民間信仰(呪術・呪符・土俗神)、 少数民族文化(中国西南諸民族)
中国語	西川和孝 准教授	漢族移民に起因する少数民族世界に起きた 変化とその多角的分析
国語	田島 優 教授	日本語の歴史、日本の方言
国語	神田 正行 准教授	日本における中国古典小説の受容
国語	小財 陽平 准教授	江戸時代の漢詩文
国語	伊藤 剣 准教授	神話
エネルギーと環境	勝田 忠広 教授	原子力政策、原子力工学
社会思想史	田中 ひかる 教授	ドイツ・アナーキズム史、 ロシア・ユダヤ系移民史
哲学	越門 勝彦 准教授	行為の動機づけにおける欲望の役割
基礎運動実習	多田 聡 教授	北欧の生活文化、障がい者の野外活動と レクリエーション
基礎運動実習	釜崎太 教授	市民社会とプロスポーツの関係、ドイツの スポーツクラブ研究、身体文化史、身体論
基礎運動実習	土方 圭 准教授	野外教育の教育的意義に関する理論的検討
法律リテラシー	田村翔 助教	規範論に基づく過失犯論の研究
	石居 圭 助教	被害者の承諾とパターナリズム

### ビジネスの最前線で活躍できる人間力を育む

# 商学部

School of Commerce

## ■ 商学科

アプライド・エコノミクスコース

— マーケティングコース

ファイナンス&インシュアランスコース

- グローバル・ビジネスコース

ー マネジメントコース

一 アカウンティングコース

- クリエイティブ・ビジネスコース

#### 明治大学商学部の強み

# 世界で活躍できるビジネスパーソンを育成

自分の興味に合ったコースを入学後に選択! 自由度の高い7つのコース制

1・2年次は基礎・総合教育科目を学び、3年次より7つの専門コースから自分の希望のコースを選択します。他のコースの科目も履修可能。自由度が高く、幅広く学べます。

課題を相対的に捉える力を養う 演習教育の「ダブル・コア」

商学に関するあらゆる領域を研究対象とする商学専門演習と教養系の総合学際演習の2つのゼミを 2年次から3年間履修できます。異なる性質の2つのゼミを同時に履修することで複眼的思考力が身につきます。

地域・産学連携による自主・自立型実践教育

自主・自立的に問題解決が図れる人材の育成プログラム「地域・産学連携による自主・自立型実践教育」を導入。 社会の中で主体性を持って働くための基礎を学べます。

世界に羽ばたくための語学力を習得 多言語4年間一貫教育

TOEIC®、TOEFL®の団体受験や海外留学支援、3·4年次の「発展外国語」開講など、語学教育にも力を注いでいます。





## 1・2年次の基礎学習をもとに、 3年次より自分に合ったコースを選択

商学のあらゆる分野の基礎を学んでから、3年次より進路を自由に選べるコース制を採用しています。現代社会の情報化とグローバル化の動向をふま えて、〈実学-理論〉と〈情報化-グローバル化〉を軸とした7コースを設置し、学生の多様な志向に応えています。選択したコース以外の科目も履修するこ とができるため、より幅広く学ぶことが可能であり、それらも卒業要件として認められます。

#### ■ 学びとコース選択の流れ、カリキュラム体系図



#### ■ カリキュラム体系図

					,	
			1年次	〉 2年次	》 3年次	<b>~ 4</b> 年次
基礎	養教育科目		○基礎演習、○文章表現、○経済学A·B			
7	文化と芸術		日本文化史A·B、西洋文化史A·B、日本語表現論A·B	B、日本近代文学A·B、日本古典文学A·B、宗教学A·B	外国文学(西洋)A·B、外国文学(東洋)A·B、芸術(音	楽)A·B、芸術(美術)A·B
総士	地域と社会		法学A・B、アジア史A・B、地理学A・B、社会学A・B	3、社会思想史A·B	日本思想史A·B、政治学A·B、人類学A·B	
総合サ	人間と自然		哲学A·B、自然科学概論A·B、生命科学A·B、線型数学A·B、	解析数学A·B、化学A·B、言語学A·B、論理学A·B、心理学A·B	物理学A·B、環境科学A·B	
	外国人留学生のため	めの科目	日本事情A·B·C·D·E·F			
	総合学際演習			総合学際演習、特別テーマ演習科目(総合教育科	目)A·B·C·D、卒論指導科目A·B	
ŧ	特別認定科目(総合	合教育科目)	特別認定科目(総合教育科目)			
۱,	既習外国語	必修	○口語英語、○英語講読、○基礎英語、○上級英	語		
ا ا	<u>ル目/下凹記</u>	選択			発展英語	
No.		必修	△ドイツ語、△フランス語、△中国語、△韓国語、△ス	ペイン語、△ロシア語、△日本語〈留学生のみ選択可〉		
1	初習外国語	選択	初級ドイツ語プラスワン、初級フランス語プラスワン、 初級中国語プラスワン、初級韓国語プラスワン、 初級スペイン語プラスワン		上級ドイツ語、上級フランス語、上級中国語、上級 発展フランス語、発展中国語、発展韓国語、発展ス	
1				選択スポーツ実習		
7.00	実習		○体育・スポーツ実習A・B	選択集中スポーツ実習		
	講義		スポーツとグローバリゼーション、スポーツと健康			
			簿記学A·B			
基本	5科目		ミクロ経済学、マクロ経済学、理論経済学A・B、経営学総論A・B、会計学総論A・B、統計学A・B、 ビジネス・インサイト、商学入門、商学研究入門、B 商学専門演習(2年)、特別テーマ演習科目(基本)	金融総論A・B、貿易総論A・B、 ssentials of Commerce A・B、		
基幹	幹科目		科目詳細は学部ガイドを参照してください			
基幹英語科目		語科目	外国専門書講読、Applied Commerce A·B、特	別認定科目(基幹英語科目)		
商学	中門演習				商学専門演習(3年)(4年)、特別テーマ演習科目	(基幹科目)C·D、卒論指導科目C·D
応用	展開科目		総合講座A·B、会計特殊講義A·B		ジョブ・インターンシップ 総合講座C・D、貿易特殊講義	
			特別テーマ実践科目A・B・C・D、特別テーマ研究	科目A・B・C・D・E・F、特別テーマ海外研修科目A・B	· ··C·D、地域活性化システム論A·B	
その	) (H)		憲法A·B		民法A·B、商法A·B、労働法A·B	
ردى	716		ICTエレメンタリー、ICTベーシック1・II、ICT統計	解析  ・  、 CTデータベース ・  、 CTメディア編集  ・	、 CTアプリ開発 ・  、 CTコンテンツデザイン ・	、ICT総合実践 I・II

#### ※カリキュラムは 一部変更となる場合があります。

### **INTERVIEW**



#### 基礎から実践まで、高度な知識を体系的に身につけられた。

商学科アカウンティングコース3年 牧野 友貴さん (福岡県立筑紫丘高等学校卒業)

明治大学の商学部のカリキュラムの特徴のひとつは、学問領域が広いことだと考えています。1・2年次では、自分が興味を 持って取り組める分野を探すつもりで、商学の基礎に関わることを幅広く学びました。3年次では、それまでの学びをもと に深く掘り下げたい分野を選び、専門的に探究。財務や会計、企業評価や企業経営について体系的に学修できたと思いま す。基礎知識から、その知識の活かし方まで、関連づけて身につけられました。企業やビジネスの実態を、会計的な数値か ら見抜く力を培うことができたのは大きな収穫。将来の目標に向けて、さらに学びを進めます。

## アプライド・エコノミクスコース

コース詳細・コース科目

## 経済問題を解決する力を備えた人材を養成

アプライド・エコノミクスとは応用経済学。市場経済の現実を 的確に捉え、市場で解決困難な経済諸問題について、経済学、 経済史、統計学などの基礎的学習を応用して分析・考察し、国際 的視点を含むマクロ的・ミクロ的対応策を考える能力を養いま す。高齢化や少子化、財政赤字の拡大といった国内問題を抱え る一方で、グローバリゼーションの進展による経済危機の発 生、環境問題の深刻化といった世界規模の経済問題にも直面し ています。このような問題の解決能力を有する人材の育成がこ のコースの目的です。



授業レポート 産業組織論A·B 海老名剛 教授

アップルやアマゾンは、どの ように価格・開発戦略を決め ているのでしょうか。近年、な ザ日本で電力自由化を推進 したのでしょうか。企業戦略 と政府の政策について、経済学的に考える授業です。

## 目指す将来イメージ

国家公務員·地方公務員

データサイエンティスト

官庁エコノミスト. シンクタンク

金融業、マスコミ、総合商社などの民間企業

大学院進学·研究者

#### マーケティングコース

コース詳細・コース科目

## 「商」=交換・取引・移動の仕組みを究める

マーケティングとは、製品・サービスを売り手から買い手まで効率 よく流通させるための経営技術のことです。本コースでは、「なぜ 製品・サービスはそのように取引されるのか」という問いに理論的 に考察できるような豊富なカリキュラムを用意しています。また、 産業の発展や日常生活にヒトやモノの場所的移動は必須です。こ の現象は交通と呼ばれ、交通サービスの生産と消費を基礎としま す。本コースでは、交通サービスを社会経済的な観点から学び、現 実の課題を理論的、政策的に考えることも重視しています。



授業レポート 流通史A·B 若林 幸男 教授 アメリカや日本のマーケティング 場成あふれる音思決定シミュレー ションを展開しています。将来の無 駄の少ない効率的な資源の配分を 目指し、皆さんの生活を豊かにする 方法を考案してみましょう。

## 目指す将来イメージ

・企業のマーケティング 企画担当者

製造企業の新商品開発

様々な組織での広告、

## ファイナンス&インシュアランスコース

コース詳細・コース科目

## 金融と保険の仕組みから世界を知る

経済やビジネスにとって「お金」は「血液」とも言うべきものであり、 この変動の時代に、もっとも改革を期待されているのがファイナン ス(金融・証券)の分野です。さらに、企業や個人を取り巻くリスク は今後増大かつ複雑化するのは必至であり、リスクを管理するた めのインシュアランス(保険)の役割が重要となります。本コース では、国際ビジネス社会における共通言語としての金融・証券・保 険の知識をマスターし、証券アナリストなどの資格取得に役立つ ように、斬新かつ体系的なカリキュラムを組んでいます。



#### 金融取引論A·B 萩原 統宏 教授 企業の借入金利や株式の価 格がどのように決まるのか という、投資家・経営者両方 にとって重要な問題につい

て学ぶ良いスタートとなる

よう、最近の話題も盛り込み

### 目指す将来イメージ

- 金融・財務分野に関する コンサルティング業界
- 明治大学をはじめとする全国の金融・ 財務・保険理論を専攻する大学院
- 銀行・証券・保険などの 金融業界
- IT業界・メーカーなど事業会社の 財務・経理のスペシャリスト

## グローバル・ビジネスコース

コース詳細・コース科目



## 世界的な視野を持って経済を考える

いまや企業活動は世界の市場を抜きにしては考えられません。太 コースでは、世界と日本との貿易や経済の関係を包括的に研究 し、またその中で企業の活動や経営を世界的な視野に立って研究 します。理論、ビジネスの両面からのアプローチを設定することに より、世界経済における日本の現状を理解して、将来の見通しを 判断する能力を養います。また、異文化コミュニケーションやビジ ネス交渉などの企業活動も体系的に理解して、グローバル・ビジ ネスの場で活躍できる人材の養成を目的とします。



授業レポート 国際マーケティング論A・B 鈴木 仁里 専任講師

企業が世界の顧客に製品を 届けることで顧客満足を実 現するための仕組み創りを 学びます。実現に向けていか なる戦略と能力が必要とな るのか、このからくりをとも に解き明かしましょう。

## 目指す将来イメージ

世界市場で国際ビジネスをリードする

異文化を深く理解し、様々な国籍の 人たちをマネジメントできるグローバル 企業の管理職

新しい発想やアイデアに基づき着実に 経営資源を蓄積・活用できる起業家

### マネジメントコース

コース詳細・コース科目 P 21



## 企業経営・企業活動を理論的・実証的に学ぶ

現代の資本主義社会において企業が果たす役割は非常に大き なものです。著しい国際化、情報化の中で、企業は顧客のニーズ に的確に対応し、持続的に高い業績を上げていく必要がありま す。本コースでは、企業活動のありようについて多方面から学び ます。戦略、組織、資源(人、物、金、情報)の調達・管理、そして、自 然環境問題とも企業活動は密接な関係を持っています。企業 の経営活動について、基礎から実践に至る体系的かつ包括的 な知識を提供すると同時に、独自の視点を持った企業人、起業 家の育成を目標としています。



授業レポート 情報管理論A·B

この授業では、私たちが受信す る情報の量はどのように表さ れるか、企業にとってどのよう な情報が有用であるか、情報と 知識はどのように異なるかなど について、実際に例を示しなが ら体系的に解説していきます。

#### 目指す将来イメージ

- 世界中の様々な地域・分野の 企業において事業の中核を担う経営人
- 自ら事業を立ち上げ 会社を起こす起業家
- 国や地方の行政に携わり 様々な政策を行う各種公務員
- 大学や研究所、シンクタンクにおける 研究者

### アカウンティングコース

コース詳細・コース科目

## 世界共通の会計スキルを身につける

アカウンティング(Accounting=会計)は、ビジネス活動のルー ル。"ビジネス・コミュニケーションの言語"とも言われ、世界の共 通語となっています。本コースでは、世界の投資家にビジネスを 伝えるアカウンティングを多面的に分析・活用する知識を習得 させ、会計プロフェッショナル(会計専門職)、経営者などビジネ スリーダー、財務・経理・広報担当者の養成を目指しています。 これまでに圧倒的多数の職業会計人(公認会計士、税理士)や 企業を支える経理のスペシャリストを輩出してきた伝統と実績 を有しています。



会計情報論A·B 名越洋子 教授

企業の財務資料をもとに、将来の実 務をイメージしやすいような講義を 行っています。テーマは、複雑なファ イナンスや排出権取引、会社の統合 や再編です。就職活動での企業研 究にも役立っており、何人かは会計 士試験に早期合格しています。

#### 目指す将来イメージ

- 会計プロフェッショナル
- コンサルティング会社
- マスコミ関係
- 金融·証券
- 企業の経理・財務・IR(投資家向け広報)部門

#### クリエイティブ・ビジネスコース

コース詳細・コース科目



## 時代の変化を先取りするイノベーターの養成

IT革命、グローバリゼーション、少子高齢化、市場経済化など、社 会の大きな変動の中で、日本経済はパラダイム的転換を遂げつつ あります。まさに産業構造そのものの転換が迫られており、そこに は新たなビジネスチャンスがひそんでいます。本コースは、そのよ うな社会変化を見据え、ビジネスの創造を目標に開設されたコー スです。最新かつ斬新な科目群を設置し、実践的で現場密着型の 少人数教育を実践することによって、イノベーションを構想し実践 的に主導できる人材を育成します。



クリエイティブ・ マーケティング論A・B 水野誠 教授

イノベーションに欠かせない、顧 客の潜在的なニーズやウォンツ をいかに理解するか、それに合致 する製品やサービスをいかに創 り出すか、最新のメディアやチャ ネルを用いて顧客との関係をい かに横築するかを学びます。

#### 目指す将来イメージ

- イノベーションを推進する 起業家・プロジェクトリーダー
- 既存の企業の事業変革を
- 地方自治体で企業誘致. 企業育成などを支援する専門家

#### ビジネス・インサイト

#### ビジネスの課題解決を通して自分の学びの指針を 見つけ出す!

商学部の自主・自立型実践教育のひとつ、「ビジネス・インサイト(2022年度まではフューチャースキル講座)」。 その第一の特長は、企業活動の醍醐味を体験することです。企業が現在取り組んでいるビジネス課題を大学1年生 の段階で経験します。たとえばこれまでに「ネット通販の売上向上策」、「沿線定住のための新規サービスの提案」な どの課題が出され、この解決策をチームごとに考え、企業に提案してきました。

そして第二の特長が、これから大学で何を学ぶべきかを知るきっかけになる講座ということです。提案した解決策 について企業の方々から指摘やアドバイスを受けます。「お客様のニーズは存在するの?」との質問にはマーケティン グ、「戦略は?」との質問には経営学など、様々な知識が必要なことが分かります。商品を開発する、サービスを提供 するという過程を経験する中で、企業や社会で必要とされる知識や能力を知り、何を学ぶ必要があるのかという、 大学での学びの動機を得る機会になります。ビジネス・インサイトはこれからの自分を「創り」、自分の学びの指針を 見つけ出す「学びの気付き」の講座です。



#### 「個」を強くするゼミナール教育

### ゼミナール教育「ダブル・コア]

#### 2年次から2つの系統のゼミを同時に履修することができます

商学部では2年次から、商学の専門科目を学ぶ「商学専門演習」と、深い教養を学ぶ「総合学際演習」からそれぞれ1演習を 選択し、2つの演習(ゼミ)を同時履修することができます。2年次から4年次の3年間、異なる性質を持った2つのゼミを同 時に受講することで、『知の2つのコア(Double Core)』が形成され、やがて融合し、新しい視点や価値観を生み出すこと が期待されます。



#### 2系統のゼミを通して、複数の専門知識や能力を養うことができました。

商学科アプライド・エコノミクスコース3年 小宮 加子さん (神奈川県立小田原高等学校卒業)

私は国際経済学とラテン語の2つのゼミを履修しています。国際経済学のゼミでは、輪読やディベートを行う中で、論 理的思考力を鍛えることができました。もう一方のラテン語のゼミでは、文法を学んでいます。語形変化の規則が多い 文法を見極め理解することに時間を要しますが、地道に取り組むうちに忍耐力がつきました。ゼミは少人数制のため、 個人の裁量によって学びの質が大きく変わります。限られた時間の中で、同時に受講し、それぞれの準備を主体的に進 めた経験は、今後も役に立つと感じています。ダブル・コア最大のメリットは、異なる専門領域から将来を見据えられる 点。ゼミで身につけた国際経済の知識と外国語学習の経験を活かし、将来は貿易に関わる仕事で活躍したいです。

#### 総合学際演習 石黒ゼミナール テーマ:古典ラテン語の文法と講読

#### ラテン語による古代ローマへの時間・空間旅行 石黒太郎 教授



「人を知り、人を理解する」人文学は、ラテン 語とギリシア語の研究を基本とします。 古代ローマの文語であるラテン語を学 ぶ、商学部としては異質な演習室です。 文法の学習でも文章の読解でも、扱うの は古代ローマ人が書いた原文ほぼその

ままのことばです。知的な時間・空間旅行です。西欧では今 も、ラテン語の素養は「教養人」の必須条件です。3年間で、 キケロなどの古典作品を辞書を片手に原文で読めるレベ ルまで持っていきます。

#### 商学専門演習 高浜ゼミナール テーマ:国際経済と日本をめぐる諸課題の考察

#### 世界経済を知ることで日本の現状と未来を探る 高浜 光信 教授



本ゼミでは、国際経済学をベースとして 日本を取り巻く国際経済状況に関する 理解を深めることを目標としています。 これまで、欧州債務危機、東アジアにお ける通貨・金融協力、グローバル・インバ ランス(世界的経常収支不均衡)と基軸

通貨ドルの不安定性、暗号通貨と金融包摂、輸出企業の契 約通貨選択といった課題を考察・研究してきました。研究 成果としてゼミ論を作成し、他大学ゼミとの合同研究会や ディベート大会において発表しています。

総合学際演習・商学専門演習ともに、3年間の演習教育において、2年次を導入、3年次を展開、そして4年次を論文作成の 時期と位置づけています。





# 留学制度 商学部主催

#### 学部間交換留学

海外からの留学生の受け入れと、商学部生の海外への留学を積極的に推進しています。現在、商学部独自の協定校は4校あり、いずれも海 外の名門校です。在学中に交換留学生として協定校へ留学すると、親身なサポートを受けながら、充実した環境の中で、専門知識や語学力 を身につけることができます。異文化での体験および留学で培ったコミュニケーション能力は、将来国際舞台で活躍する際にきっと役立つ ことでしょう。

#### <協定校>



#### カーディフ大学 カーディフビジネススクール(イギリス)

英語論文作成法の授業などに参加しながら、国際ビジ ネス論やマーケティングについての講義、演習などに出 席し、正規の学生とともに勉学に励みます。Business Studies and Japanese という学位プログラムがあり、

懸命に日本語を学ぶ学生が多く在籍しています。



#### レンヌ商科大学(フランス)

学生の5割は世界70カ国から集う留学生、教員も8割は 外国から来ています。1年生は全体の講義の6割、2年生 は8割、3年生はすべて"英語"で授業が行われます。留 学生の支援体制が整っており、フランス語、フランス文 化の講座もあります。



#### ブレーメン経済工科大学(ドイツ)

経済に関するカリキュラムが充実しています。留学生向 けのドイツ語授業によってドイツ語能力を高めながら、 ドイツ語や英語による専門科目の講義やゼミで勉強す ることができます。また、日本語を重点的に学ぶドイツ 人学生との交流も活発になされています。



#### パリ商業高等大学(ISCパリ)(フランス)

授業はフランス語コース、英語コースなどがあり、グルー プ学習、グループ・プレゼンテーション教育に力を入れ ています。ジュニア企業(学生によって運営される非営 利団体)も多く、カリキュラムには、留学やインターンシッ プも含まれています。

#### 短期留学プログラム ※プログラムは変更になる場合があります。

夏季休暇や春季休暇を利用した、商学部独自の短期留学プログラムがあります。語学だけにとどまらず、ビジネススキルやファッションマー ケティングを学べるなど、バリエーションも豊富です。内容の濃い異文化体験にぜひ参加してみてください。

#### **くプログラム>**



フレンチファッション・プログラム

ジメントやファッションビジネスに必要となる理論、実務 どの実践教育から構成された、すべて英語による3週間 ケティング、観光事業、接客サービスの手法、競合国との差 に関する講義のほか、バリのブランド本店や工房、文化展 のニュージーランド海外研修プログラムです。



EBA (English and Business in Auckland)



WAW (The World of Australian Wine)

ラグジュアリーの分野に特化した内容で、ブランド・マネ 世界の最先端のビジネス関連の講義やプレゼン技法な オーストラリアのカーティン大学で、ワインを切り口に、マー 別化などのビジネスの手法を学びます。

#### **OB•OG MESSAGE** 自分のやりたいことを信じ、未来を切り拓く。



#### 日産自動車株式会社 日本営業本部バリューチェーン推進部

大川 萌奈さん 商学科2022年3月卒業 (東京都立小石川中等教育学校卒業)

日産自動車には、グローバルに挑戦でき、1年目からマーケティングに携われる環境があること を知り、興味を持ちました。100年に一度の変革期を迎えていると言われる自動車業界で、従来 にない新しい事業を推進できる可能性に惹かれたのも、入社を決めた理由のひとつです。

現在取り組んでいるのは、中古車領域でのデジタル化推進やキャンペーンの提案、店舗の改装な ど。お客様に最も近い立場から、消費者にとっての「良い製品」を提供できるよう試行錯誤してい ます。ホームマーケットである日本でマーケティングの経験を積み、将来的には、グローバルな観 点から会社のブランディングに関わっていきたいです。

振り返れば、大学時代に選択した経験の一つひとつが今につながっていると感じます。アメリカ の大学に留学したことや、当時所属していたコースとは異なるマーケティングのゼミを選択した ことなど、マジョリティとは異なる選択をしてきました。皆さんも、周りと異なることを恐れず、自 分の気持ちに素直に行動してみてください。

# 教員紹介・研究テーマ

科目 氏名・職名 研究テーマ

科目	氏名·職名	研究テーマ
日本近代文学	西山 春文 教授	日本近代詩歌研究
日本近代文学	永井善久 教授	近現代日本文学・文化の研究
西洋文化史	北田葉子 教授	イタリア中近世史
日本文化史	清水 克行 教授	室町〜戦国時代の社会史の研究
日本語表現論	石出 靖雄 教授	日本語表現の研究
日本古典文学	中村 成里 専任講師	歴史物語と和歌を中心とする日本古典文学
アジア史	鳥居 高 教授	東南アジア諸国の政治経済分析
地理学	中川 秀一 教授	国土周辺地域存続に関する経済地理学的研究
環境科学	森永由紀 教授	モンゴルのアイラグ(発酵馬乳)の研究
生命科学	浅賀 宏昭 教授	バイオサイエンスに関する総合的研究
哲学	清水 真木 教授	西洋哲学史
心理学	佐々木 美加 教授	社会心理学、アート関連コミュニティ
線型数学	鴨井 祐二 准教授	Gorenstein環の自由分解
物理学	洞口 拓磨 特任教授	物理学に基づいた分野横断的研究
英語	石黒太郎 教授	古英語とラテン語の語学的研究
英語	小宮 彩加 教授	ヴィクトリア朝英国の社会と文化
英語	中島 渉 教授	近世イギリスの文学と思想
英語	ルプレクト,ブライアン G.	ゴールデンウィークと日本大学生
英語	教授 ジェームズ,アンドリューS. 教授	現代イギリス文学、カナダ文学、アメリカ文学、短編小説論
英語	瀬口 美香 准教授	ウインの言葉 ワインと観光 西洋美術史
英語	今野史昭 准教授	初期近代イギリス演劇
英語	海田皓介 准教授	英語の歴史・ゲルマン語学
英語	趙 泰昊 専任講師	中世英文学における他者の表象
ドイツ語	広沢 絵里子 教授	精神分析と自伝、日独・日欧文化接触
ドイツ語	渡辺徳美 教授	ドイツ戦後文学、ドイツ語圏の芸術史
ドイツ語	シックハウストピアス	近現代ドイツ文学
フランス語	准教授 松原 陽子 教授	フランスの近代文学、日仏文化
フランス語	久松 健一 教授	外国語教育(教材分析を中心として)
フランス語	浅間哲平 専任講師	フランス小説の歴史
中国語	石井 知章 教授	中国社会主義市場経済体制下の労働問題
中国語	三田剛史 教授	20世紀中国経済思想史
中国語	水谷 尚子 准教授	近現代中国史、中国「少数民族」研究
韓国語	李 英美 教授	韓日法制史、法の継受関係と影響関係の研究
スペイン語	井関 睦美 教授	中米古代史、認知考古学、物質文化論
日本語	黒崎 典子 准教授	日本語教育における口頭表現指導法
体育・スポーツ実習	桑森真介 教授	幼児と小・中学生の定期的運動と運動能力
体育・スポーツ実習	川口 啓太 准教授	地域スポーツ 一現状とこれから一
体育・スポーツ実習	澤井和彦 准教授	スポーツマネジメント/スポーツ政策
計量経済学	水野 勝之 教授	経済変動モデルの実証分析
日本経済論	千田 亮吉 教授	経済モデルによる政策評価
国際経済学	高浜 光信 教授	通貨同盟、通貨協力に関する経済分析
中小企業論	熊澤 喜章 教授	イギリス中小企業史の研究
公共経済学·財政学	畑農 鋭矢 教授	脱落、サンプルセレクション、欠測のデータ分析
経済政策論	山田 知明 教授	経済格差の動学的一般均衡分析
産業組織論	海老名 剛 教授	企業行動と競争政策
統計学	小林 弦矢 准教授	応用ベイズ統計学
経済史	井上 達樹 専任講師	近代日本における人的資本と経済発展
外国専門書講読	蘇 嘯宇 助教	中国の地域格差に関する実証分析
商品学	高橋 昭夫 教授	インターナル・マーケティング
流通史	若林 幸男 教授	マーケティング史

金融論 小原 英隆 教授 家計の金融論とFP実務[NO試験対策]  保険学 中林 真理子 教授 保険会社の企業倫理と消費者保護 金融取引論 萩原 統宏 教授 経営戦略と企業倫価・業績の相互作用 金融機関開論 伊藤 隆康 教授 中央銀行と金融市場、イスラム金融 保険リスクマネジメント論 浅井 義都 教授 中小企業の保険リスクマネジメント、金融教育 金融論 土屋陽一 教授 経済学における情報と期待形成 証券市場論 野田 顕彦 教授 金融市場の価格形成機能に関する実証研究 損害保険論 藤井 陽一朗 准教授 意思決定分析の基礎と保険論への応用 コーボレート・ファイナンス 朝岡 大輔 准教授 金工 本の一・アレートガバナンスの研究 貿易商務論 篠原 教彦 教授 国際ビジネスコミュニケーション論・国際貿易 関易政策論 小林 尚朗 教授 国際ビジネスコミュニケーション論・国際貿易 貿易政策論 小林 尚朗 教授 国家と貿易(国際貿易秩序を巡る国家開対立) を当務を表現 教授 国家と貿易(国際貿易秩序を巡る国家開対立) の国際マーケティング論 鈴木 仁里 専任講師 新興国の経済開発と貿易 経営情報システム論 村田 潔 教授 超総情報倫理学 経営監局質科学に関する研究 経営情報システム論 村田 潔 教授 経営品質科学に関する研究 経営情報を認定した。 本の主義・教授 ものづくり企業の競争力に関する研究 生産管理論 富野 貴弘 教授 ものづくり企業の競争力に関する研究 生産管理論 富野 貴弘 教授 ものづくり企業の競争力に関する研究 生産管理論 富野 貴弘 教授 ものづくり企業の競争力に関する研究 を営電組織論・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場、労働者のメンタルヘルス 労使関係論 久保 降りえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 子業 修身 教授 会計 言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計 言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計 基準の設定過程と専例研究 租税法 松原 有里 教授 税とSDGs  恵思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 企業のアィスクロージャーとアナリスト	科目	氏名·職名	研究テーマ
カ電調査論	商業経営論	菊池 一夫 教授	商業経営論の再構築
市場調査論 周田 庚典 教授 市場における情報の生成と伝播   即田 一兵 教授 現大平洋を中心とする国際交通・物版   都市・地域交通論 別田 姫 准教授 都市・地域交通論、交通史、鉄道史 マーケティング管理論 加藤 五巳 専任講師 商品の価値がてのとプランドマネジメント   別費者行動論 佐藤 平田 専任講師 別責者行動者の大のたののアータ分析	商業総論	竹村 正明 教授	お金儲けは、なぜむずかしいか
国際交通論 町田一長 教授 郷木平子を中心とする国際交通・物志 都市・地域交通論 思田 睦 准教授 都市・地域交通論、交通史、鉄道史 マーケティング管理論 加藤 拓巳 専任講師 商品の価値づくりとブランドマネジメント 消費者行動論 佐藤 平国 再任講師 高品の価値づくりとブランドマネジメント 消費者行動論 佐藤 平国 再任講師 高品の価値づくりとブランドマネジメント 消費者行動論 佐藤 平国 再任講師 高品の価値づくりとブランドマネジメント 消費者行動論 佐藤 平国 再任講師 所養者行動研究のためのデータ分析 広告論 竹内 売介 専任講師 高点の価値づくりとブランドマネジメント 連奏題可	流通システム論	原 頼利 教授	流通における組織間関係に関する研究
部市・地域交通論 思田 睦 准教授 都市・地域交通論、交通史、鉄道史 マーケティング管理論 加藤 形巳 専任講師 商品の価値づくりとブランドマネジメント 消費者行動論 佐藤 平国 専任講師 消費者行動研究のためのデータ分析 広告論 竹内 亮介 専任講師 消費者行動研究のためのデータ分析 広告論 竹内 亮介 専任講師 広告と消費者行動 研究のためのデータ分析 広告論 竹内 亮介 専任講師 広告と消費者行動 研究 のためのデータ分析 広告論 竹内 亮介 専任講師 広告と消費者行動 保険 保険会社の企業倫理と消費者保護 金融取引論 保藤 教授 中央銀行と金融市場・4スラム金融 伊藤 隆東 教授 中央銀行と金融市場・4スラム金融 中小企業の保険リスクマネジメント、金融教育 金融機関論 伊藤 隆東 教授 中央銀行と金融市場・4スラム金融 伊藤 隆東 教授 中央銀行と金融市場・4スラム金融 野田 順彦 教授 中小企業の保険リスクマネジメント、金融教育 金融論 土屋 陽一 教授 経済学における情報と期待形成 選手 陽一朗 准教授 産業税上 7ポレートガバナンスの研究 貿易商務論 福原 敬彦 教授 夕国和企業の国際に関する実践研究 現場職務の考察 パーパレード・ファイナンス 朝岡 大輔 連郎 教授 国際ビジネス交通 国際ビジネス交通 国際ビジネス交通 国際ビジネス交通 国際ビジネス交通 国際ビジネス交通 国家 教授 国家と貿易 国際資易秩序を巡る国家関対立) 国際マーケティング論 外生 朝任 前衛 教授 国家と貿易 国際資易秩序を巡る国家関対立 外国専門書講語 高橋 文紀 助教 新興国の経済開発と貿易 経営情報システム論 村田 軍 教授 経営品質科学に関する研究 経営管理論 富野 発出 教授 経営品質科学に関する研究 経営監測論 医育 耐広 准教授 内部労働市場・労働者のメンタルへルス 夕代 関係の労働 久保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実施調査 経営管理論・定義が高値 外景 の 日本企業によりる監査に関する研究 経営管理論・主義 教授 会計語画機能に基づく現代会計制度の分析 経営管理論・主義 教授 会計語画機能に基づく現代会計制度の分析 経営管理論・主義 教授 会計がら社会的企業の実施測査 会計情報論 名 経 洋 教授 会計 日本企業における経営と管理会計 原産の対策 議校 受済 教授 受力・アナーノスト 財務会計論 原 教授 教授 全部での政策連続と事例研究 経営分析論 平 東 教授 教 教会計学の研究対象と研究方法とについて経営分析論 東 の 教教 授 全家の対策集積を向上させるための管理会計 教授 企業の対策集積を向上させるための管理会計 教授 投 会会計論 神田 泉 教授 企業の対策集積を向上させるための管理会計 教 教 教 教 教 教 受 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教	市場調査論	福田 康典 教授	市場における情報の生成と伝播
マーケティング管理論 加藤 和巳 専任調師 商品の価値づくりとブランドマネジメント 消費者行動論 佐藤 平国 専任調師 加番と当責者行動 のためのアータ分析 の告論 竹内 売介 専任講師 広告と消費者行動 研究というのアータ分析 の告論 竹内 売介 専任講師 広告と消費者行動 関関投資家論 三和 裕美子 教授 機関投資家とコーボレートガバナンス、ESG投資 金融論 小原 英隆 教授 家計の金融論とFP実制[NO試験対策] 保険学 中株 真世子 教授 保険金社の企業価値と消費者保護 金融取引論 极原 被定 教授 经常税をと企業価値・系域の相互作用 金融機関論 伊藤 陸東 教授 経営税をと企業価値・系域の相互作用 金融機関論 伊藤 陸東 教授 経営税をと企業価値・系域の相互作用 金融機関論 男田 顧彦 教授 経営税をと企業価値・系域の相互作用 金融機関論 男田 嗣彦 教授 経済学における情報と関待する実践研究 調査保険論 万田 嗣彦 教授 経済学における情報と関待する実践研究 調査保険論 毎井 陽一 進教授 企業金融とコーボレートガバナンスの研究 貿易商務論 復原 設定 教授 企業金融とコーボレートガバナンスの研究 貿易商務論 復原 設定 教授 の国籍企業の組織属域の考察 パーパル・ビジネス英語 山本 道 の教授 国際ビジネスコミュニケーション論・国際貿易 関島政業論 小株 尚朗 教授 国際ビジネスス交渉 貿易論 所 療法 教授 国際とジネス交渉 貿易論 所 療法 教授 国際企業の国際マーケティングと製品開発 多国内でクティング油 参木 仁里 専任講師 教授 国際企業の国際マーケティングを製品開発 第個などの カステム論 村田 薫 教授 経職情報倫理学 経営情報システム論 村田 薫 教授 経職情報倫理学 経営智学・経営信理 出見世信之 教授 企業金建とSRもよび全業統治に関する国際比較研究 経営観論・経営野路論 本語 教授 セニスク企業の競争力に関する研究 経営観論・企業論 富野 育込 教授 コーボレート・ガバナンスとイハペーション 経営問題論・企業論 富野 育込 教授 カーボレート・ガバナンスとイハペーション 経営問題論: 本質 教授 を工業を計画を対する監査に関する研究 大会管理論:企業論 常経の設定過程と専門研究 経営問題論: 本質 教授 を工を工を行めの主義の表別を延伸してみ付え 大学 教授 会計 音画機能論 基づ 文規 教授 会計 古本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙蔵 教授 を実 会計 高速度と 中研究 大会 計画 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙蔵 教授 投税会会計会 前田 厢 教授 校 教授 とSDGs 起助法法 松原 有助 教授 伊工 大学・大学・アン と関する研究 大会 会社 本書 の設定過程と 中研究 大会 会社 本書 の設定過程と 計画の マネジメントと 門 財務会計論 神田 廃 教授 教授 発売会計 教授 教授 発売会計 教授 教授 発売会計 教授 教授 教授 カステナと ファー・フィン ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・アン レン ス・ス・フィー・フィー・フィー・ファー・アン ルー・アン ルー・アン 外の の対 の ス・ス・アン ファー・アン ルー・アン ルー・アン 外の の 教授 ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	国際交通論	町田一兵 教授	環太平洋を中心とする国際交通・物流
広告論 佐藤平国 専任調師 店会 日本	都市·地域交通論	恩田 睦 准教授	都市·地域交通論、交通史、鉄道史
広告論 竹内売介 専任調的 広告と消費者行動	マーケティング管理論	加藤 拓巳 専任講師	商品の価値づくりとブランドマネジメント
無関投資家論     三和 裕美子 教授	消費者行動論	佐藤平国 専任講師	消費者行動研究のためのデータ分析
会融論 小原 英陸 教授 家計の金融論とFP 表別(NO試験対策)  (保険学 中林 真理子 教授 保険会社の企業倫理と消費者保護 金融取引論 萩原 統宏 教授 経営戦略と企業価値・業績の相互作用 金融機関論 伊藤 薩康 教授 中央銀行と金融市場、イスラム金融 (保険リスクマネジメント) 法井 義裕 教授 中小企業の保険リスクマネジメント、金融教育 金融論 土屋陽一 教授 経済学における情報と期待形成 益務市場論 野田 顧彦 教授 金融市場の価格形成機能に関する実証研究 類書保険論 寿井 周一朗 准教授 意思決定分析の基礎と保険論への応用 コーポレート・ファイナンス 朝岡 大輔 准教授 金属企業の組織編成の考察 パーパル・ビジネス英語 塩滓 恵理 教授 国際ビジネスコミニケーション論 国際貿易政策論 小林 尚朗 教授 新しい世界経済秩序と東アジア地域協力 ビジネス英語 山本 雄一郎 教授 国際ビジネススプ 貿易論 所 康弘 教授 国際と貿易(国際貿易秩序を返る国家開対立) 国際マーケティング論 鈴木 仁里 専任講師 参国商企業の国際マーケティングと製品開発 新国国の経済開発と貿易 顧客調論 経営労働 出見世 信之 教授 企業倫理・CSR 法よび企業統治に関する国際・税研究 経営管理論 富野 妻弘 教授 ものづくり企業の競争力に関する研究 経営監理論・経営治園 日郎 准教授 トのがり企業の競争力に関する研究 経営組織論・経営労動論 内部 連彦 教授 会常会選集企業のイギ事・不正行為 外国専門書講院 久保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原面計算論 千葉 修身 教授 会計 言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計 音話機能論に基づく現代会計制度の分析 を案件価論 教授 教授 教授 かる業に起ける経過と事明研究 秘密会計論 神田 良介 准教授 税差会計学の研究対験と研究方法とについて 全工・アナイングー・アナイング論 水産 教授 現ま行動における接触とと関する実践的・文書・物理の理論 教育主とせんための管理会計	広告論	竹内 亮介 専任講師	広告と消費者行動
会験型 中林 真理子 教授 保険会社の企業倫理と消費者保護 会融取引論	機関投資家論	三和 裕美子 教授	機関投資家とコーポレートガバナンス、ESG投資
会験型 中林 真理子 教授 保険会社の企業倫理と消費者保護 会融取引論	金融論	小原 英隆 教授	家計の金融論とFP実務【NO試験対策】
会融限別論			
	金融取引論		
	金融機関論	伊藤 降康 教授	中央銀行と金融市場、イスラム金融
会総論 土屋 陽一 教授 経済学における情報と期待形成 証券市場論 野田 頭彦 教授 金融市場の価格形成機能に関する実証研究 類書保険論 藤井 陽一朗 進教授 意思決定分析の基礎と保険論への応用 ユーボレー・ファイナンス 朝岡 大輔 准教授 金栗金融とコーボレートガバナンスの研究 貿易商務論 篠原 教彦 教授 夕国籍企業の組織編成の考察 バーバル・ビジネス英語 塩澤 恵理 教授 国際ビジネスコミュニケーション論・国際貿易 関島政策論 小林 尚朗 教授 国際ビジネススジニ 山本 雄一郎 教授 国家と貿易 国際貿易秩序を巡る国家間対立) 国際マーケティング論			
田勝子市場論     野田 瀬彦 教授     金融市場の価格形成機能に関する実証研究     カーボレート・ファイナンス 朝岡 大輔 准教授     京思決定分析の基礎と保険論への応用     コーボレート・ファイナンス 朝岡 大輔 准教授     京田 本産 教授     京田 本産 を担い、ア・ア・ア・ション論・国際貿易     京田 本産 教授     京田 本産 教授     京田 本産 教授     司際ビジネス交渉     河田 本 生 の 教授     京田 本産 の 教授     京田 本産 会議 会議 の 表表の の 表表の の 表表の の 表の 表表の の 表の 表表の の 表の 表			
横悪保険論 藤井陽一朗 准教授 意思決定分析の基礎と保険論への応用 コーポレート・ファイナンス 朝岡 大輔 准教授 企業金融とコーポレートガバナンスの研究 貿易商務論 篠原 軟彦 教授 多国籍企業の組織編成の考察 パーパル・ビジネス英語 塩澤 恵理 教授 国際ビジネスコニューケーション論・国際貿易 貿易政策論 小林 尚朗 教授 国際ビジネスフジ 貿易論 所 康弘 教授 国際ビジネスフジ 貿易論 所 康弘 教授 国家と貿易(国際貿易秩序を巡る国家間対立) 国際マーケティング論 鈴木 仁里 専任講師 外国専門書講読 高橋 文紀 助教 新興国の経済開発と貿易 経営情報システム論 村田 潔 教授 経営品質科学に関する研究 経営智学・経営倫理 出見世信之 教授 企業倫理・CSRおよび企業統治に関する国際比較研究 経営報論・経営労務論 西側広 准教授 カのづくり企業の競争力に関する研究 経営組織論・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場・労働者のメンタルヘルス 労使関係論 電源 要任講師 経営管理・企業の不祥事・不正行為 分保関係論 金澤 事任講師 経営管理・企業の不祥事・不正行為 外国専門書講読 人保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計・監視機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計・監視能に対する研究 社会法学・教授 会計・基準の設定過程と事例研究 租税法 松原 有里 教授 投とSOGs 意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 セ素のアィスクロージャーとアナリスト 財務会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 東 後 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと開 が教会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 東 後 教授 対ステナビリティと無形資産のマネジメントと開 が教会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 東 後 教授 対ステナビリティと無形資産のマネジメントと開 が教養会計論 神田 良介 准教授 税務会計の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 東 4 教授 税務会計場の対象を研究方法とについて 経営分析論 東 4 教授 税務会計の研究対象と研究方法とについて 経営分別論 東 4 教授 税務会計の研究の対策を関連会計に関する実践的・文献学的研究 ファッション・ とジネス・インサイト 中 1 本 移任講師 キャリア教育・グローバル人人育の記録			
コーポレート・ファイナンス 朝岡大輔 准教授 企業金融とコーポレートガバナンスの研究 質易商務論 篠原 教彦 教授 多国籍企業の組織編成の考察 原 国際ビジネスス英語 塩澤 恵理 教授 国際ビジネスコミュニケーション論・国際貿易 質易政策論 小林 尚朗 教授 国際ビジネス交渉 国際ビジネス英語 山本 雄一郎 教授 国家と貿易(国際貿易秩序を巡る国家間対立) 国際マーケティング論 鈴木 仁里 専任講師 多国籍企業の国際マーケティングと製品開発 新規国の経済開発と貿易 経営情報システム論 村田 潔 教授 組織情報倫理学 経営哲学・経営倫理 出見世信之 教授 企業倫理・CSRおよび企業統治に関する研究 経営戦略論 西門広 准教授 コーポレート・ガバナンスとイノペーション 経営組織論・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場・労働者のメンタルヘルス 分代関係論 会議子 専任講師 総営管理・企業論 イ業 修身 教授 会計言語機能論・基営労務論 ク保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 金 新達 教授 会計言語機能論に対する監査に関する研究 全計情報論 名越 子 教授 会計書語機能論に対する監査に関する研究 全計情報論 名越 子 教授 会計本における社会的企業の実態調査 原価計算論 日本 路路 教授 党と506s 意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 投 SOGs 意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 投 SOGs 意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 教授 力ステナビリティと無形資産のマネジメントと開え 教務会計論 神田良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて経営分析論 王 志 准教授 企業のアイスクロージャーとアナリスト 財務会計論 神田良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 発送分析論 神田良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 発送の財務業績を向上させるための管理会計 発展音行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 小田康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・交献学的研究 クリエイティブ・ 水野 誠 教授 別表の財産・海の財務・新りの財産・海の財務・経過によりのよりの対策・経過によりの日本・海の財務・経過により、フェ・エーの日を・海の党教 インファッション・ 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成 観光			
質易商務論			
アーバル・ビジネス英語 塩澤 恵理 教授 国際ビジネスコミュニケーション論・国際貿易 質易政策論 小林尚朗 教授 国際ビジネス交渉 関島論 所 康弘 教授 国家と貿易(国際貿易秩序を巡る国家間対立) 国際マーケティング論 鈴木 仁里 専任講師 多国籍企業の国際マーケティングと製品開発 高橋 文紀 助教 新興国の経済開発と貿易 経営情報システム論 村田 潔 教授 組織情報倫理学 情報管理論 山下洋史 教授 経営品質科学に関する研究 経営哲学・経営倫理 出見世信之 教授 企業倫理・CSRおよび企業統治に関する国際比較研究 生産管理論 富野貴弘 教授 ものづくり企業の競争力に関する研究 経営智能・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場、労働者のメンタルヘルス 分使関係論 人保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計 言語機能論に基づく現代会計制度の分析 生産管理論・企業論 倉澤接子 専任講師 経営管理・企業の制力に関する研究 と経営管理論・企業論 倉澤接子 専任講師 経営管理・企業の不祥事・不正行為 外国専門書講読 久保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計 言語機能論に基づく現代会計制度の分析 生産等 教授 会計 言語機能論に基づく現代会計制度の分析 生産等 教授 会計 医語 の制度的研究 会計構 報報 教授 校と SDG s			
関易政策論			
世ジネス英語			
質易論			
国際マーケティング論 鈴木 仁里 専任講師 多国籍企業の国際マーケティングと製品開発 外国専門書講読 高橋文紀 助教 新興国の経済開発と貿易 経営情報システム論 村田 潔 教授 組織情報倫理学 情報管理論 山下 洋史 教授 経営品質科学に関する研究 経営哲学・経営倫理 出見世信之 教授 企業倫理・CSRおよび企業統治に関する国際比較研究 経営観路論 西 剛広 准教授 コーポレート・ガバナンスとイノペーション 経営組織論・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場、労働者のメンタルヘルス 労使関係論 久保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 達彦 教授 企業や公的組織に対する監査に関する研究 国際会計論 山本 昌弘 教授 安計基準の設定過程と事例研究 組税法 松原 有里 教授 会計基準の設定過程と事例研究 租税法 松原 有里 教授 税とSDGs  意思決定会計論 前田 陽 教授 ウステナビリティと無形資産のマネジメントと開 税務会計論 奈良沙織 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと開 税務会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 正 本 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 東日 東任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 ファッション・ 東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光			
おりょう			
経営情報システム論 村田 潔 教授 組織情報倫理学 情報管理論 山下洋史 教授 経営品質科学に関する研究 企業倫理・CSRおよび企業統治に関する国際比較研究 生産管理論 富野 貴弘 教授 ものづくり企業の競争力に関する研究 経営組織論・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場・労働者のメンタルヘルス 労使関係論 久保 陸光 専任講師 総営管理・企業論 倉澤綾子 専任講師 経営管理・企業論 倉澤綾子 専任講師 経営管理・企業の元本事・不正行為 外国専門書講読 久保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計書語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計書語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計基準の設定過程と事例研究 租税法 松原 有里 教授 会計基準の設定過程と事例研究 租税法 松原 有里 教授 税とSDGs 財田 陽 教授 セ業のディスクロージャーとアナリスト 財務会計論 奈良沙織 教授 セ素のディスクロージャーとアナリスト 財務会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて経営分析論 正 法 推教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 東田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて経営分析論 東 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 半・サンディス・治学教 東野 香代子 特性講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ドジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	国際マーケティング論	鈴木 仁里 専任講師	多国籍企業の国際マーケティングと製品開発
情報管理論 山下洋史 教授 経営品質科学に関する研究 経営哲学・経営倫理 出見世信之 教授 企業倫理・CSRおよび企業統治に関する国際比較研究 生産管理論 富野 貴弘 教授 ものづくり企業の競争力に関する研究 経営組織論・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場、労働者のメンタルヘルス 労使関係論 久保 陸光 専任講師 経営管理・企業論 會澤綾子 専任講師 経営管理・企業論 合業論 存 教授 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加本 昌弘 教授 完計基準の設定過程と事例研究 租税法 松原 有里 教授 会計基準の設定過程と事例研究 租税法 松原 有里 教授 税とSDGs 意思決定会計論 前田 陽 教授 中本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良沙織 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと問究 税務会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 東議管理会計論 小田 康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任漢教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 アッション・東野 香代子 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光 社会リニューマ学等科目 ハディハーニ 中本 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	外国専門書講読	高橋 文紀 助教	新興国の経済開発と貿易
経営哲学・経営倫理 出見世信之 教授 企業倫理・CSRおよび企業統治に関する国際比較研究 生産管理論 高野 貴弘 教授 ものづくり企業の競争力に関する研究 経営戦略論 西 剛広 准教授 コーポレート・ガバナンスとイ/ベーション 経営組織論・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場、労働者のメンタルヘルス 労使関係論 久保 陸光 専任講師 経営管理・企業の不祥事・不正行為 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 達彦 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 達彦 教授 企業や公的組織に対する監査に関する研究 国際会計論 山本 昌弘 教授 安計三語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 地本 昌弘 教授 安計三語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 東語的・制度的研究 租稅法 松原 有里 教授 税とSDGs お思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと開示 税務会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 検密分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 地域活性化システム論 松尾隆策 特任護教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 アッション・東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	経営情報システム論	村田 潔 教授	組織情報倫理学
生産管理論 富野 貴弘 教授 ものづくり企業の競争力に関する研究 経営報路論 西 剛広 准教授 コーポレート・ガバナンスとイノペーション 経営組織論・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場、労働者のメンタルヘルス 労使関係論 久保 隆光 専任講師 働き方の「自己決定」について 経営管理論・企業論 會澤 綾子 専任講師 経営管理・企業の不祥事・不正行為 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 達彦 教授 企業や公的組織に対する監査に関する研究 国際会計論 山本 昌弘 教授 理論的・実証的・制度的研究 会計基準の設定過程と事例研究 会計基準の設定過程と事例研究 根税 とSDGs 意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良沙織 教授 企業のディスクロージャーとアナリスト 財務会計論 常良沙織 教授 企業のディスクロージャーとアナリスト 財務会計論 神田 良介 准教授 税券会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 正 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 正 本 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 東西洋管理会計論 小田 康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 ファッション・水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任選教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 アッシュン・東野 香代子 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光 トラフィーフェ学等科目 ハディハーニ	情報管理論	山下洋史 教授	経営品質科学に関する研究
経営組織論・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場、労働者のメンタルヘルス 労使関係論 久保 隆光 専任講師 働き方の「自己決定」について 経営管理論・企業論 會澤 綾子 専任講師 経営管理・企業の不祥事・不正行為 外国専門書講読 久保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 達彦 教授 企業や公的組織に対する監査に関する研究 国際会計論 山本 昌弘 教授 理論的・実証的・制度的研究 金計情報論 名越 洋子 教授 会計基準の設定過程と事例研究 租税法 松原 有里 教授 税とSDGs 同田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業呼価論 奈良沙織 教授 企業のディスクロージャーとアナリスト 財務会計論 焼 俊 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと開究 税務会計論 神田良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業のディスクロージャーとアナリスト 財務会計論 神田良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 東請管理会計論 小田康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 アークティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任運教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 アッション・東野 香代子 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光 トロース・マッキをいる	経営哲学·経営倫理	出見世信之 教授	企業倫理・CSRおよび企業統治に関する国際比較研究
経営組織論・経営労務論 佐藤 香織 准教授 内部労働市場、労働者のメンタルヘルス 労使関係論 久保 陸光 専任講師 働き方の「自己決定」について 経営管理論・企業論 倉澤 綾子 専任講師 経営管理、企業の不祥事・不正行為 外国専門書講読 久保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 山本 昌弘 教授 全業や公的組織に対する監査に関する研究 理論的・実証的・制度的研究 金	生産管理論	富野 貴弘 教授	
労使関係論 久保 隆光 専任講師 録ぎ方の「自己決定」について 経営管理論・企業論 會澤 綾子 専任講師 経営管理・企業の不祥事・不正行為 外国専門書講読 久保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 達彦 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 達彦 教授 企業や公的組織に対する監査に関する研究 国際会計論 山本 昌弘 教授 理論的・実証的・制度的研究 名越 洋子 教授 会計基準の設定過程と事例研究 租稅法 松原 有里 教授 税とSDGs お思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 セ業のディスクロージャーとアナリスト 財務会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 映出を含計論 小田 康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 グリエイティブ・マーケティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任進教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・ 東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブラントの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	経営戦略論	西 剛広 准教授	コーポレート・ガバナンスとイノベーション
経営管理論・企業論	経営組織論·経営労務論	佐藤 香織 准教授	内部労働市場、労働者のメンタルヘルス
外国専門書講読 久保 ゆりえ 助教 日本における社会的企業の実態調査 原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 連彦 教授 企業や公的組織に対する監査に関する研究 国際会計論 山本 昌弘 教授 大企業・中小企業のM&Aに関する 理論的・実証的・制度的研究  租税法 松原 有里 教授 税とSDGs 意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 ロ本企業における経営と管理会計 が 後 教授 カステナビリティと無形資産のマネジメントと開 が務会計論 神田良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 業績管理会計論 小田 康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 クリエイティブ・マーケティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任進教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	労使関係論	久保 隆光 専任講師	働き方の「自己決定」について
原価計算論 千葉 修身 教授 会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析 監査論 加藤 達彦 教授 企業や公的組織に対する監査に関する研究 国際会計論 山本 昌弘 教授 理論的・実証的・制度的研究 会計情報論 名越 洋子 教授 会計基準の設定過程と事例研究 租稅法 松原 有里 教授 税とSDGs 意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業呼価論 奈良沙織 教授 企業のディスクロージャーとアナリスト 財務会計論 姚 俊 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと問え 税務会計論 神田良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 業績管理会計論 小田康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 クリエイラィブ・ マーケティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任准教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 アッション・ 東野 香代子 特任調節 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	経営管理論·企業論	會澤 綾子 専任講師	経営管理、企業の不祥事・不正行為
監査論 加藤 連彦 教授 企業や公的組織に対する監査に関する研究 国際会計論 山本 昌弘 教授 理論的・実証的・制度的研究 会計情報論 名越 洋子 教授 会計基準の設定過程と事例研究 租稅法 松原 有里 教授 税とSDGs 意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと問え 税務会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 業績管理会計論 小田 康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 クリエイティブ・マーケティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任進教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	外国専門書講読	久保 ゆりえ 助教	日本における社会的企業の実態調査
国際会計論 山本 昌弘 教授 大企業・中小企業のM&Aに関する 理論的・実証的・制度的研究 会計 情報論 名越 洋子 教授 会計 基準の設定過程と事例研究 租稅法 松原 有里 教授 税とSDGs 意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 ロッティスクロージャーとアナリスト 財務会計論 焼 俊 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと開え 税務会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 東調管理会計論 小田 康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 クリエイティブ・マーケティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任進教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・東野 香代子 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	原価計算論	千葉 修身 教授	会計言語機能論に基づく現代会計制度の分析
会計情報論 名越洋子 教授 会計基準の設定過程と事例研究 租税法 松原有里 教授 税とSDGs	監査論	加藤 達彦 教授	
超税法 松原 有里 教授 税とSDGs 意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良 沙織 教授 企業のティスクロージャーとアナリスト 財務会計論 姚 俊 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと開充 税務会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 業績管理会計論 小田 康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 クリエイティブ・ マーケティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任進教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・ 東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	国際会計論	山本 昌弘 教授	大企業・中小企業のM&Aに関する 理論的・実証的・制度的研究
意思決定会計論 前田 陽 教授 日本企業における経営と管理会計 企業評価論 奈良沙織 教授 企業のディスクロージャーとアナリスト 財務会計論 姚 俊 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと開 税務会計論 神田良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 業績管理会計論 小田康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 クリエイティブ・ マーケティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任進教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・ レジネス論 東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	会計情報論	名越 洋子 教授	会計基準の設定過程と事例研究
企業評価論 奈良沙織 教授 企業のディスクロージャーとアナリスト 財務会計論 焼 俊 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと開充 税務会計論 神田 良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 薬績管理会計論 小田 康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 クリエイティブ・マーケティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任進教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	租税法	松原 有里 教授	税とSDGs
財務会計論 焼 俊 教授 サステナビリティと無形資産のマネジメントと開売 税務会計論 神田良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計	意思決定会計論	前田 陽 教授	日本企業における経営と管理会計
税務会計論 神田良介 准教授 税務会計学の研究対象と研究方法とについて 経営分析論 王 志 准教授 企業の財務業績を向上させるための管理会計 業績管理会計論 小田康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 クリエイティブ・マーケティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任准教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・ 東野 香代子 特任講師 海外ラグシュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	企業評価論	奈良沙織 教授	企業のディスクロージャーとアナリスト
経営分析論  王 志 准教授  企業の財務業績を向上させるための管理会計  業績管理会計論  小田 康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究  クリエイティブ・ マークティング論  地域活性化システム論  松尾隆策 特任准教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・ 東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略  ビジネス・インサイト  中山 千尋 特任講師  キャリア教育・グローバル人材育成・観光	財務会計論	姚 俊 教授	サステナビリティと無形資産のマネジメントと開示
業績管理会計論 小田 康治 専任講師 戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究 クリエイティブ・ 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任准教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・ 東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光 特別ニース字等科目 ハディハーニ 中東 特に以てスチャの民族さきか完教	税務会計論	神田良介 准教授	税務会計学の研究対象と研究方法とについて
クリエイティブ・ マーケティング論 水野 誠 教授 消費者行動における複雑性と創造性 地域活性化システム論 松尾隆策 特任進教授 道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究 ファッション・ ・ 東野 香代子 特任講師 海外ラグジュアリーブランドの広報戦略 ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光	経営分析論	王 志 准教授	企業の財務業績を向上させるための管理会計
マーケティング論	業績管理会計論	小田 康治 専任講師	戦略管理会計に関する実践的・文献学的研究
<ul> <li>地域活性化システム論</li> <li>松尾隆策 特任准教授</li> <li>道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究</li> <li>ファッション・ ビジネス論</li> <li>東野 香代子 特任講師</li> <li>海外ラグジュアリーブランドの広報戦略</li> <li>ビジネス・インサイト</li> <li>中山 千尋 特任講師</li> <li>キャリア教育・グローバル人材育成・観光</li> <li>株内国ニーフ書館科目</li> <li>ハディハーニ</li> <li>中車 株にパーフェキの尺端さまり完整</li> </ul>	クリエイティブ・ マーケティング論	水野 誠 教授	消費者行動における複雑性と創造性
ビジネス: サンフィン・マンファー ドラ 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光 トラー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー		松尾隆策 特任准教授	道の駅を拠点とした地域活性化に関する研究
ビジネス・インサイト 中山 千尋 特任講師 キャリア教育・グローバル人材育成・観光 トラリニー フェウを料り ハディハーニ カホ 体にパリフェナルの見後 ナギル学教	ファッション・ ビジネス論	東野 香代子 特任講師	海外ラグジュアリープランドの広報戦略
特別テーマ実践科目 パディハーニ 特任講師 中東、特にパレスチナの民族主義や宗教		中山 千尋 特任講師	キャリア教育・グローバル人材育成・観光
	特別テーマ実践科目	ハディ ハーニ 特任講師	中東、特にパレスチナの民族主義や宗教
			·

# 政治経済学部

School of Political Science and Economics

■ 政治学科

■ 経済学科

■ 地域行政学科

明治大学政治経済学部の強み

# 教養豊かな専門人を育成するカリキュラム

少人数の演習形式を中心としたカリキュラム 1 ゼミ指導型コース制

> 3・4年次の選択科目を4コース計12の科目パッケージに分類。 所属ゼミナールでの研究に合ったコース・パッケージを選択する「ゼミ指導型コース制」で体系的に学びます。

一般的知識と広い教養を修得 ク 多彩なリベラルアーツ科目

現代の諸問題にアプローチする「基礎体力」を養うため、人文科学・社会科学・自然科学・総合の 各科目群による基礎科目など多彩なリベラルアーツ科目を設置しています。

各分野の最先端にいる人々から学ぶ 応用科目としての「総合講座科目」

> オムニバス形式で分野横断型の学びを展開する総合講座を設置。 3・4年次では、現代の多様な課題について、学外からその分野の最前線を知る講師を招いて講義を行います。

世界で通用する力を身につける <u>人</u> グローバルキャリア形成(GCD)プログラム

> 実践的語学力・コミュニケーション能力に加え、国際社会に関する基礎的知識を習得。 柔軟な思考力・洞察力および優れた問題解決力を持ち、世界を舞台に最前線で活躍できる人材を育成します。

明治大学のグローバル人材育成を牽引! グローバル教育・留学プログラム

海外大学と連携し、明治大学と留学先大学両方の学士号を取得できる留学プログラムを実施。 学生のニーズに応える学内プログラムや短期・中長期留学制度も充実しています。





## 国際社会をリードする人材になるための「基礎体力」と「実践力」を育む

情報化や国際化が進む現代の多様な問題を解決する能力を備え、国際社会をリードできる人材を育成するカリキュラムを設置しています。1・2年次に 幅広い知識と教養を身につけるリベラルアーツ科目を履修し「基礎体力」をつけます。さらに、3学科の基本科目、コース別応用科目、ゼミナールによって 専門分野の学修を段階的かつ体系的に進めていきます。少人数制のゼミナールでは活発な研究発表やディベートを通じて実践力を磨きます。

#### ■ 学びとコース選択の流れ

リベラルアーツ科目 基礎科目、外国語科目、 健康・運動科学科目	基本科目 政治学科関係科目、経済学科関係科目、地域行政学科関係科目、 3学科共通科目	コース別 応用科目	A. 政治学・社会学コース B. 経済学コース C. 地域行政学コース D. 国際地域・文化論コース	コースの 垣根を越えて 幅広く学べる
ゼミ 教養演習IA~IIC	ゼミ 専門演習(卒業論文)			

※新入生には、4月に教員が「アカデミック・アドバイザー」となり、履修相談に応じます。

#### ■ カリキュラム休系図

	カリキュ	フム体糸凶★=半期集中科目	目 ☆=通年科目 ※新カリキュラム検討により変更となる場合があります。		
		人文科学科目群	哲学概論、哲学史、基礎論理学、応用論理学概論、歴史学★、国語表現★、日本文学★、外国文学、言語と文化、留学認定科目(基礎科目・人文)		
		社会科学科目群	法学★、地理学★、文化人類学A、文化人類学B、現代心理学、心理学概論、文化論概論★、異文化理解とコミュニケーション、		
		位 云 科 子 科 日 研	異文化摩擦とコミュニケーション、国際地域研究基礎論、ジェンダー論 I、ジェンダー論 II、留学認定科目(基礎科目・社会)		
並	<b></b>	自然科学科目群	基礎数学、数学概論、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、線形代数学Ⅱ、線形代数学Ⅳ、解析学Ⅰ、解析学Ⅰ、科学史A、科学史B、技術史A、技術史B、		
42,	E14D	HWITTITUST	物理科学概論A、物理科学概論B、環境科学概論A、環境科学概論B、生命科学概論A、生命科学概論B、留学認定科目(基礎科目·自然)		
			教養演習IA、教養演習IB、教養演習IIA、教養演習IIB、教養演習IC☆、教養演習IIC☆、日本事情A、日本事情B、日本事情C、ICTベーシックI、		
		総合科目群	ICTベーシックII、ICTエレメンタリー、共通総合講座I、共通総合講座II、国際文化特殊講義A、国際文化特殊講義B、		
			Top School Seminar (International Cultures) A. Top School Seminar (International Cultures) B. 留学認定科目(基礎科目・総合)		
		英語	英語 I ~ IV、ACE Content-based Study、ACE General Communication Skills、ACE Exam Skills、		
			ACE Multimedia Independent Study, ACE Presentation Skills, ACE Academic Training		
41.5		ドイツ語	K-7/yBi  ∼ V		
<i>ያ</i> ኑ፤	国語科目	フランス語	フランス語(~Ⅳ		
		中国語	中国語(一)		
		スペイン語	スペイン語 I ~ IV 日本語 I ~ IV		
		日本語(外国人留学生のみ)			
健原	康·運動科学科目	運動学演習1-1、運動学演習1-2、運動学演習1-1、運動学演習11-2、生涯スポーツ演習、 実験が受別1、1、実験が受別1、1、実験が受別1、1、実験が受別1、1、実験が受別1、1、実験が受別1、2、体表、実験が対し、体表、実験が対し、			
運動学演習Ⅲ-1、運動学演習Ⅱ-2、運動学演習Ⅳ-1、運動学演習Ⅳ-2、健康·運動科学Ⅰ、健康·運動科学Ⅰ、健康·運動科学Ⅱ  ■					
苯	3学科共通	キャリアデザイン総合調座、海外留学演習1、海外留学演習1、政治学特殊講義、社会学特殊講義、マスコミュニケーション特殊講義、			
本 科 目	基本科目	経済学特殊講義、経済政策特殊講義、地域行政特別	持殊講義、海外留学演習Ⅲ·海外留学演習Ⅳ、留学準備講座、留学基礎講座、就業力育成総合講座、留学認定科目(基本科目·3学科共通)		
学科	科関係科目		科目詳細は学部ガイドを参照してください		
	3学科	日本・アジア文化論A $\sim D$ 、日本・アジア地域論A $\sim D$ 、ヨーロッパ文化論A $\sim E$ 、ヨーロッパ地域論A $\sim E$ 、アメリカ文化論A $\sim D$ 、アメリカ地域論A $\sim D$ 、			
	共通関係科目	世界地域文化論A~0.19体文化論、スポーツ文化論、表象文化論、留学認定科目(応用科目・3 学科共通)			
	専門演習科目	■			
虚	号 1 次日代日		研究・原典研究)1、専門演習(外国書研究・原典研究)11 いずれも専門演習担当教員が指定した授業を履修すること		
応用科目	   原典研究科目	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
目	1307001701111	1月日   十大編形   1月日   十大編形   1月日   1日日   1月日   1日日   1月日   1日日   1月日   1日日   1日日			
	総合講座科目	応用総合講座A ~ J			
		政治学特殊講義C~ F、社会学特殊講義C~ F、	マスコミュニケーション特殊講義C~ F、経済学特殊講義C~ F、経済政策特殊講義C~ F、地域行政特殊講義C~ F、		
	特殊講義科目	国際文化特殊講義C ~ F、Top School Semina	r(International Cultures)C~F、留学認定科目(応用科目·特殊講義)		
情	· 服科目	ICT 統計解析、ICT データベース、ICT メディア編	集、ICT アプリ開発、ICT コンテンツデザイン、ICT 総合実践		
資	各課程科目	日本史概論、東洋史概論、西洋史概論、地誌学概	論、人文地理学概論、自然地理学概論、法律学概論、倫理学概論		
HI	コーバル人材を育成	グローバル人材育成プログラム科目			

#### 「個」を強くするゼミナール教育

## 「ゼミ指導型コース制」を採用。 特長や個々の関心に合わせて科目を選択。

1・2年次には、文化・社会・言語などをテーマに基礎的な教養を身に つける「教養演習」を設置。3・4年次には、約80の多彩な「専門演習」を 設けています。2年次秋にゼミナール入室試験を行い、2年間一貫した テーマで研究を行って卒業論文をまとめます。専門演習ゼミを充実さ せるため、「ゼミ指導型コース制」を実施しています。3・4年次は、ゼミと 並行して専門的な学問として応用科目を履修しますが、2つの学修を リンクさせるのが「ゼミ指導型コース制」です。応用科目を系統別に分 類した4コース計12の科目パッケージをガイドラインとして、ゼミの特 長、個々の関心、研究テーマに合わせて体系的な学びを進めていきます。

### 学科を超えた幅広い学びを通して、 将来の可能性を広げる。

多彩なカリキュラムに魅力を感じ、本学部に進学しました。政治・経済分野 に留まらず、世の中を知るための多角的な学びが展開されているため、興味 や将来の進路に合わせて授業を選択できます。ゼミのテーマは財政。毎週 のディベートを通して、専門知識をつけると同時に、論理立てて話す 練習を重ねています。今後は、学部で学んだことを自分の目で確かめ るために、外国の様々な文化に触れ、知見を広げていきたいです。

経済学科4年 土井 咲音さん (大阪府私立関西大倉高等学校卒業)

### 政治学科

学科詳細•学科科目

## 自分を取り巻く世界と政治とのつながりを見出す力を

政治学は、グローバルな問題から身の周りの出来事まで、様々な事象とかかわりの と一緒に学べる機会があるのも特長です。専門的かつ多様な領域をカバーする教 います。学科を問わず所属できるゼミが多く、経済や地域行政の知識を持った学生 てとらえられるようにもなるでしょう。

深い学問です。そのため、本学科では地域経済、国際経済、社会学、政治史、政治思員・科目、ゼミ活動、仲間との交流を通じて興味・関心の幅が広がれば、あらゆる事 想、英語での専門学習など幅広い学びを提供し、広い視野で政治をとらえる力を養 象と政治との結びつきに気づけるようになるはずです。政治を、より身近なものとし



#### 授業レポート 現代思想·現代政治理論

重田園江 教授

現代社会の様々なトピックを「思想的に」捉える。多様な事例や話題を取り上げ、現代を批判 的に見る視点を養います。映画やアニメを用 いることもあり、身近さと抽象性・一般性を一 気につなぐことを目指します。

目指す将来イメージ	
· 国家·地方公務員	<ul><li>ベンチャー起業家</li></ul>
・有名大企業および優良中小企業	・大学院進学
・ ジャーナリスト(新聞・放送)	
・教員	
・国際機関職員	
・国会議員・地方議会議員	

### 経済学科

## 時代の要請に沿った「最適な選択肢」を選び取る力を養う

限りある資源を有効活用し、その成果をどう分配するのか。複数の「選択」を経て、豊済の成り立ちを学ぶ経済史、経済を定量的に理解するための統計的手法、経済政策 ればなりません。そのため、本学科では基礎となるミクロ経済学とマクロ経済学、経 得た多面的思考と、最適な選択肢を選ぶ力が役に立つはずです。

かな暮らしを実現する最適解を見出すのが経済学です。時代のニーズは刻々と変化な後々な角度から経済学を学びます。また、国際化の進む現代では的確な自己主 しており、経済学を扱う私たちが最適な選択をするには多角的な視点を養わなけ 張や自己表現ができる人材が求められます。そうした人材となるために、本学科で



#### ミクロ経済学・マクロ経済学 武田巧 教授

経済を森にたとえるなら、ミクロ経済学は 個々の市場、家計、企業といった1本の樹木に 焦点を当て、マクロ経済学は森全体を俯瞰す ることで、経済の仕組みや役割、様々な経済 現象に対する理解を深めていきます。どちら も経済学科の必修科目です。

目指す将来イメージ	
· 国家·地方公務員	・国際機関職員
・ 有名大企業および優良中小企業	·国会議員·地方議会議員
· 公認会計士·税理士	・ベンチャー起業家
・ジャーナリスト(新聞·放送) ・・エコノミスト・証券アナリスト	・大学院進学
· 教員	

#### 地域行政学科



## 人々が豊かに生きられる、あらゆる地域社会のつくり手に

地域とは単に一地方を指すものではありません。生活者にとっての「通動圏や生活 問の知見、グローバル・ローカル双方の視点など、多くの素養が必要になります。本 ています。従って、抱える問題も地域によって千差万別であり、その解決には複数学を展開。多様で複雑な地域の課題解決に必要な力を身につけられます。

圏」、企業にとっての「生産拠点や市場」など幾通りものとらえ方があります。また、国 学科では、数々の学問領域の講義や演習に加え、地域·行政を専門とする外部講師 内外問わず存在するものであり、国家、自治体、企業、住民など様々な集団を内包しの講座や学科独自のインターンシップ制度、語学学習や実地調査など幅広い学び



#### 地域産業論 奥山雅之 教授

産業は地域にとって、地域住民に必要な製 品・サービスの供給だけでなく、雇用や税収 など、地域の持続的発展に大きな役割を担っ ています。本講義では、こうした地域の持続 的発展の担い手であり、個性的な製品・サー ビスの創造や地域課題の解決を図ろうとす る地域産業のあり方や、地域産業とまちづく りの関係について考察します。

目指す将来イメージ	
·国家·地方公務員	・国際機関職員
・国会議員・地方議会議員	・ベンチャー起業家
・ 有名大企業および優良中小企業 ・ コンサルタント・シンクタンク	・大学院進学
・ NP0、まちづくり会社、地域商社	
・教員	

# 教員紹介・研究テーマ

## 政治経済学部だけの「学生サポートプログラム」

政治経済学部では、学費に含めて納入された実習料を「学部教育振興費」として語学力向上やスキルアップ、キャリア形成支援のための多様なプログラムに活用して います。利用に当たり助成回数等に制限を設けている場合がありますが、制度を利用することで各種検定試験やキャリア教育講座について無料で受講することが できます。学部での教育を補完し、学生の「足腰を鍛える」ための制度です。

#### TOEIC®IPテスト、 TOEFL ITP®テストの

政治経済学部では、TOEIC®IPテストおよびTOEFL ITP®テストを年間複数回、学内で主催しており、希 望者は無料で受験することができます。(TOE-IC®IPテストはオンライン形式も含む)対面形式の 試験では、スコアに応じて英語科目の単位認定を 申請することができます。

#### 各種検定試験の受験料助成 リバティアカデミー講座等の 受講料助成

所定の語学検定などの外部検定試験について、 学部が定める条件に基づき受験料の助成を行っ ています。また、明治大学の生涯学習機関である 「リバティアカデミー」の講座や「明大サポート公 務員講座」などの受講料の助成を通し、学部の講 義にはない分野も幅広く学ぶことができるようサ ポートしています。

#### 就職支援イベント、 キャリア育成講座等の

各学年を対象に、学生の就職活動やキャリア形成 をサポートする学部独自のイベントを開催してい ます。企業担当者(本学卒業生)との懇談会、会社 訪問や面接時に役立つ講座、実務家による講演会 などを通して、1・2年生のうちから自身のキャリア について考える機会を持ち、そのための基礎的な 力や知識を身につけることができるようバックアッ プレています。



# 留学制度 充実した学部独自の留学制度

明治大学は、留学できる協定校が46カ国・地域に269大学・学部あります。それに加えて政治 経済学部は、学部が独自に設置する留学プログラムも充実。その数は、全10学部中で最多の 43プログラム。要件に応じて助成金を受けたり単位を置き換えたりしながら、英国のロンドン スクールオブエコノミクスアンドポリティカルサイエンスやシンガポールの南洋理工大学な ど、世界トップレベルの大学に留学することができます。

※協定校数・プログラム数は、2023年2月現在のものです。



政治経済学部の グローバル教育



https://www.meiji.ac.jp/seikei/ryugaku/ file/global pamphlet.pdf

#### 2022年4月からグローバルキャリア形成 (GCD) プログラムを開始しました。

それぞれの専門領域を持ちながら国際通用性を伸ばすことを主眼に置いた学科とは別に設置するプログラム で、2022年度以降の入学者を対象としています。

履修状況に応じて一定の要件を満たした学生には、海外留学や海外インターンシップへの参加を後押しする学 部独自の支援金を給付します。「明日の世界を変えたい」と志す学生同士が出会い、より切磋琢磨できる環境で 世界を舞台に活躍する力をつけるプログラムです。

国際社会で活躍する講師による「就業力育成総合講座」や、グローバル社会で通用する実践的な語学力を強化 する少人数授業の「英語実践力特別強化(ACE)プログラム」、世界の名だたる大学で指導する先生から専門分野 を英語で学ぶ「トップスクールセミナー」など多数の授業を展開します。



グローバルキャリア形成(GCD) プログラム



https://www.meiji.ac.jp/seikei/govern\_ special/gcdprogram.html

#### **OB-OG MESSAGE**

## 国際的な関税交渉の最前線で働く行政官として



財務省関税局

宮原 恵里菜さん 経済学科2021年卒業 (福岡県私立西南学院高等学校卒業)

私たち税関は、関税等が適正かつ公平に徴収されるよう輸出入貨物の申告の管理・調査を実行 し、安心安全な社会の実現を目指しています。また、違法薬物などの水際での取り締まり、貿易が 円滑になるよう貨物の迅速な通関手続や特定の国·地域との協定を締結することも私たちの仕 事です。私が勤務する関税局経済連携室では、WTO(世界貿易機関)の枠組みを超えて特定の 国・地域との関税を引き下げ、経済関係を強化するための経済連携協定(EPA)交渉を管轄して います。その中で私は、EU、豪州、スイス、モンゴルなどの国とのEPAを担当。入省1年目から国際 会議に携わり、条約を創り上げるなど歴史を紡ぐ場面に立ち会うことができるので、ワクワクし ながら業務に取り組む毎日です。在学中、協定留学プログラムで渡欧し、欧州の物流を学んだ経 験は、今の仕事に通じる基礎になっていると感じています。今後も多様な経験を積んで関税・税 関という専門分野を究めながら、国際貿易の最前線で日本の経済活動に貢献できるような行政 官になっていきたいです。

#### 政治系

氏名·職名	研究テーマ
石川 雅信 教授	少子高齢社会における家族と社会構造の分析
井田 正道 教授	現代日本における世論および選挙に関する実証的研究
伊藤 剛 教授	国際政治理論、アメリカ外交、アジア太平洋地域国際関係
牛山 久仁彦 教授	地方分権改革に伴う自治体行政改革の課題と展望
重田 園江 教授	ミシェル・フーコー研究、社会連帯の思想と歴史、社会契約論
加藤 彰彦 教授	家族・人口・社会構造の国際的ならびに歴史的比較研究
川嶋 周一 教授	独仏関係史、欧州統合史、EU研究
木寺 元 教授	現代日本政治分析
小西 德應 教授	足尾鉱毒事件、日米英における政治倫理の歴史と現状
鍾 家新 教授	社会福祉政策および社会変動に関する日中比較研究
大六野 耕作 教授	経済活動のグローバル化に伴う現代国家の変容、 各国の文化の違いが政治や政策のあり方に与える影響
高橋 一行 教授	政治理論、政治思想史、政治学方法論
竹下俊郎 教授	情報メディアの社会的影響、政治コミュニケーション論
外池 力 教授	デモクラシー論、人権論、民主化論
西川 伸一 教授	日本の裁判所行政を人事の観点から研究する
西村 弥 教授	民営化と「行政の守備範囲」の変動に関する研究、危機管理行政
野澤千絵 教授	人口減少社会における都市政策・まちづくり
堀金 由美 教授	開発(経済発展)と政治の関わりを国際比較を通して考えること
水野 剛也 教授	アメリカ・ジャーナリズム史、日系アメリカ人史、漫画と政治家
水戸部 由枝 教授	ドイツ近現代史(セクシュアリティと政治の関係性)
山内 健治 教授	東アジアの家族・親族論、日本の地域性研究、コミュニティ論、 移民研究
荒木 淳子 准教授	主体的なキャリア形成のあり方とそれを支える組織・社会に関する研究
高山 裕二 准教授	政治理論史、米仏デモクラシーの比較思想研究
相原 耕作 講師	日本政治思想史、江戸時代の言語研究と政治思想の関係
碇 陽子 講師	医療人類学・ジェンダー/セクシュアリティ研究
加藤 言人 講師	民主主義下の世論形成・代表メカニズムに関する数理・実証的検討
樋口収 講師	社会的判断におけるパイアス

以石 帆石	WIZU Y
浅井 澄子 教授	情報産業の経済分析および競争政策
飯田 泰之 教授	地域経済論·産業経済論とマクロ経済学の融合
大高 研道 教授	非営利・協同組織の研究、社会的排除問題と社会的企業
大森 正之 教授	環境経済理論の形成と発展、環境政策論
奥山 雅之 教授	地域産業のグローバル化(グローカルビジネス)に関する研究
小野島 真 教授	国際課税および北欧諸国における行財政改革
勝悦子 教授	通貨制度と金融政策、国際資金フローと金融規制
加藤 久和 教授	公共経済・マクロ経済等の実証分析、人口減少時代の財政社会保障
小早川 周司 教授	デジタル通貨と貨幣の将来像、デジタル社会における金融インフラ
小林 和司 教授	計量経済学における分析方法
末永 啓一郎 教授	開発経済学、経済発展論、キャッチアップ、イノベーション、経済発展
須藤 功 教授	アメリカの通貨・金融史および国際経済史に関する研究
髙橋 信勝 教授	古典派経済学·家事経済学形成史論
武田 巧 教授	制度と制度変化の経済学
永原 裕一 教授	時系列解析の研究および金融・証券市場の実証研究
原 ひろみ 教授	日本の労働市場の機能、労働政策の政策評価
平口 良司 教授	経済成長論
廣松 悟 教授	ポリティカルエコノミーと空間形成、フロンティア空間の政治経済学
藤永 修一 教授	国家の役割と市場の役割、グローバリゼーション
星野 泉 教授	少子高齢社会の税財政を国際比較の観点から明らかにする
森下正 教授	ベンチャー・中小企業の経営実態、経営者行動の実証的研究
八木 尚志 教授	産業構造変化、所得分配、マクロ経済分析に関する研究
赤津正彦 准教授	経済と環境との関係を中心とした近代イギリス経済史研究
奥山 誠 准教授	世界恐慌期の経済政策思想
日向 祥子 准教授	企業・組織による課題の発見、対応と経済社会の変化
藤本 穣彦 准教授	「農と食の地域自給圏」構築のための食料経済学研究
盛本 圭一 准教授	法人税のマクロ経済分析、大災害と資産価格・経済政策
井上 朋紀 講師	一般均衡理論、協力ゲーム理論
鎌田 健司 講師	地域人口分析、地域出生力分析、人口移動と結婚・出生行動の分析

#### 経済系

氏名·職名	研究テーマ
倉地 真太郎 講師	北欧諸国における反福祉国家的潮流の形成と変容
齋藤 雅己 講師	グローバル経済の分析と経済政策
柴田 有祐 講師	産業政策、貿易と経済成長
下斗米 秀之 講師	アメリカ経済史における移民問題
杉本隆司 講師	実証主義・産業主義の社会思想、物象化・物神崇拝論
関根 篤史 講師	マクロ金融の時系列分析
高橋 聡 講師	資本主義経済のグローバル化
中島 満大 講師	歴史からみた人口と家族の持続と変容
宮崎 イキサン 講師	国際貿易金融、国際貿易の決済・資金調達や決済リスクの実証分析

心の病の文化の研究、社会病理研究、石川啄木研究

政治・人文地理学、地域研究(アメリカ合衆国)

#### 教養文化系 氏名·職名

石山 徳子 教授

石山 偲丁 教授	政治・人义地理学、地域研究(アメリカ合衆国)
植田麦 教授	古代日本の神話テキストを中心とした文学的・語学的研究
海野 素央 教授	24年米大統領選挙
春日井 淳夫 教授	生活習慣病の予防と運動、スポーツ選手の体力に関する研究
後藤 光将 教授	スポーツ史、スポーツ人類学、オリンピック教育
佐原 徹哉 教授	ジェノサイドの比較研究、東欧・中東地域研究、紛争研究
柴﨑文一 教授	応用倫理学および環境思想の研究
嶋田 直哉 教授	日本近代文学、現代演劇批評、国語科教育法
瀬倉 正克 教授	19世紀フランスの詩人ボードレール、および近代化論
高峰 修 教授	スポーツの社会学、スポーツ・ジェンダー研究
田村 久男 教授	ドイツ語圏文学
冨澤 成實 教授	近代日本の文化・文学、志賀直哉の研究
虎岩 直子 教授	イギリス諸島の政治と文化
中村幸一 教授	印欧語比較言語学·英語史
廣部 泉 教授	アメリカ合衆国の歴史と文化
本間 次彦 教授	前近代中国思想、中華ナショナリズムの起源と中国思想史の誕生
前田 更子 教授	フランス近現代史、比較教育社会史
丸川 哲史 教授	東アジア思想史·文化論(日本·韓国·中国·台湾·沖縄など)
山岸智子 教授	イラン地域研究、イスラームとグローバル化
飯嶋曜子 准教授	政治地理学、経済地理学、EU地域政策
稲葉 肇 准教授	科学史、物理学史
内田 兆史 准教授	現代ラテンアメリカ文学、音楽および美術
兼子 歩 准教授	アメリカ社会文化史、ジェンダー研究
仮屋浩子 准教授	スペイン語圏の文学・演劇史
佐久間 寛 准教授	経済人類学、アフリカ地域研究、負債論、仏語圏アフリカの文化運動研究
武田 和久 准教授	ラテンアメリカ史、キリスト教布教史
ネルソン,リンジーR. 准教授	日本映画、日本文化
羽根 次郎 准教授	東アジア近現代史、現代中国論
遠藤 直樹 講師	代数学(可換環論)
ジョージ,ジョニー E. 講師	社会言語学、人類言語学、日本手話談話
武田 紘平 講師	運動生理学(分子筋生理学)
永江 敦 講師	イギリス産業革命と思想・文学の関連性、近代イギリス文学
永川 聡 講師	18世紀末のドイツ文学
森本 陽子 講師	Mind, Brain, and Education(神経科学、教育心理学、教育学)の知見と演劇 的アプローチを応用した、自律的語学学習法、教授法、プレゼンスキル指導法
ヨーク,ジェームズ 講師	ゲーム学習、教育学

符性	
氏名·職名	研究テーマ
金子隆一 特任教授	人口変動(高齢化等)のライフコース的解明
小西 淳文 特任教授	開発経済学、持続可能な開発・環境との調和
杉田 弘毅 特任教授	米国政治外交、地政学、中東研究
津田太郎 特任講師	現代日本政治史、日米関係史、冷戦期における東アジア
デヴェラ,ローナヴェリア L. 特任講師	外国語教育、日本語教育、自律学習、教材開発、学習ストラテジー
パスクッチ,ルアンド. 特任講師	社会言語学、ゲーム業界の歴史、ゲーム研究
ブルチャー,ミヒャエル F. 特任講師	日本近代政治思想と「認識」論、政治概念史と翻訳思想

# 経営学部

School of Business Administration

経営学科

■ 会計学科

■ 公共経営学科

明治大学経営学部の強み

## ビジネスリーダーを目指すあなたの「想い」に応える学部

学ぶ目的を明確にする 2年次からの3学科制度
1年次では、年々、複雑化・細分化する経営学の全体像を把握し、基礎をしっかりと学び、2年次からは経営学科、会計学科、公共経営学科の3つの学科に分かれて、専門領域に打ち込んでいける制度です。

英語スキルと専門知識の融合を目指すグローバル経営人材育成トラック GREAT グローバル経営人材育成トラック GREAT グローバル経営人材育成トラック (GREAT: Global Resources English Applied Track) は英語スキルと専門知識を ミックスさせたカリキュラムで、世界で通用する英語能力と専門知識を同時に養い、「グローバル経営人材」を育成します。

グローバル社会の扉を開く経営学部独自の短期・長期留学プログラム 短期留学プログラムのIBPやISIBM、13大学14学部との学部間協定留学から ヴィクトリア大学(カナダ)とのデュアルディグリー・プログラムまで、多様な留学プログラムを用意しています。

公認会計士や税理士などを目指す 高度職業会計人養成トラック CAP

高度職業会計人養成トラック (CAP: Course of Accounting Profession) では、1年次から体系的に 会計の専門知識とスキルを学びます。またCAPに参加し、修了要件を満たした学生には修了証書が授与されます。

教室外での体験型実践教育 フィールドスタディ 社会の現場に飛び出し、自分の専門テーマに沿った、自発的な調査、研究、問題解決を行うフィールドスタディを重視しています。 国内だけでなく、海外へも調査に行き、プレゼンテーション能力の向上も同時に図れます。

海外で社会貢献活動を体験 グローバル・サービスラーニング 単なるボランティア実習ではなく、「貧困」などの国際的な社会課題について考え、 解決するための知識の修得と活動を体験します。

企業の現場を意識する 1年次からのキャリア教育
フューチャースキル講座、キャリア形成入門を通じて、1年次から段階的に社会人基礎力を育成しています。





## 学部一括入試を経て、2年次から学科に所属 あなたの目的や想いを実現するカリキュラム

1年次は経営の基礎を幅広く学び、2年次から経営学科、会計学科、公共経営学科の3つに分かれて学びます。

経営学科では主として営利企業のマネジメントについて、会計学科では会社の利害関係者に役立つ会計情報について、そして公共経営学科で は行政組織や非営利組織のマネジメントやスポーツマネジメントについて学びます。1年次で学んだことを加味して学科を選択することで、自分 が興味を持った専門領域を徹底的に学ぶことができます。経営学部では、それぞれの学科が魅力あるカリキュラムを提供しています。

#### ■ 学科所属までの流れ

	1年次	$\rangle$		2~4年次
学部	「教養科目」、「外国語科目」、さらに経営の基礎を学ぶ	·····································	経営学科	学科専門科目の企業論、経営管理論などを中心に企業経営の全体構造を学んだ後、3・4年次でさらに企業経営に対する理解を深めていく
	「学部必修科目」を通じて、幅広い視野や基礎的素養を身につける	科	会計学科	学科専門科目の財務会計総論、管理会計総論などを中心に会計学の基礎理 論を修得した後、3・4年次でより専門的で高度な会計領域を学ぶ
試	どのような専門領域で活躍したいのかじっくり検討	馬	公共経営学科	学科専門科目の行政経営論、社会的企業論などを中心に公共経営の体系的 知識を修得した後、3・4年次でより具体的なマネジメントを学ぶ

### ■ カリキュラム体系図

	学びを知り、方向性を定める	▶ 興味を広げ、学び	がの目標を定める ▶	学びの理論と実践を深める	5	学びの集大成を確立する
	1年次	〉 2年	F次	3年次	$\rangle$	4年次
学部必修科目 [経営学に必要な基礎を学ぶ]	経営総論 経営学 会計学 公共経営学 近代経済学					
学科専門科目 [各学科の専門を学ぶ]		各学科の	の科目詳細は学部	ガイドを参照してください		
演習科目(ゼミナール) [少人数で専門分野を学ぶ]	教養演習(1·2年次) 外国語教養演習(J/E)(1·2年	演習!	演習Ⅱ	演	깔!!!	
教養科目 【幅広い教養を身につける】	電話思想 社会思想 倫理思想 宗教思想 数学 統計学 生物学 物理学 化学 自然科学思想史 自然人類学 文化人類学 生理学 健康科学 スポーツ・レジャー・レクリエーション論 現代社会とスポーツ トレーニングの科学 パボート・論文作成法 言語表現論 外国文学(英米・独・仏・中) 日本語論 日本文学 西洋史(総論) 法学 地理学 政治学 社会学 心理学 日本事情 経営総合講義(1年次)					
	手話コミュニケーション(初級・中級) Global Issues(E)					
基礎専門科目 [経営関連分野の基礎を学ぶ]	漢記論 経済原論 経済史 経営史 経営基礎数学 経営心理学(2年次) マーケティング基礎論(2年次) 情報化社会論 ビジネス法 ビジネス法 というできない はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい は					論 会社法 手形法・小切手法 財産法 東欧・日本) 経営文献研究 ネット・ビジネス論(J/E)
			7	ltural Business Communication(E) Strategic Business Communication(E)		
	Japanese Economy(E)  日本経済史  社会調査法  海外経営事情 基礎専門特別講義					
外国語科目(必修)	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・韓国語・日本語 (2カ国語以上を学ぶ)					
外国語科目(選択)	TOEFL® Reading / Listening / Speaking / Writing (E) TOEFL® Preparation (E) English Exams (E) Speech and Debate (E) Genres of Writing (E) 英語スペシャルスタディ 英語表現論 英語・ドイツ語・フランス語・中国語コミュニケーション (初級・中級・上級) IBP: International Business Program (語学研修) (E)					
体育実技科目	体育実技	選択体育実技 学外選	択体育実技			
実習関連科目	IBP:International Business Program(実習) フィールドスタディ[教室外の調査実習によって学ぶ	St] ※詳細はP.66参照	ぶ] ※詳細はP.67参照 グ			かによって学ぶ]
	キャリア形成入門[社会人基礎力を身につける](1			リサーチ・リテラシー[データの分析方法	[泛学ぶ]	
ICTリテラシー科目	ICTエレメンタリー・ICTベーシック・ICT統計解析・	ICTデータベース・ICTメラ	ディア編集・ICTアプリ開発	・ICTコンテンツデザイン・ICT総合実践		

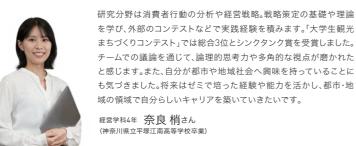
※(E)は「英語で実施する授業科目」を示します。 ※(J/E)は年度により「日本語または英語で実施する授業科目」を示します。

#### 「個」を強くするゼミナール教育

#### 論理的に考え、 積極的に行動する力を養います。

大学での学びの中心は少人数のゼミナールです。経営学部には 1・2年次の「教養演習」「外国語教養演習」「基礎専門演習」と2・ 3・4年次の「演習」があります。教室では全員で議論を重ね、さ らに図書館で文献を調査・収集したり、フィールドワークに飛び 出したりと視野を広げます。「演習」では合宿や他大学と交流す るゼミもあり、4年次には大学生活の集大成となる卒業論文を 書きます。ひとつのテーマについて深く掘り下げて研究する方 法や、論理的にまとめて発表する方法を学びながら、専門領域 を深めます。

## チームで挑む実践経験が論理的思考力や多角的な視点を磨く。



#### 経営学科

#### 学科詳細•学科科目



## 現代企業を多面的に読み解く

不確実性の高い経営環境のなかで、未来を読み解く力を備え、企業 の経営の方向性を定めることができる人材を育成します。1年次には、 学部必修科目の経営総論、経営学、会計学、公共経営学、近代経済学 などにより、経営に不可欠な基礎知識を修得します。2年次には、企業 論や経営管理論などの科目により、企業経営の全体構造を学びま す。3・4年次には、学生の問題意識や関心に合わせて、国際経営戦略 や人的資源管理、情報・技術マネジメントおよび企業者史などの科目 により専門性を高め、企業経営に対する理解を深めていきます。



#### 授業レポート 比較経営論(アメリカ)

本講義では、経済やビジネス など日本とも深いかかわりを持 つアメリカの企業経営の特徴 を学びながら、日本とアメリカ の経営やビジネスは、どう違っ て、何が類似しているのかにつ いて全員で議論していきます。

#### 目指す将来イメージ

民間企業の経営企画等スタッフ部門で 経営計画、マネジメントに携わる

- 民間企業の事業部門で企画、 マーケティング、営業に携わる
- 経営コンサルティング等で企業の経営革新や マネジメントを支援するプロフェッショナルとなる
- ベンチャー企業を起業し、 経営者となる

### 会計学科

#### 学科詳細•学科科目



# 学部ガイド

## 組織の状況を見透し、トキアカス

会計学科では、あらゆる組織の状況を詳細に把握できる会計の知識とスキ ルを武器に、多方面で活躍するスペシャリストを育成します。1年次には経 営総論や会計学で経済社会における会計の役立ちを知り、2年次には財務 会計総論と管理会計総論を中心に会計の二大領域における基礎的な知識 とスキルを学びます。3・4年次には学科専門科目で専門分野におけるより 高度な会計の知識とスキルを体系的に修得し、組織の状況を見透し人々に 解・説き明かす能力を身につけます。また、1年次から参加可能な高度職業会 計人養成トラック「CAP」を設置しており、さらなる高みを目指して公認会計 士や税理士などの資格取得にチャレンジする学生を全面的に支援します。



#### 授業レポート 管理会計総論 会社を経験や勘ではなく、デー

夕や情報に基づいて経営するに はどうするか。この授業では、経 営環境の分析、戦略や計画の策 定と実行、業績の評価と改善に 役立つ情報をつくり出し活用する ための知識とスキルを学びます。

#### 目指す将来イメージ

- 一流企業の経営企画部門や 財務・経理部門で働き、経営者の参謀になる
- グローバル企業で財務・経理を取り仕切る CFO(最高財務責任者)になる
- 公認会計士、米国公認会計士、税理士、 国税専門官などの高度職業会計人になる

- 経営の指導・助言を行う経営コンサルタントや シンクタンクの研究員になる

## 公共経営学科

## 学科詳細•学科科目



## 公共性・社会性ある人材を育成

公共組織のマネジメントを担う専門人材の育成を目的に、日本で初めての学科と して2002年に誕生しました。現代は国や自治体等の行政体に加えて、営利企業 と非営利組織が互いに協働して社会課題の解決と公共サービス供給の役割を 果たす時代となりました。公共経営学科ではNPOやNGO、行政体といった非 営利組織のマネジメントと営利組織である企業における社会貢献活動について の理解を深めることを通じて、持続可能でかつウェルビーイングな社会の形成 を目指します。スポーツ・医療・福祉を含め、これら公共に関係する組織のマーケ ティング、経営戦略、財務、組織マネジメントについて、地域、企業、大学院との連 携による、より広く、より深い探究心を育成する教育プログラムを提供します。



#### Introduction to Public Management 菊地 端夫 教授

行政を中心とした公的組織の経 て、担当教員による講義とグルー プワークによる比較事例分析の 双方によって検討を行います。講 受講生の約半数が留学生です。

#### 目指す将来イメージ

- 社会課題に対応するNPOやNGOで働く
- 国・自治体で公務員として実務に携わる 営利企業でCSR(企業の社会的責任)活動を担う
- スポーツ・ビジネスに携わる
- 医療や社会福祉関係企業で働く
- コミュニティ・ビジネスやパブリック・ビジネスを立ち上げる
- 教員として次世代の人材を育成する



## 講義だけじゃない! 「現場を体感」し、「現場で学ぶ」体験型授業

フィールドスタディは、教室外でのフィールドワーク(現地調査)を通じた資料の収集と、 それに基づくレポートの作成やプレゼンテーションの実施を核とする実習科目です。 まず教員と一緒に課題に対する問題意識を深めたうえで、「事前学習」で調査対象に ついて学生自らが調べ、「フィールドワーク」において現地で資料収集を行います。「事 後学習」では、それらを分析し、独自の考察を加えたレポート・プレゼンテーションを 作成します。調査対象は、ローカルからグローバルまで、企業、自治体、NPO法人、特 定地域の住民など、科目により様々です。



テーマ: EU企業のマネジメント 担当教員: 清水 一之教授

※2019年度実施



#### 経営学部の2つのトラック 「GREAT」と「CAP」

経営学部には人材育成のための2つのトラックがあります。

グローバル経営人材育成トラック「GREAT (Global Resources English Applied Track)」は、将来国際ビジネスでの活躍を目指す学生のための4年 間のカリキュラムです。特別編成の少人数クラスで実践的な英語スキルを身 につけながら、英語による授業科目で教養や専門知識を学びます。

高度職業会計人養成トラック「CAP(Course of Accounting Profession)」は、公認会計士、税理士、米国公認会計士などの資格試験の在学中 合格を目指す学生のためのカリキュラムです。CAP専用クラスは1年次から 設置されており、より早くより体系的に会計の専門知識とスキルを学ぶこ



経営学部には、数多くの学部独自の短期・長期留学プログラムがあります。

海外で異文化を体験し、 世界の学生とビジネスを学びたい! 海外の大学で正規授業として ビジネスを学びたい!

日本と海外の大学で2つの学位 全士(経営学)」と「学士(商学)」を取得したい

5年間で2つの学士を取得

デュアルディグリー・プログラム

明治大学経営学部で2年半学んだ後、3年次秋学

期からヴィクトリア大学(カナダ)へ留学し、5年

間で両大学の学位を取得することのできるプロ グラム。留学中は、授業のみではなく3期分の有償

インターンシップに参加し、現地での実務経験も

#### 短期留学プログラム

#### IBP アメリカで約1カ月



ホームステイをしながら、現地大学に てビジネス英語を学び、実際に現地 企業の見学ができるプログラム。

#### ISIBM カナダで約3週間



協定校のひとつヴィクトリア大学(カ ナダ)が主催する夏期インターナショ ナルビジネスマネジメントプログラム で、世界各国から参加する学生ととも にビジネスプランを発表。

#### 長期留学プログラム

#### 13大学14学部の協定校









積むことができる。



#### **OB-OG MESSAGE**

## 日本の製品を、世界のマーケットへ広めていきたい。



キヤノン株式会社 デジタルプリンティング経理部 浅野 拓磨さん 経営学科2021年卒業 (埼玉県立豊岡高等学校卒業)

私がキヤノンを志望したきっかけは、在学中に受講したフィールドスタディでの経験です。インドを訪 問して現地の日本企業を6社視察し、その経営戦略を学びました。そのなかの1社がキヤノンです。言 葉も文化も異なる環境で、日本製品の価値を伝えていくビジネスは、難しさがある一方で、魅力にも 満ちた仕事であるように感じました。それ以来、日本製品を海外へ広めることが私の夢になっていま す。現在担当している業務は、業務用複合機を扱う部門における経費の管理。事業において発生した 費用を集計・分析しています。私のまとめたデータが経営戦略を決める判断材料になるため、会社へ の貢献を実感できる仕事。大きな責任がある分、やりがいもあります。在学中は、まさに今の業務に活 かされている「データを読み解く力」を身につけることができました。ゼミで学んだ、数字を読み、根拠 のあるデータを提示する思考やプロセスは、日々の業務でとても役立っています。これから入学される 皆さんも、ぜひ様々なことを学び、経験してください。海外に駐在するという私の夢も、大学で経営を 学んで見つけました。一人ひとりが個性あるキャンパスライフを過ごされることを願っています。

# 教員紹介・研究テーマ

経宮字科		
科目	氏名·職名	研究テーマ
日本経営論	東條 由紀彦 教授	日本経営の歴史的研究
比較経営論 (ロシア・東欧)	加藤志津子 教授	ロシア東欧諸国の企業経営の比較研究
日本経営史	佐々木 聡 教授	日本の経営発展の実証的研究
中小企業論	岡田 浩一 教授	中小企業経営の理論的研究
比較経営論(中国)	郝燕書 教授	中国と日本の経済・経営の比較研究
企業論	牛丸 元 教授	イノベーションを創出する企業問関係
経営心理学、 ナレッジ・マネジメント論	中西晶 教授	高信頼性組織とレジリエンス、 安全とセキュリティのマネジメント
経営と環境	松野 裕 教授	環境政策の経済学的研究
経営戦略論	歌代豊 教授	経営戦略のマネジメント
経済地理学	中澤高志 教授	労働の地理学、 現代日本の地域構造・都市構造の変容
生理学、トレーニングの 科学、産業生理学	一之瀬 真志 教授	運動生理学
マーケティング・マネジメント	原田 将 教授	ブランド価値経営、グローバル・ブランド管理の 戦略・組織、新興国市場におけるブランド構築
経営社会学	山下充 教授	人的資源管理の歴史・国際比較、 人事部門の機能と歴史
経営管理論	青木 克生 教授	製造業におけるカイゼン活動の国際比較研究、 企業問関係とイノベーション、組織学習の理論的研究
比較経営論(西欧)	清水 一之 教授	インダストリー4.0(第4次産業革命)
近代経済学、 ビジネス・エコノミックス	三上 真寛 教授	組織・制度の経済学
雇用関係論· 労使関係論	石塚 史樹 教授	特に独企業の人的資源管理·労使関係·企業統 治に関わる実証研究
人事労務管理論	山崎 憲 准教授	企業活動をめぐる社会・経済システム
国際経営論、Fundamentals of Management	鷲見淳 准教授	グローバル化と企業の国際経営
経営史、 比較経営論(アメリカ)	宮田憲一 准教授	コングロマリット企業の経営史、 クリエイティブ産業史
グローバル・ マーケティング論	古川 裕康 准教授	国際市場細分化、グローバル・マーケティングの標 準化一適合化研究
財務管理論、現代 コーポレートファイナンス論	鳥居陽介 専任講師	株式所有構造の変遷と主要株主が企業に 与える影響
経営組織論、 組織行動論	谷口 諒 専任講師	イノベーションプロセスにおける「失敗からの学習」、カ テゴリとイノベーション、組織に対する社会からの評価
Transcultural Management (A/B)	永井 裕久 特任教授	次世代グローバルリーダーの育成

#### 会計学科

科日	戊名	研究アーマ
原価管理論、 管理会計総論	﨑章浩 教授	戦略的コストマネジメントのための管理会計技法
財務諸表論	大倉学 教授	制度会計の特質考究
管理会計総論、 マネジメント・コントロール	鈴木 研一 教授	顧客志向と信頼が水平的調整に与える影響、顧客 志向管理会計、プロジェクトにおける目的整合性
環境会計論	千葉 貴律 教授	社会と会計
財務会計総論、 NPO会計論	石津 寿惠 教授	営利企業、非営利企業における利益概念
監査論	小俣 光文 教授	監査制度の有効性の向上、モニタリング機能を 中心とした企業のガバナンス向上
管理会計総論	大槻 晴海 准教授	原価企画に関する理論的・実証的研究
原価計算論	長野 史麻 准教授	マネジメントコントロールとCSR
法人税法、税法	加藤 友佳 准教授	変化する社会に対応する税制
現代会計基準論	浅野 千鶴 専任講師	会計基準における基礎概念の研究
経営分析論、 国際財務報告論	平屋 伸洋 専任講師	資本コストと利益マネジメントの関係
会計史、 基礎専門演習	森田 広大 専任講師	英米会計史研究

#### 公共経営学科

科目	氏名·職名	研究テーマ
経営統計学、行政評価論、 近代経済学	藤江 昌嗣 教授	移転価格税制、行政組織のパフォーマンス・メジャメント 地状学、日本のマテリアルハンドリング産業の生成史
経営技術論、技術戦略論、 情報公共論	佐野 正博 教授	イノベーション・マネジメント論
ライフスタイル・ マネジメント論	鈴井 正敏 教授	健康科学、運動とNK細胞
西洋史、 公共歷史論	薩摩 秀登 教授	ヨーロッパ中近世史
非営利組織論、 Social Impact Investment	塚本一郎 教授	社会的企業、企業の社会的責任、 社会的インパクト投資に関する研究
スポーツ・マネジメント論	田中 充洋 教授	ボールゲームのコーチング論
NP0経営戦略論、 ソーシャル・ファイナンス論	小関 隆志 教授	ソーシャル・ファイナンスによる金融包摂
公共表現行為論、 日本文学	畑中 基紀 教授	近代日本文学、表現論
行政経営論、行政経営戦略論、 Introduction to Public Management	菊地 端夫 教授	行政および公共政策の比較研究
自然人類学、 地域公共論	阿部卓 准教授	パリ島、雲南少数民族の人類学的研究
医療マネジメント論、 福祉マネジメント論	早川 佐知子 准教授	アメリカの病院における人事労務管理
日本文学、 生活文化論	森田 直美 准教授	色彩・染織・服飾を視座とした平安期の文学・ 文化研究、有職故実研究
スポーツ・レジャー・ レクリエーション論	吉松 梓 准教授	野外教育、多様なニーズのための自然体験活動
公共ガバナンス論、 自治体マネジメント論	大方潤一郎 特任教授	都市空間の変容過程の解明とそのコントロール、自治体独自のまちづ。 制度、高齢社会対応の地域生活環境基盤、熱成期のまちづくり体制
Corporate Social Responsibility、企業の社会的責任論	高巖 特任教授	企業の社会的責任、AIビジネスと倫理、デジタ プラットフォーマーの倫理的課題

日本語	戸村 佳代 教授	日本語教育·日本語学
中国語、外国文学(中国)、 中国文化論	福満正博 教授	中国の戯曲小説
英語、 外国文学(英米)	辻昌宏 教授	英詩、イタリア詩における音韻構造
英語、 イギリス文化論	宇野 毅 教授	イギリス社会論(イギリスの社会と文化)、 現代イギリス論
英語、 Liberal Arts Seminar in Foreign Languages	山下佳江 教授	日韓英の比較言語研究、 英語ライティングの技法研究
英語、 Global Issues	キアナン,パトリック J. 教授	言語と異文化コミュニケーション
哲学、社会思想、 宗教思想	枝村 祥平 教授	17世紀西洋哲学史、比較思想
フランス語、フランス文化論、 外国文学(フランス)	折方のぞみ 准教授	フランスの文学と思想
ドイツ語、 ドイツ語コミュニケーション	竹内 拓史 准教授	近現代のドイツ語圏文学
Strategic Business Communication, Transcultural Business Communication	金子 敦子 准教授	マネジメント・コミュニケーション、 グローバル経営人材育成
中国語	野田 寛達 准教授	中国語学(語彙、文法)
フランス語、 フランス文化論	谷本 道昭 准教授	フランス語圏の文学と文化
英語	真継 左和子 専任講師	言語テスティング、 English-medium instruction(EMI)とその評価
ドイツ語	畑 一成 専任講師	ゲーテ色彩論、環境哲学、デジタル主権
数学·経営基礎数学	高澤 陽太朗 専任講師	オペレーションズ・リサーチ
Global Issues, Academic Reading, Academic Writing, Study Skills	デュプリス,ジョン A. 特任准教授	Learning Sciences, Writing Anxiety and Motivation
International Business Program, Global Issues	モロー,ロバート J. 特任講師	Academic writing,Autonomous learning, Global Issues

# 文学部

School of Arts and Letters

## 文学科

日本文学専攻

英米文学専攻

- ドイツ文学専攻

- フランス文学専攻

演劇学専攻

文芸メディア専攻

## ■ 史学地理学科

日本史学専攻

- アジア史専攻

- 地理学専攻

考古学専攻

#### 明治大学文学部の強み

# 「人間学」を究めることを目指す3学科14専攻

幅広い教養を身につけるために他学科、他専攻の科目も選択可能 文学を多角的にとらえ、十分な専門知識と幅広い教養を身につけるために

文学を多角的にとらえ、十分な専门和誠と幅広い教養を身につけるだめに 「専門科目」と「教養科目」によるカリキュラム編成。学科や専攻を越えた科目も受講できます。

自らの考えを積極的に発信できる人材に! 少人数ゼミナール教育

少人数のゼミナールが、1年次から設置されています。1年次から先生と同じ目線で一緒に勉強し、 議論を交わしながら、主体的に調べ、学ぶ姿勢を身につけます。

教員や学芸員などの資格取得をサポート、資格課程科目の設置

本学部では、「教員」「学芸員」「社会教育主事」「司書」「司書教諭」の資格取得が可能です。 1年次から資格取得を見据え、サポートするカリキュラムが充実しています。

春学期と秋学期で系統的に学ぶ・半期(半年)で完結する授業科目

授業科目は、半期(半年)で完結するため、同じ曜日の同じ時間帯に、1年間に2つの授業科目を受講できます。 興味や関心に基づき、多くの講義が選べます。

さらに詳しい情報は Step into Meiji Universityまたは 学部ガイドをご覧ください









## 少人数のゼミナール教育を基本とした、 体系的・順次的な教育課程の編成

文学部のカリキュラムの特長は、4年次に執筆する卒業論文に向け、より系統的な学習ができるよう、各専攻でカリキュラムが工夫されている点 です。すべての授業科目が半期(半年)で完結するため、春学期と秋学期で異なる授業科目を履修するなど、フレキシブルな学び方を選択するこ とが可能です。自身の興味や関心に基づき、自専攻の科目および共通選択科目以外に、他専攻の科目も含めて幅広く学べます。

#### ■ 学びの流れ

幅広い教養を身につけ専門能力も高める 自分の関心・課題に合わせて自由に選択 外国語関係科目 共通選択科目 ウェルネス科目 専門的な選択科目 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1.2	1・2年次(和泉キャンパス)		3年次(駿河台キャンパス)	4年次(駿河台キャンパス)	
GT JRJ GAZATTIA	幅広い教	養を身につけ専	門能力も高	あめる	自分の関心・課題に合	oせて自由に選択
Manufacture and the second of	外国語関係科目	共通選択科	目	ウェルネス科目	専門的な選択科目	
情報関係科目 ゼミナール 実習・実習(ゼミナール形式) 卒業論文(ゼミナール形式)	情報関係	<b>系科目</b>	ゼミナー	ル	演習・実習(ゼミナール形式)	卒業論文(ゼミナール形式)

### 

		1年次	>	2年次	多 3年次	〉 4年次	
	専門科目		科目	詳細は学部ガイドを参照してください	LY		
外国	国語関係科目	英語(Communication Skills, Paragraph Wri ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国 ※専攻により必修科目は異なります					
ウュ	ニルネス科目	ウェルネスライフ論、ウェルネススポーツA·B					
	思想と宗教	哲学概論  ・  、倫理学概論  ・  、論理学概論  ・   前近代の東洋思想史、近現代の東洋思想史、古代・「			キリスト教史、イスラム教史		
			日本思想史	(-II			
	地域と文化	日本美術史A·B、西洋美術史A·B、音楽史A·B、ロシア文学史A·B、アジア美術史、 アジアの地域と思想		日韓比較文学、アジア文化史A・B ラテンアメリカ文化論、アフリカ文			
	社会と環境	社会思想史A·B、経済史、国際交流史、国際関係 こころの科学、自己発見の心理学、地球環境A·B			社会史、ジェンダー史、文化財科学A·B、環境歴史学、心理学特論 自己成長の心理学、生命の政治社会学		
		法律学概論、政治学概論、経済学概論、社会学概	論		-		
	ランゲージ	漢文A·B、ラテン語 I A·B、古典ギリシア語入門、古典ギリシア	?語初級文法、上級英語 I A·B.	日本語音声学、日本語史、言語学とその歴史、世界の言語	上級英語    A·B、中級ドイツ語	A-B,	
共通選択科目				A·B、フランス語コミュニケーション III A·B、中級ロシア語 I A·B、 I A·B、中級中国語 I A·B、中級朝鮮語 I A·B	フランス語コミュニケーションIV 中級スペイン語IIA·B、中級中国		
択科			ラテン語Ⅱル	A·B、古典ギリシア語中級文法、古典ギリシア語詞	講読		
曽	総合講座	共通総合講座					
	情報リテラシー	人間と情報Ⅰ・Ⅱ			統計学		
١ :	間報グナブジー	ICTエレメンタリー、ICTペーシック I・II、ICT統計解析 I・II、ICTデータペース I・II、ICTメディア編集 I・II、ICTアプリ開発 I・II、ICTコンテンツデザイン I・II、ICT総合					
		スポーツ文化論Ⅰ・Ⅱ			ウェルネスライフ特論I・Ⅱ、生涯	[スポーツ論  ・	
	ウェルネスライフ	生涯スポーツΙ			生涯スポーツⅡ		
		生涯スポーツⅢ·Ⅳ					
	留学促進プログラム	留学入門講座、留学準備講座、海外現地研修A·B					
	教職に関する科目	型 教育基礎論、教育心理学、教育行政学、学校の制度と経営 ※上記の科目は、文学部の単位として認定される教職科目であり、別途免許を取得するためには教職科目を履修する必要があります。					
۱.,	- -リア支援科目	キャリア・デザイン					
+1	79万又抜付日	ジョブ・インターンシップ					
留	留学関係科目 海外短期留学関係科目A·B·C·D						
日本	日本語教員養成プログラム科目				日本語教授法  ・  、日本語教育	学演習A·B、日本語教育実習I	
7.0	D他				【各専攻大学院設置科目】		
T	716	【学部間共通外国語】、【他学部設置科目】、【グロー	- バル人材育成プログラ	A]			

#### 「個」を強くするゼミナール教育

### 1年次から少人数教育による 「演習科目」での学習を行い、 自律的学習の集大成としての 卒業論文を必修としています。

本学部では、1年次から専攻が決まっているので、「演習」(ゼミナ ール)も1年次から設置されています。少人数の授業で、1年次か ら専任の先生と同じ目線で一緒に勉強できるのは大きなメリッ トです。基礎演習から始まって、2・3年次では、マスターしたこと を基盤に作業や研究を深め、最終的には4年次の卒業論文制作 につなげることで、4年間が一連のカリキュラムになっています。

### 客観的に物事を捉える力が コミュニケーションを円滑にする。

セクシュアリティに関する問題について心理学の研究を行っています。統計を用いた 帰納的なアプローチで情報を収集・解釈。それをもとに考察を立て、疑問点があれ ばゼミ生同士で議論し、助け合いながら卒業論文を執筆します。データを通してあ らゆる事象を理解し、法則を探ることで、客観的に物事を捉える力がつきました。 事実と意見を切り分けて話せるようになり、コミュニケーションにも役立っています。

心理社会学科臨床心理学専攻4年 堀澤 恒平さん (神奈川県立生田高等学校卒業)



#### 文学科 日本文学専攻

専攻詳細·専攻科目

## 日本文学・国語学・漢文学から人間の本質を読む

国際化やメディアの多様化が進むほど、自分の国の文化について正確に知ること、とり する立場に立ちながら、古典から近現代までを視野に入れた日本文学の研究を行 わけ「自分たちの言葉=日本語」について深く考察することが重要になってきます。日本う""世界の文学という広い視野から日本文学の特質を考えてゆく"は、今日に受け 文学専攻は、日本語および日本文学について、様々な角度から考え、学びます。

継がれています。さらに現在では日本語・日本文学を通して海外の大学や学生との 1950年の「日本文学専攻講座」開設の理念、"いま私たちが生きている現代を重視 交流が増し、豊かな学びが進んでいます。



## 授業レポート

#### 日本文学演習(3年)A·B 竹内 栄美子 教授

1920~30年代のモダニズムとプロレタリア 文学を読む2年次の演習を踏まえて、3年次の 演習では、1940年代前半の戦争を描いた作品 を読みます。戦争の様々な局面を描いた小説 を読むことで、人間や社会を学び直します。

#### 卒業論文テーマ(例)

- 『古事記』上巻における世界観
- 平家物語の多面性 一人物造型と救済の思想一
- 色街と樋口一葉 一「にごりえ」論を中心に一
- 食と心理の方法 ―『芋粥』と『小僧の神様』の比較―
- 『風の歌を聴け』からみる村上春樹のはじまり
- 漫画にみる差別語一手塚治虫作品を対象として一

#### 文学科 英米文学専攻

#### 専攻詳細・専攻科目

## 英語の習得を軸に専門分野を深める

英語はコミュニケーションのための共通語です。本専攻のカリキュラムは、時代の要かる研究する英語学の授業も充実しています。また、「コミュニケーション手段」とし 請に応える英語教育と、伝統的な学問体系に基づいた英語教育の調和を考えていての英語を学ぶために、ネイティブスピーカーの授業を含む実践的なクラスが用意 ます。英米文学の歴史、各時代の著名な作品を学ぶクラスが多数設置され、どの授されています。 業も英語文化のすばらしさを実感できます。英語を中心として言語そのものの仕組



#### 英米文学演習(3年)Ⅰ・Ⅱ 新城 真里奈 講師

2年次に学ぶ音声学の基礎知識を土台にして、3 年次ではイギリスの標準発音、さらに他の英語 変種の発音について学びます。また、英語の音 ■ 古を問き、自分で聴覚分析する練習を行うこと で、卒論で必要な技能を習得するとともに英語 の多様性を認識します。

#### 卒業論文テーマ(例)

- 雑誌 GINGERとMOREのテクスト分析 一女性の社会的役割と表象の差異
- ビートニクと若者 一ケルアック『オン・ザ・ロード』を中心に一
- 父と子の関係から考えるアイデンティティの獲得
- 一フォークナー『響きと怒り』からアニメ『新世紀エヴァンゲリオン』まで一 A Critical Consideration of Criticisms of Conrad's Heart of Darkness.
- ジーン・リース『サルガッソーの広い海』による
- 『ジェイン・エア』批判:視点、名前、そして帰属意識

#### 文学科 ドイツ文学専攻



## ドイツ語圏文化の波動に共鳴しよう

ドイツ語は、ドイツのみならず、オーストリア、スイスなどヨーロッパ中部・西部で広す。なお、本専攻はドイツのバンベルク大学、ビーレフェルト大学、またオーストリア るドイツ語授業が用意されていて、等身大のドイツ語圏文化に接することができまくこともできます。

く話されています。言語と文学、文化のバランスよい学習を、しかも歴史と現在の両 のウィーン大学などと密接な関係にあり、音楽の都ウィーンで同大学の夏期語学講 面から学びたい人には、本専攻は理想の場といえます。1年次よりドイツ人教員によ 習会に参加し、ヨーロッパの空気を肌で感じながらドイツ語を自分のものにしてい



#### 授業レポート

#### ドイツ文化演習A・B

新しい日本語とドイツ語、両言語の慣用表現 を比較しながら、人間言語の多様性を再発見 し、言語変化のメカニズムを解明していきま す。教員の概説のほか、学生の発表と討論で 「言語と文化」のかかわりを照らし出します。

#### 卒業論文テーマ(例)

- インゲボルク・バッハマンの詩学
- 障がい者就労支援の日独比較
- ハンナ・アーレント <悪の凡庸さ>とは何か
- ドイツの公共住宅の歴史
- W.G.ゼーバルトが1990年代に描く<戦争>

文学科 フランス文学専攻

専攻詳細·専攻科目



## フランス文化を多角的に堪能する

だけでなく、料理もスポーツも、恋愛も友情も、文化の大切な一部です。フランス語 ランス文化全体、比較文化的な視点からの研究など、様々な学び方が可能です。〈考 は、そんな文化の国をよく知るためのひとつの架け橋です。

本専攻のカリキュラムは、学生の個性や自主性を重んじ、充実した講座、スタッフが

フランス人にとって、人生を真の意味で豊かにするものはすべて文化。芸術や文学 用意されています。実用的な語学、文学や思想、美術や音楽、演劇、映画などのフ える力〉や〈表現力〉の向上にも力を入れています。



#### 基礎演習(フランス文学)A·B 根本美作子 教授

入学したばかりの学生と、フランスがいったい どのような文化のどのような国なのかを多角 的に考察しながら、問題の立て方、レポートの 書き方、発表の仕方などといった基本的技術 を身につけていきます。

#### 卒業論文テーマ(例)

- ・ ジャン=ジャック・ルソーの〈私的〉なものと〈公的〉なもの
- オノレ・ドーミエと19世紀のフランス社会
- 『タルチュフ』に見られる演劇とフランス絶対王政の関係
- 21世紀のライシテ〜異文化との共生と結合
- ロマネスク美術の美意識
- フランスにおける国語教育の重要性とその実情

#### 文学科 演劇学専攻

専攻詳細•専攻科目



## 演劇の魅力を歴史的・理論的に学ぶ

を遂げてきました。劇場だけでなく、上演台本としての戯曲、舞台装置、衣装、俳優のであるという演劇の原理です。本専攻では、それらの多彩な演劇を歴史的、理論的 演技などに、興味深い特色が見受けられます。舞台芸術としての演劇の様々なジャンに学んでいきます。 ル、ドラマ、オペラ、バレエ、ダンス、ミュージカル、パントマイム、そして映画も含め、

西洋でも日本でも、演劇はそれぞれの国の文化伝統の中で歴史的に独自の発展 これらの芸術に共通しているのは、「今、ここで」体験する一回限りのパフォーマンス



## 基礎演習(演劇学)A·B

ひとりの劇作家が書いた複数の戯曲を読み 比べます。一作品ずつ担当を決めて順番に発表する方式ですが、発表後の討論の中では、 ロマンチックな解釈を聞いたり……。毎回新 たな「発見」があります。

#### 卒業論文テーマ(例)

- シェイクスピア作品の異性装上演の受容―『お気に召すまま』を中心に
- -----石牟礼道子 新作能『不知火』論—『天湖』との連続性に着目して
- ニール・サイモン分析~世界に広く受け入れられる劇作家~ ミュージカルにおけるメタ的な手法について
- ~Avenue Qに見るミュージカルの変化~
- 地域社会と結びつく文化芸術
- ~地域活性化と文化芸術振興の共存に向けて~

### 文学科 文芸メディア専攻

専攻詳細•専攻科目

# 「メディアとしての文芸」を探求する

文字や映像をめぐる現代のメディア環境は、多様で複雑になっています。それは、単を生きるとはどのようなことなのかを根源的に考察することが、実は大きな課題で にコミュニケーション手段の多様化を意味するものではなく、その中に生きる人間はないでしょうか。

存在そのもの、思考、行動に大きな変容をもたらしています。

本専攻は、多様なメディア環境の中で自己表現をする力、つまり、主体的に生き抜く

どんなメディアでも、その基盤は「文字」にあります。そこに立ちかえり、「文字」の中 「個」を育てていきます。

#### 授業レポート

#### 文芸メディア演習(3・4年) |・||

室町時代から江戸時代前期にかけて制作さ れたお伽草子(室町物語)を読んでいます。諸 本の比較や語釈を行うとともに、学生が自分 で設定したテーマに沿って研究発表を行い 全員で討論を重ねる中でテキストの読みを深

#### 卒業論文テーマ(例)

- 芥川龍之介の作品群から読み解く、『河童』の意義
- 「故旧忘れ得べき」――高見順と転向
- 伊藤計劃論――「継ぎ接ぎの物語」としての人間
- なぜ鬼退治の方法は「刀で斬る」なのか 少年ジャンプ読者層の変遷からみる多様性受容価値観の拡大
- ディズニープリンセスの女性像の変化――劇中歌で読み解く

#### 史学地理学科 日本史学専攻

専攻詳細・専攻科目

## 過去の知から未来のあり方を考察する

本専攻の大きな特長は、古代・中世・近世・近代・現代と、各時代のスペシャリストととも大切にしています。現代から過去を見ることは、過去から私たちの生きている テーマを設定することができます。重要視しているのは、自分の目で確かめる研究 いましょう。 です。史料(原典)を自分の目で確認し、歴史の現場を自分で見て、感じることをもっ

いえる専任教員が9名揃っている点で、どの時代の、いかなる分野でも自由に研究 現代を考察することでもあります。歴史を勉強することで、未来をつくる創造力を培



#### 授業レポート 演習 I (日本史) A·B

## 落合 弘樹 教授

春学期は明治維新に関する最新の研究を反映 した文献を輪読し、討論を通じて理解を発展 させます。秋学期は幕末・維新期の一次史料を 輪読し、行間から情報を読み解く能力を習得 し、卒業論文につなげていきます。

#### 卒業論文テーマ(例)

- 古代の陸戸とその史談視について
- 山門・室町幕府から見る山門使節制度
- 浅井了意著『鬼利至端破却論伝』の成立事情
- 『江戸町触集成』に見る江戸の食
- 近世幼年者犯罪と身分制度の関わり
- 近代東京における都市住宅事情
- 日本陸軍の第一次世界大戦認識と国防思想

#### 史学地理学科 アジア史専攻

専攻詳細•専攻科目

## アジアの諸言語と奥深い文化に出合う

世界経済、外交を動かし、変動し続けているアジア。日本は、そのアジアの一員としができる互恵の精神が必要です。本専攻は、アジア世界に積極的にコミットし、歴 すます深まり、関係は一層緊密となっていくでしょう。そのために重要なのは、なに ます。 よりもお互いの歴史を理解することです。互いを尊重、尊敬しつつ、心の通った交流

て、重要な役割を果たすことを期待されています。今後アジア各国との交流はま、史、文化を理解し、アジア諸国の一員として信頼されるグローバルな人材を育成し



## 史料演習(アジア史)A·B

鈴木開 准教授

近世・近現代の歴史資料に触れながら卒業論 文を書くための史料読解や研究の方法を学び ます。漢文をはじめとする諸言語で記された史 料、地図や写直などの図像資料を読みときな がら歴史的思考力を身につけていきます。

#### 卒業論文テーマ(例)

- 則天武后の宗教政策と宗教観
- 17世紀の広南阮氏の発展―日中との外交貿易を通して―
- 万暦四十四年南京教案と沈灌の天主教認識の一者窓
- 旅行記から見る17世紀オスマン朝におけるイェニチェリの拡大
- 新生活運動が中国社会に与えた影響―キリスト教女性を中心として―
- 13世紀アルメニア語年代記から見るマムルーク朝 -ヘトゥム―世期における対マムルーク朝外交-

#### 史学地理学科 西洋史学専攻

専攻詳細·専攻科E

## 時空を超えた異文化の魅力にふれる

ア・ベルギー・フランス・ロシア・ドイツ・オーストリア・アメリカ)を専門とする教員が、学生教養を身につけ、それをもとに自己を世界の中にイメージする想像力を養います。

国際社会の情報化、ボーダーレス化は著しく、世界各地のニュースがリアルタイムで伝 諸君の勉学をサポートしています。1年次より基本的な歴史研究の方法論を学び、その わってきます。様々な情報の本質をつかむためには、その地域の歴史、文化、言語などを 地域の言語の習得と文献読解を進めて、西洋世界への理解を深めるカリキュラムが組 理解することが大切です。本専攻では、古代史・中世史・近世史・近代史・現代史(ギリシーまれています。西洋史の勉強を通して、世界に対する幅広い見識と歴史についての深い



### 授業レポート

## 演習 I (西洋史) A·B

私の演習(ゼミ)では、春学期における論文・史 料の講読や秋学期の自由報告により、西洋中 世史に関する卒業論文を執筆するための土 大学のセミナーハウスにて3・4年生合同で行われた合宿の際のものです)。

### 卒業論文テーマ(例)

- ハプスブルク君主国における国民主義の問題
- イタリア・マフィアの社会史
- 古典期アテナイにおけるレイトゥルギアの意義
- バロック期におけるスペインの画家と社会
- ロシアにおける農奴制廃止と農民の生活の変化

1920年代から41年までの日米外交

76

史学地理学科 考古学専攻

専攻詳細·専攻科目



## 考古資料にふれ、調べ、学び、読み解く

本専攻は1950年に創設された、私立大学では最古の考古学専攻です。以来、考古学 自負しています。メインの研究分野は日本列島ですが、学外からも著名な研究者を 史に残る重要な発掘調査、たとえば群馬県岩宿遺跡や静岡県登呂遺跡などの調査 招いて、海外の考古学の講義なども開講しています。最高の環境で、充実した学び を、数多く手がけてきました。長い伝統と実績により、優れた専任教員、専任スタッフを約束します。 が多数揃っており、資料にも恵まれ、日本でもっとも充実した考古学専攻であると



#### 授業レポート

#### 考古学実習I・II A・B 若狭徹 教授

夏季集中で実施するフィールド重視の課目で す。合宿での発掘調査、遺跡踏査、遺物の整理 など、各教員が独自の実習計画を示し、履修 学生はいずれかを選択して参加します。考古 学の基礎的技術を獲得し、その成果をグルー プでまとめ、実習報告会で発表します。

#### 卒業論文テーマ(例)

- 中里目塚と東京湾西岸地域内目塚における採目活動の共涌占について
- 土器付着炭化物の安定同位体分析からみた縄文時代後期の土器機能及び生業活動
- 南関東における弥生時代中期の木製品模倣鉢形土器
- 榛名山麓集落遺跡から見た古墳時代集落の再検討
- 武人埴輪の研究-型式と展開-
- 埋葬施設からみた古墳時代後:終末期の常総地域の社会

#### 史学地理学科 地理学専攻

専攻詳細•専攻科目



## 地理を学ぶために、歩く、観る、考える

環境のなりたち、都市や農村における経済や社会の特性、さらに宗教、言語、民族な 学び、データの整理、分析のために、コンピュータを利用した研究技術を身につける どの文化の地域性など、人間と自然にかかわる幅広い領域を探求します。モットーことができます。 は「歩く、観る、考える」。フィールドワークを重視しています。また、グローバル化や

世界の国や都市、山脈や河川、各地の産業など、日本や世界の各地域における自然 多様化する地域問題に対処するために、地理情報システム(GIS)や画像処理技術を



#### 文化地理学Ⅰ・Ⅱ 大城 直樹 教授

文化地理学では、眼前の風景やメディアにお ける景観表象から、歴史・社会・政治など様々な文脈を読み解いていきます。今年度は、モダ ニティ(近代性)と都市の関係性について、映 画を素材として検討しました。

#### 卒業論文テーマ(例)

- 北海道中央部、大雪山トムラウシ山における氷河地形
- 鳥海山の亜高山帯における落葉広葉低木林の分布特性
- 1901年~2005年の大都市における降水特性の経年変化
- 戦後上野公園における空間イメージの変容
- 後楽園から東京ドームシティへ 一都心集客施設にみる娯楽ニーズの多様化-
- 高円寺における古着街 一サブカルチャーの街に根付いた古着業-

# TOPICS

75

## 言葉は文化の源(みなもと) 「特修外国語コース」

ラムであるく特修外国語コース>を2024年度から開始します。ドイツ レベルの授業が受けられるようになります。

言葉は文化の源であると同時に、異なった文化を覗き込むための「窓」語、フランス語、スペイン語、朝鮮語、中国語、アラビア語、古典ギリシア でもあります。広い視野を持った「人間学」の探究を目指す文学部では、 語、ラテン語などの未習外国語に関し、1年次、2年次で基礎を充実させ 大学院の文学研究科と共同で、さらに充実した新たな語学教育カリキュ たあと、3年次、4年次では大学院文学研究科に設置された、中級、上級

### 心理社会学科 臨床心理学専攻

### 専攻詳細·専攻科目

## 心の問題に理論と体験からアプローチする

臨床心理学とは、いわゆる心の問題を抱えた人を理解し、援助するための実践的な りようを理解し、人が精神的に成長し変容するために必要なことを幅広く学びま 士・公認心理師はその訓練を受けた専門家に与えられる資格です。しかし、本専攻 す。 は専門家になることだけが目的ではありません。より深い意味において、人の心のあ

心理学です。カウンセリングは臨床心理学の実践のひとつの形態であり、臨床心理 す。心理学全般と、臨床心理学の実践につながる様々な体験学習を重要視していま



#### 授業レポート

#### 臨床心理学概論 佐々木 掌子 准教授

臨床心理学とは、心理学を用いた援助技法や 理論を研究する学問体系です。本授業では、ま ず基本を押さえ、さらにジェンダーやセクシュ アリティに関する問題も取り扱います。個人だ 養ってもらいたいと思います。

#### 卒業論文テーマ(例)

- 自己肯定感と公的自意識がSNS 依存に及ぼす影響について
- 大学生におけるがん患者さんに対するスティグマに影響を与える要因の探索
- 大学生の性別役割意識の形成要因の検証
- Highly Sensitive Person と自尊感情の関連性の検討
- ポジティブ経験の想起が自尊感情に及ぼす影響-抑うつ傾向の効果-
- 自傷行為者及び自傷念慮を抱く者の心理特性とその性差についての検討

#### 心理社会学科 現代社会学専攻

#### 専攻詳細・専攻科目

## 社会のあり方を現場から学び、実践する

ちおこしなど、様々な市民運動や市民活動が行われています。本専攻の特長は、こ 的、実践的に社会の現実を探求します。 のような運動や活動の現場にふれながら社会現象を研究していくことです。理論的

現代社会では、外国人や性的マイノリティ、障がい者など、多様な人たちとの共生関に学ぶとともに、実際の現場に出かけていき、人々の話を聞き活動にも参加します。 係づくり、地産地消などの循環型社会づくり、地域外の人たちとの交流を通したま 授業と学外での実習を通して臨床の知を養い深めます。多角的な視点から、学問



#### 現代社会学実習A·B 平山 満紀 教授

明治大学内で「生理の困りごととニーズ」の調 査をし、男性が生理について知る機会がない、 酷い生理痛があっても婦人科に行きにくい、な どの問題を明らかにしました。問題解決のため、医学知識の掲示や生理用品の展示などの 「生理のワークショップ」もしました。

#### 卒業論文テーマ(例)

- 子どもの貧困の解決策としての「居場所型学習支援」
- 遺伝子組み換え食品と食の安全
- 若者が地域活動に参加し続けるには
- 日本の外国人対応一国、自治体に関する分析から一
- 児童養護施設退所者の自立支援策
- SNS時代の新しい性教育情報源

## 心理社会学科 哲学専攻

#### 専攻詳細・専攻科目



## 身近な問題をとことんつきつめ、未来を展望する

グローバル化が進行し、ITをはじめとする新しい技術が進み、これまでの価値観や対応した学びができるようにしました。本専攻では、東西の哲学を渉猟しながら、現 世の中の仕組みが大きく変化しています。こうした時代だからこそ、過去の蓄積を 代の諸問題に対して実践的に取り組むカリキュラムを組み、自分の考えを自分のこ 踏まえながら、新たな世界、新たな人間関係を構想する哲学・倫理学の分野に注目とばで表現する力を養います。 が集まっています。明治大学文学部は哲学専攻を2018年に新設し、こうした潮流に

#### 授業レポート

#### 哲学プラクティス |・|| 池田喬 教授 坂本邦暢 准教授

自分たちで哲学的な問いを設定し、その問 いについて対話を通じて共同で考えていき ます。身近な例から哲学的な問題にアプロー チし、哲学的に考えるための技法を身につけ

#### 卒業論文テーマ(例)

- ホッブズの国家論において国民の安全は守られるのか
- 学問学としての「仁斎学」―人が人として生きるための営み―
- ハイデガー『存在と時間』における実存論的独我論について
- 〈ありのまま〉とは何を意味しているのか
- ―エンハンスメントの議論と障害の社会モデルから考える-
- ノイズからみた音楽とその受容
- こどもの哲学対話において「知的に安全な場所」は どのように作られるのか-教室での実践からの考察-



# 留学制度 文学部主催

#### 協定留学・単位互換プログラム

明治大学では46カ国・地域、269大学・学部の海外協定校に留学可能で、英語圏をはじめとする様々な大学に最 大1年間留学することができます。文学部独自の協定校は韓国・台湾・中国・フランス・ドイツ・カナダ・イギリス・セネ ガルに計11校あり、今までに短期プログラムを含め約180名の学生が留学してきました。また、海外大学の日本校で あるテンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)と単位互換プログラムを実施しており、条件を満たす学生はTUJで行 われるアメリカ式の授業に参加し、疑似留学体験をすることも可能です。

#### トロント大学短期語学研修

トロント大学生涯学習学部(カナダ)にて開催され、国際的に高い 評価を受けている4週間の英語トレーニング(English Plus)およ びボランティア活動やアクティビティに参加するプログラムです。 日常の様々な場面で使える英語をバランスよく学びます。

### 海外自主計画短期研修サポートプログラム 海外現地研修A・B

文学部では、自ら進んで海外に飛び立ち、現地での経験を通じて 知見を深めることで、今後のグローバル社会で必要な国際性を身 につけようとする学生を支援することを目的に、長期休暇中に自 主的に海外で行う語学研修やフィールドワークなどの調査につい て、渡航などの費用に対する助成を行っています。

#### SOAS短期研修プログラム

本プログラムは、ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院(SOAS)IFCELS にて開催され、英語力の強化を基本とし、その上で文学・芸術・メディア・映 画・国際関係論・政治学・開発学などについて学ぶことができる短期プロ グラムです。文化・芸術施設も多く有するロンドンという地の利を最大限に 活用したコース内容、また単に英語を学ぶだけではなく、英語で自分の専門 領域について学ぶための選択肢の広さは本プログラムの最大の魅力です。

文学部では2017年度より従来の海外ゼミ合宿の内容をより充実 させ、「海外現地研修」として授業化しました。現地での研修時間 および国内での事前・事後学習の時間に基づき、1単位もしくは2 単位を修得することができます。

#### 協定留学 · 認定留学



明治大学では、「協定留学」と「認定留学」の海外留学制 度を設けています。「協定留学」には、「大学間協定留学」 と「学部間協定留学」があり、それぞれ、留学の協定を結 た単位が文学部の卒業要件単位として認定されること もあり、単位の修得状況により休学・原級することなく 4年間で卒業することも可能です。

#### く協定校>

ビーレフェルト大学言語学・文学部(ドイツ) ボルドー・モンテーニュ大学(フランス) ポー・アドゥール地方大学(フランス) 高麗大学校文科大学(韓国) 北京師範大学歴史学院(中国) シェク・アンタ・ジョップ大学人文科学部(セネガル)

#### <短期プログラム>

トロント大学(カナダ) ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院(SOAS)IFCELS(イギリス)

#### **OB•OG MESSAGE**

## 心理と行動を読み解く学びが、人と向き合う仕事の原点に。



カスタマーマーケティング株式会社

渡邊 祐三子さん 心理社会学科現代社会学専攻2017年卒業 (東京都私立十文字高等学校卒業)

人々の生活を豊かにすることで社会に貢献したいという思いがあり、特に衛生の面から日本の 生活文化を支える花王への入社を志望しました。現在は食品スーパーなどを取引先とした営業担 当として活動しています。日用雑貨を中心とした商品の提案、バイヤー様に対し売場での商品の配 置や販売戦略を立案することが主な仕事内容です。販売促進に繋がる最善の策をご提案するた めには、取引先様の顧客ニーズを分析するなど日々努力を要しますが、実績に繋がった際は大きな 達成感があります。バイヤー様、小売店を利用されるお客様、様々な人々と向き合う仕事。改めて、 在学中に培った「相手の立場に立って物事を考える力」が役に立っていると実感しています。社会 を形成している"人"に興味を持ち、心理や行動を読み解いていく学びの中で、相手の立場に立って 考える姿勢が身につきました。また、社会の"当たり前"に疑問を持ち、"なぜ?"を深掘りする視点を 養えたことは、小売店様への新しい提案を生み出すことに役立っています。在学中も社会に出てか らも、私を支えてくれているのは人です。皆さまへの感謝を大切に、これからも仕事に励みます。

# 教員紹介・研究テーマ

#### 日本文学専攻

氏名	研究テーマ
生方 智子	近代・現代の文学。特に、夏目漱石・谷崎潤一郎・現代女性作家の研究
小野 正弘	日本語の歴史。特に、語彙・文字・意味の変遷
甲斐 雄一	中国古典文学、宋代文学と出版文化についての研究
郭南燕	日本近現代文学、キリスト教文化、宣教師の日本語文学
杉田昌彦	日本近世文学。本居宣長を中心とする江戸時代の国学
田口麻奈	国家や社会といった近代的共同性と日本の詩的言語の関係性
竹内 栄美子	日本近代文学。中野重治を中心としたプロレタリア文学や戦後文化運動の研究
牧野 淳司	『平家物語』を中心とする中世文学と寺院資料
八木下 孝雄	日本語の歴史。特に外国語翻訳における直訳的な表現の受容と変遷
山﨑 健司	萬葉集を中心とする奈良時代以前の文学
湯淺 幸代	物語を中心とする平安文学。『源氏物語』受容史

#### 英米文学専攻

スパステザス		
氏名	研究テーマ	
新城 真里奈	英語音声学。ウェールズ英語を中心に、さまざまな英語変種の発音の研究	
石井 透	理論言語学。生成文法理論での統語理論、比較統語論	
大山 るみこ	映像記号論。映像の「文法」と、言語の関係。文体論	
梶原 照子	アメリカ文学・詩・ジャンル論。言説の分析	
久保田 俊彦	コンピュータコーパスを利用した言語調査、文体の分析	
Sato,Gayle K.	20世紀アメリカ文学、児童文学、war memory	
竹内 理矢	アメリカ南部文学、モダニズム文学、比較文学	
塚田 麻里子	戦争文学・紀行文学を含む19・20世紀の英文学	
野田学	英国演劇。演技・演出論および演技身体論	
横山 晃	19世紀・20世紀アメリカ文学、都市文学	
Watson, Alex	ロマン主義文学(特に注釈研究)、ゴシック文学、英国の映画	

#### ドイツ文学専攻

氏名	研究テーマ
岡本 和子	19世紀から20世紀前半にかけてのドイツ文学、思想、およびベルリン関係
冨重 与志生	18世紀文学、特にモーリッツ。ほかに美術史、料理文学、現代文学
新本 史斉	19世紀以降のドイツ語文学、翻訳論、ヨーロッパ越境文学
福間 具子	ドイツ・オーストリアの近現代詩、ドイツ語圏ユダヤ系文学、ウィーンのユダヤ文化
Mandelartz, Michael M.	18世紀から20世紀までのドイツ文学、ゲーテ、クライスト、文化学
渡辺学	日独言語文化研究、メディア・社会言語学、異文化コミュニケーション研究

#### フランス文学専攻

氏名	研究テーマ
奥 香織	フランスの舞台芸術・劇文学、演劇美学の変容、18世紀を中心とした芸術文化、芸術と社会
小島 久和	ルネサンス期の新プラトン主義哲学の研究
杉山 利恵子	フランス語学、統治論の研究。フランス語教育
谷口 亜沙子	20世紀のフランスを中心とした詩(ポエジー)の研究
田母神 顯二郎	フランス近現代詩、フランス現代思想、精神医学史
根本 美作子	20世紀文学、表象文化論

#### 演劇学専攻

氏名	研究テーマ
伊藤 真紀	日本の演劇史。特に近代を中心とした演劇文化史の研究
伊藤 愉	西洋演劇史。特にロシア・アヴァンギャルド演劇の研究
井上 優	西洋演劇史。特にルネサンスから近代にかけての演劇の表現モードの変遷
大林 のり子	演出家の役割・上演分析による越境的な演劇活動の再考
矢内 賢二	日本演劇史。歌舞伎を中心とする演劇・芸能および周辺文化の研究

#### 文芸メディア専攻

氏名	研究テーマ
伊藤 氏貴	近現代の文学・藝術とその背景となる思想
内村 和至	日本近世小説史・思想史。出版メディアと文学テクスト
佐伯 和香子	日本古典文学の民俗学的研究。口承文芸、お伽草子、菅江真澄研究
相良剛	〈読む・書く〉を、出版実務経験から探索。〈本〉の新しい形を研究
中江 桂子	文化社会学・メディアの社会史・社会心理と文化史
能地 克宜	日本近現代文学、室生犀星、浅草文芸、街と文学

#### 日本史学専攻

氏名	一 研究テーマ
石原 豪	現代史。軍隊と社会との関係。軍隊による宣伝活動
落合 弘樹	近代史。幕末・維新期の政治史の研究
清水 有子	近世史。織豊政権、江戸幕府の政治外交史の研究。鎖国の形成、キリシタン問題など
高橋一樹	中世史。荘園制と交通体系、訴訟制度、文書論
富山 仁貴	現代史。戦後の社会運動史、地域史、教育史の研究
中村 友一	古代史。氏族を中心に、政治史、法・制度、地域史を見渡す研究
野尻 泰弘	近世史。藩領を中心とした地域史の研究
松山恵	近代史(文化史)。空間と社会の関係性から日本都市の特質を解明
山田 朗	現代史。軍拡と膨張の論理、戦争の実態の解明

#### アジア史専攻

氏名	研究テーマ
江川 ひかり	オスマン帝国の政治·経済·社会·文化を総合的に研究
櫻井 智美	中国近世史、特にモンゴル帝国時代の政治・社会・文化の研究
鈴木 開	朝鮮近世史、朝鮮半島を中心とする東アジアの外交関係・国際交流の歴史を研究
高田 幸男	20世紀の中国・東アジアの政治・社会・教育の変容を考察
髙村 武幸	中国古代・中世の政治と社会。簡牘の分類・再利用、「書く」文化史

#### 西洋史学専攻

氏名	研究テーマ
青谷 秀紀	中世ネーデルラント都市の宗教社会史
谷口良生	近現代フランス史。特に近代フランスの議会に関する政治・社会・文化史研究
豊川 浩一	近世ロシア史。特に18世紀の民衆史や民族問題の研究
古山夕城	ギリシア古代史。周縁地域におけるポリスの政治社会構造
水野 博子	オーストリア・ヨーロッパ近現代史。ネイション・エスニシティ・人種の問題を政治文化や記憶文化の領域から研究
山本 耕	近現代フランス史。特に戦間期からヴィシー政権期のユダヤ人研究
鰐淵 秀一	初期アメリカ史。主に17-18世紀イギリス帝国による北米植民の過程の研究

#### 考古学専攻

氏名	研究テーマ
阿部 芳郎	縄文時代の生業と社会構造や居住活動に関する研究
石川 日出志	縄文時代から弥生時代への社会変革と地域差の研究
佐々木 憲一	関東の古墳を素材に、周縁地域の国家形成に迫る研究
藤山 龍造	先史時代の環境変化と資源開発に関する研究
若狭 徹	集落・墓・耕地等の遺跡群から古代社会を立体的に復元する研究

#### 地理学専攻

氏名	研究テーマ
荒又美陽	都市景観に関する社会地理学的研究
梅本 亨	北半球高緯度の植生景観および山地気候の研究
大城 直樹	地域アイデンティティの形成と民俗地理の分節化に関する研究
川口太郎	人々の暮らしから都市の成り立ちやあり方を考える都市地理学研究
佐々木 夏来	山岳湿地の形成と発達に関する地形学的研究
高波 紳太郎	火山周辺の地形発達と河川の侵食過程に関する研究
松橋 公治	工業立地のグローバル化と地域構造再編との関連に関する研究

#### 臨床心理学専攻

氏名	研究テーマ
岡安 孝弘	健康心理学。心理的ストレスと心の健康に関する研究
加藤 尚子	心理コンサルテーション、虐待を受けた子どもの養育および心理支援、心理療法、トラウマ、愛着臨床
川島 義高	精神疾患を抱える方々への臨床心理学的支援、自傷・自殺予防
佐々木 掌子	多様な性(セクシュアリティ)に対する臨床心理学的支援
高瀬 由嗣	投映法心理検査の分析および解釈法の精緻化
竹松 志乃	イメージを媒介とする心理療法。デス・エデュケーション
濱田 祥子	青少年の発達上の諸問題に関する研究
山登 敬之	精神科医療機関における心理臨床の可能性(子どものこころクリニック院長)

#### 現代社会学専攻

氏名	研究テーマ				
宇田 和子	公害・環境病の被害と生活回復に関する研究				
大畑 裕嗣	日韓の市民活動と市民運動に関する研究				
昔農 英明	ナショナリズム、多文化共生、移民・難民問題の研究				
内藤 朝雄	いじめ、職場の迫害、DV、民族紛争、自由な社会				
平山 満紀	ジェンダー、セクシュアリティ、身体の現代的変容				

#### 哲学専攻

氏名	研究テーマ			
池田 喬	現象学を中心とする現代哲学・倫理学			
井上貴恵	9-14世紀のイスラム神秘主義思想(スーフィズム)			
合田正人 19・20世紀フランス思想、ドイツ思想。近代ユダヤ思想史				
坂本 邦暢	西欧ルネサンスと近代の哲学史・科学史			
志野 好伸	日中比較思想。近現代中国における西洋哲学受容			

#### 教養科目

	氏名	研究テーマ			
田中 伸明 スポーツ心理学。特にテニスプレイヤーのメンタリティについて					
	水村 信二 ウェルネス教育に関する研究。スポーツクライミングに関する研究				
	宮脇 梨奈	ヘルスコミュニケーション。健康情報の普及・啓発に関する研究			
諸富 祥彦 生きる意味の悩みの支援。学校カウンセリング					
	山田 亨	人類学(文化·言語)、法人類学、公共政策			

#### 資格課程科目

氏名	研究テーマ	
青柳 英治	図書館専門職員の人的資源管理に関する研究	
伊藤 貴昭	説明行為が学習・理解に及ぼす影響に関する実践研究	
伊藤 直樹	思春期・青年期における学校での適応に関する研究	
井上由佳	国内外の博物館の社会的役割の考察と人材育成・学芸員養成	の国際比較研究
小林 繁	生涯学習政策と施設・機関をめぐる諸問題の検討	
駒見 和夫	博物館教育の役割とインクルーシブなミュージアムの構築に	向けた研究
齋藤孝	身体を基盤とした教育メソッドの開発・実践	
齋藤 泰則	レファレンスサービスと情報要求に関する研究	
佐藤 英二	脱産業化社会において数学と科学を学ぶ意味に関する史的考	奈
関根 宏朗	人間形成における「自律」の問題についての教育哲学的研究	
高野 和子	日英における教師教育の政策と制度の研究	
林 幸克	教科外教育における体験活動に関する実証的研究	
平川 景子	女性の主体形成。社会教育実践研究。学習支援者の力量形成	
藤井剛	キー・コンピテンシーに基づく学習指導法のモデル開発に関す	「る研究
三浦 太郎	図書館史、特に近現代日本の図書館制度に関する考察	
山下 達也	近代日本および植民地・占領地における学校教育史研究	

# 情報 コミュニケーション学部

School of Information and Communication

■ 情報コミュニケーション学科

明治大学情報コミュニケーション学部の強み

# 高度情報社会で活躍する創造的な人材を育成

多面的な視点から「人と社会」にアプローチ カリキュラムのカスタマイズ

> 必修科目を最小限にし、問題意識や研究テーマに応じて、学生自身が主体的に科目を選択することで、 カリキュラムを「自分仕様」に組めるように履修の自由度を大幅に高めています。

学生の主体性をいかした教養科目群の設置<br/>
アクティブ・ラーニング

短期間で集中的に学ぶクォーター授業\*\*や、フィールドワーク・ワークショップ・学外研修など、 学生による主体的な活動を支援する科目を設置しています。

1年次から4年次まで学生の学びをサポート ゼミナール科目

1年次から4年次まで、ゼミナール科目が配置され、問題の発見から解決までの過程をガイドします。 また、学問・研究の集大成としての卒業論文・卒業制作を提出することにより、単位修得が可能です。

語学以上の「何か」を現場でつかむ ミッション遂行型現地留学

単なる語学留学に終わることのない、学生が留学先で何かを主体的につかみ取ってくる ミッション(目的)遂行型の国際交流プログラムを用意しています。





## 問題・課題によってカスタマイズできる柔軟なカリキュラム

「問題を発見し、解決する4年間」を実現するために、1年次から学際的知識を習得することが可能なカリキュラムとなっています。1・2年次、3・4年次ごとに大きく3つに分類された科目群を設け、その中から学生が自由に選択できる専門科目群を用意しています。授業科目間の関係性を示すために、ガイドラインとして履修モジュールを用意していますので、自分が研究したいテーマに沿った科目を効果的に学ぶことができるような仕組みとなっています。

#### ■ カリキュラム体系図

ゼミナー川科       大 <th></th> <th>環境と社会 ジェンダー論 情報 報答学 市民社会と法 I・II</th> <th>学         マクロ経済学           文化論(基礎) 日本史標論         歴史学           学         日本文学           学         バブリック・スピーキング</th> <th>イ/ペーションの経済学 コー和ート・がけンストー 社会福祉 NPO 論 公共改策 A・B ジェンター 家民と法 i・II 国際関係論 i・II 国際関係論 I・II 現代アメリカ政治論 現代型犯罪上刑法 i・II 個人と国家 情報社会 現代で改と法 A・B 財産と法 i・II 情報政策 現代改と活入 B・II 社会思想史 情報でナリー・マネジメント 東文にコニュアーションタ 正 広告論 指示 グレビ 会 アート・マネジメント 東文にコニュアーションター と社会 アート・マネジメント 東文にコニュアーションター と社会 大郎 大郎 女子 と社会 I・II 追称表現 ジェンダーと社会 I・II 追称表現 ジェンダーと社会 I・II 追称表現 ジェンダーと社会 I・II 追称表現</th> <th>と法A・B         政治とメアア         マスミューケーション歯科・メディアの歴史           オディアの歴史         新聞と情報         メティア論           自動と情報         知的財産法 A・B         規則社会学           自命・B         ファイナンス論A・B         ファイナンス論A・B           イン論         地域文化論(開鮮)         コニパーサルデザイン 倫理学           申し対人法         地域文化論(アランス)</th>		環境と社会 ジェンダー論 情報 報答学 市民社会と法 I・II	学         マクロ経済学           文化論(基礎) 日本史標論         歴史学           学         日本文学           学         バブリック・スピーキング	イ/ペーションの経済学 コー和ート・がけンストー 社会福祉 NPO 論 公共改策 A・B ジェンター 家民と法 i・II 国際関係論 i・II 国際関係論 I・II 現代アメリカ政治論 現代型犯罪上刑法 i・II 個人と国家 情報社会 現代で改と法 A・B 財産と法 i・II 情報政策 現代改と活入 B・II 社会思想史 情報でナリー・マネジメント 東文にコニュアーションタ 正 広告論 指示 グレビ 会 アート・マネジメント 東文にコニュアーションター と社会 アート・マネジメント 東文にコニュアーションター と社会 大郎 大郎 女子 と社会 I・II 追称表現 ジェンダーと社会 I・II 追称表現 ジェンダーと社会 I・II 追称表現 ジェンダーと社会 I・II 追称表現	と法A・B         政治とメアア         マスミューケーション歯科・メディアの歴史           オディアの歴史         新聞と情報         メティア論           自動と情報         知的財産法 A・B         規則社会学           自命・B         ファイナンス論A・B         ファイナンス論A・B           イン論         地域文化論(開鮮)         コニパーサルデザイン 倫理学           申し対人法         地域文化論(アランス)	
社会科学自然科学文化と表		家族社会学概論 コミュニティ論 社会・ 環境と社会 ジェンダー論 市民社会と法 I・II 情報 憲法 A・B 社会学 A・B 政治・ 異文化理解 小集四ミュニケーション 地域、 英語文学 A・B 新興国学 A・B 新興国学 各・B 哲学 生命論 A・B 哲学 上の論語学 生命論 A・B 哲学 東洋 科国文学 情報検索論 地理学 本・財子 大田 「「一年の学」、「「一年の学」、「一年の学	社会と経済 犯罪と法1・II メディア・リテラシー 倫理 法学 学 マクロ経済学 文化論(基礎) 日本史標論 歴史学 日本文学 学 バブック・スピーキング 比較文化基別A・B 文標論 メディア批評 学 A・B 脳科学	イ/ペーションの経済学 コー和ート・がけンストー 社会福祉 NPO 論 公共改策 A・B ジェンター 家民と法 i・II 国際関係論 i・II 国際関係論 I・II 現代アメリカ政治論 現代型犯罪上刑法 i・II 個人と国家 情報社会 現代で改と法 A・B 財産と法 i・II 情報政策 現代改と活入 B・II 社会思想史 情報でナリー・マネジメント 東文にコニュアーションタ 正 広告論 指示 グレビ 会 アート・マネジメント 東文にコニュアーションター と社会 アート・マネジメント 東文にコニュアーションター と社会 大郎 大郎 女子 と社会 I・II 追称表現 ジェンダーと社会 I・II 追称表現 ジェンダーと社会 I・II 追称表現 ジェンダーと社会 I・II 追称表現		
人文科学 自然科学 社会シス: 文化と表		環境と社会 ジェンダー論 情報 様智学 市民社会と法 I・II 政治 東法 A・B	社会と経済 犯罪と法1・II メディア・リテラシー 倫理 法学 学 マクロ経済学 文化論(基礎) 日本史標論 歴史学 日本文学 学 バブック・スピーキング 比較文化基別A・B 文標論 メディア批評 学 A・B 脳科学	イ/ペーションの経済学 コーボルト・ガパナスト』 社会福祉 NPO論 公共政策A・B ジェンゲー 家族と法1・II 国際開発論 ジェゲー・ 経済思想史 国際経済論A・B 明在近別東上削法1・II 情報を実 現代党別力政治論 関係在法1・II 情報政治 現代改と法A・B 財産と法1・II 情報政治 アート・マネジメント 異次に第25・II 社会思史 情報アゲー 東次に35・II 生命を表別。 信報アゲー なた音流 情報文化 大変の文化と歴史 社会文化史 治形表別。 第25・メーターと社会1・II 治形表別。	と法A・B         政治とメアア         マスコミュケーション論本           マネジハト1・1         ソーシャルビジネス論         メディアの歴史           自         制能と情報         メディアの歴史           ら 自 自 自 自 自 自 他 は文化流(毎)         ファイナンス論A・B           ファイナンス論A・B         ユニパーサルデザイン 倫置学           ト ーナリズム論         地域文化論(ドイツ)           機理学         ・サイン人論	
自然科学社会シス・社会シス・文化と表		英語文学A·B 新興国事情 地誌 外国文学 心理学A·B 地理 言語学 生命論A·B 東洋 宗教学 西洋史概論 東洋 科学技術史 情報科学 情報検索論 地球 環境生物学 情報検索論 地球	学 日本文学 デ バブック・スピーキング 比較文化(基礎)A・B メディア批評 学 A・B 脳科学 環境科学	NPO論 公共政策A·B ジェンダー 家族と法 i・II 国際開発論 ジェグチー 経予思想史 国際研究論 i・II 情報 在 現代 アメリカ政治論 現代 世紀 東州 末計 i・II 自標 を 現代 市政 と法 A·B 財産と注 i・II 情報 政治 現代 政治学 i・II 社会思想史 情報 どん アート・マネジメント 異文にミュケージョンタ 広告論 指帯 アゲー 民体の表 2 によう は に は に は に は に は に は に は に は に は に に は に に は に な に に は に な に に は に な に に は に な に に は に な に に は に な に は に な に は に な に は に な に は に な に は に な に な	と法A・B         政治とメアア         マスミューケーション歯科・メディアの歴史           オディアの歴史         新聞と情報         メティア論           自動と情報         知的財産法 A・B         規則社会学           自命・B         ファイナンス論A・B         ファイナンス論A・B           イン論         地域文化論(開鮮)         コニパーサルデザイン 倫理学           申し対人法         地域文化論(アランス)	
集 社会シス:		展 環境生物学 情報検索論 地球 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	環境科学	NPO論 公共政策A·B ジェンダー 家族と法 i・II 国際開発論 ジェグチー 経予思想史 国際研究論 i・II 情報 在 現代 アメリカ政治論 現代 世紀 東州 末計 i・II 自標 を 現代 市政 と法 A·B 財産と注 i・II 情報 政策 現代 市政 と法 A·B 財産と注 i・II 情報 政策 アート・マネジメント 異文化 ニュニケージョンテ 成 告論 指示 ケージ・ア 映像表現論 ジェンダーと社会 i・II 造形表別 労働を表現論 ジェンダーと社会 i・II 造形表別	と法A・B         政治とメアア         マスコミュケーション論本           マネジハト1・1         ソーシャルビジネス論         メディアの歴史           自         制能と情報         メディアの歴史           ら 自 自 自 自 自 自 他 は文化流(毎)         ファイナンス論A・B           ファイナンス論A・B         ユニパーサルデザイン 倫置学           ト ーナリズム論         地域文化論(ドイツ)           機理学         ・サイン人論	
文化と表		62 2 4 ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ±	先取り履修科目(3・4 年次配当科目)	NPO論 公共政策A·B ジェンダー 家族と法 i・II 国際開発論 ジェグチー 経予思想史 国際研究論 i・II 情報 在 現代 アメリカ政治論 現代 世紀 東州 末計 i・II 自標 を 現代 市政 と法 A·B 財産と注 i・II 情報 政策 現代 市政 と法 A·B 財産と注 i・II 情報 政策 アート・マネジメント 異文化 ニュニケージョンテ 成 告論 指示 ケージ・ア 映像表現論 ジェンダーと社会 i・II 造形表別 労働を表現論 ジェンダーと社会 i・II 造形表別	と法A・B         政治とメアア         マスミューケーション歯科・メディアの歴史           オディアの歴史         新聞と情報         メティア論           自動と情報         知的財産法 A・B         規則社会学           自命・B         ファイナンス論A・B         ファイナンス論A・B           イン論         地域文化論(開鮮)         コニパーサルデザイン 倫理学           申し対人法         地域文化論(アランス)	
		単 はできたである。 では、 になる。 には、 になる。 には、 になる。 には、 になる。 には、 になる。 には、 になる。 に。 になる。 にな。 になる。 になる。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に	先取り履修科目(3・4 年次配当科目)	異文化コミュニケーション史 広告論 情報文化 英語の文化と歴史 社会文化史 スポーツ・ジ 映像表現論 ジェンダーと社会 I・II 造形表現	論 地域文化論(ドイツ) 倫理学 ヤーナリズム論 地域文化論(フランス)	
人間と環		<del>建</del>		音楽表現論 ジャーナリズム論!・II 多文化と# 記号論 情報社会と教育A-B 地域文化 近・現代史!・II 情報社会と芸術 地域文化 言語懸研究 情報社会と出版 地域文化	目互理解 I・II 超域文化論 (イスラーム) 日本文化論A・B 倫(スペイン) 比較文学・比較文化AI・AII	
		科目 10.6.6.4.4単立		意思決定論A・B コミュニケーション思想交情報社会 見文(側コミュニケーション 自然言語の生成モデル 情報と脳 科学技術と人間 自然地理学 情報と脳 家族社会学 消費行動の心理学 人口論 電話使用とディスコース 身体と意識 生命思想	条行動 都市情報論 不思議現象の心理学 表 人間性心理学 法コミュニケーション 認知科学 I・II リスク社会論 学 ネットワーク社会論	
		English Skills AI·II (基礎 中級 上級) English Skills BI·II (基礎 中級 上級) Speech & Debate A·B	Critical Reading Critical Discussion Critical Writing A · B	English Seminar I・II 英語音声学 英語コミュニケーションI・II		
		韓国語 AI・II タイ語 AI・II ドイツ語 AI・ 韓国語 BI・II タイ語 BI・II ドイツ語 BI・	韓国語演習   ・   中国語演習   ・   スペイン語演習   ・   ドイツ語演習   ・   フランス語演習   ・			
		日本語 AI·II 日本語 BI·II	日本語 AIII·IV 日本語 BIII·IV			
		(情報リテラシー科目) ICT総合実践Ⅰ・Ⅱ ICTアプリ開発Ⅰ・Ⅱ ICTアータベースⅠ・Ⅲ ICTコンテンツテザインⅠ・Ⅲ ICT統計解析Ⅰ・Ⅲ (日本語表現科目) 日本語表現Ⅰ・Ⅲ	ICT メディア編集 I·II プログラミング実習 I·II 専門情報リテラシー ネットワーク技術 I·II·III	アルゴリズム実習   -    ネットワーク技術   V		
研究方法・ 表現実践科目		単位 (クリエイション科目) 演劇学 クリエイティブ・コミュニケーシ 音楽論 美学・芸術学	メディア・アート 身体コミュニケーション A・B	デジタルアート A・B 非言語コミュニケーション デジタルプレゼンテーション メディア教育論	-	
		(リサーチリテラシー科目) 科学リテラシー 統計学 A・B 数理リテラシー 論理リテラシー	社会調査法 A·B	質的調査分析法 データ解析論 I・II 社会調査実習		
毎外留学科目		国際交流	留学関係科目(語学·実習)A 留学関係科目(		関係科目(講義)B	
ウェルネス科	1日群 ——	ウェルネスA・B	ウェルネス・スポーツA・B	ウェルネス・スポーツ C・D		
それリアデザイン科		キャリアデザイン	インターンシップ入門	インタ	ーンシップ	
世 情報リテラシー	/科目群 一		ベーミックトリ	横切Jテラシー科目     ICT ペーシック1・II		
総合講座	/科目群 一	ICT /	. 2771 11			

#### 「個」を強くするゼミナール教育

### 1年次から4年次まで、段階的に 履修するゼミナール科目を設置。

本学部では、1年次から4年次まで段階的に履修するゼミナール科目を設置しています。少人数の学生とひとりの教員が、相互にコミュニケーションを取りながら、資料の読み方から、議論の仕方、レポート・論文の作成、プレゼンテーションまで幅広く学んでいきます。段階的に学ぶことで、問題の発見から解決までの能力を身につけることができます。

1年次 1	\ 2年次 '	\ 3年次 '	↓ 4年次
基礎	問題発見	問題分析	問題解決
ゼミナール	テーマ演習	ゼミナール	ゼミナール
/	/	/	

## 様々な角度から組織を見つめ、問題の本質を見極める力を養う。



研究分野は組織学。記事の輪読や班ごとに研究を行います。私の班の研究テーマは組織でフリーライダーが生じる原因や対処法。班によって扱う組織も焦点の当て方も異なるため、面白い議論ができ、知見を深められます。ゼミ活動を通じ、単に問題意識を持つだけでなく、前提や常識を疑い、問題の本質を見極める力が身につきました。この力を活かし、情報が錯綜する現代においても、惑わされることなく意思決定を行うように心がけます。

竹中克久ゼミ所属情報コミュニケーション学科3年 竹中 千世さん (東京都立青山高等学校卒業)

#### ■ 4年間の学問・研究

究の先端を

年

次

2

3

年

年

## 大学生として必要な基礎スキルを習得し、 自分の取り組むべきテーマや課題を見出す



学際性と多様性が特徴の情報コミュニケーション学部(以下情コミ)には、様々な研究分野をテーマにしている専任教員が多数在籍しています。1年次には「情報コミュニケーション学入門」を履修し、各回交代で登場する専任教員の専門的な視点からの講義を受講します。現代社会の様々な問題に関する多彩なアプローチの仕方を垣間見ることは、自らが探究する研究テーマを設定するうえで、大きな道標となります。

講義科目では、「社会科学」「人文科学」「自然科学」という大き

く3つに分類された科目群から、自らが興味・関心のある科目を選択することができます。また、選択必修外国語教育では、単に他国の言葉を話せるようになることを目的にするのではなく、言語(語学)を通じて異文化を知り、それを尊重できるようになることを重視しています。そのための講座が演習科目としても設置されています。さらに、ゼミナール科目として、1年次には「基礎ゼミナール」が設けられ、ここで、論理的思考、資料の収集・分析、論文・レポート、プレゼンテーション等の基礎を習得します。2年次には「問題発見テーマ演習A・B」が設置されており、ひとつのテーマについて集約的な議論や輪読、また、フィールドワークや作品制作などを少人数で行います。このゼミナールを通して、学生自身が、問題発見能力を身につけていくことを目的とします。

#### 授業レポート 異文化理解 根橋玲子 教授



グローバル化の進む現代。異なる背景を持つ 人々との出会いは、楽しさや新しい発見もあれ は、驚きや不快なこともあるでしょう。異文化接 触により起こる様々な現象について、その心理 的メカニズムや社会的要因を皆さんと考えた いと思います。

## 自らの課題の解決に向けて、深い理解と洞察力を養う



3年次以降に学習できる科目は多岐にわたり、必修科目はありません。「社会システム」「文化と表象」「人間と環境」と大きく3つに分類された科目群の中から、自己の興味・研究目的に合致した科目を履修すればよいのです。時には何から学んで良いか分からなくなるかもしれません。そのために、履修モジュール(履修ガイド)を策定しています。たとえば「不思議現象を科学する」というテーマについて関心を持つならば、「脳科学」「不思議現象の心理学」「認知科学」・引」といった授業科目を選択することにより、

「不思議現象を科学する」について学習できるといった仕組みになっています。この履修モジュールは、授 業科目間の関係性を明確にし、授業選択のガイドラインの役割を果たしています。

3年次からは「問題分析ゼミナール」が開始され、4年次の「問題解決ゼミナール」へと続いていきます。このゼミナールは、各担当教員の主要担当科目から設定したテーマを学習する中で、現代社会における情報コミュニケーションの意義と機能を踏まえて、問題点のさらに深い理解と洞察力を養うことを目的としています。4年次の「問題解決ゼミナール」の中には、最終成果物として卒業論文や卒業制作の完成を目標としたゼミナールもあります。4年間の学びの集大成として卒業研究に取り組み、指導教員にこれらを提出してその成果が認められた場合には、ゼミナールの単位に加え「卒業論文・卒業制作」の単位が付与されます。また、その研究成果を情コミが毎年発行している「情コミ・ジャーナル」に発表することもできます。

## 認知科学|・||



総知科学では、人間のものの見力や考え方を 学びます。人間の認知を、類似した脳を持つサ ルと比較したり、人工知能と比較したりしなが ら解説します。特にウソやだましのトピックを 取り上げ、理解を深めます。地球環境や社会環 境と人間の関係が見えてきます。

#### ■ 履修モジュール<一例>

テーマ		1•2年次			3•4年	次	
現代社会における企業に 倫理は求められるか	経営学 組織論	社会心理学A·B 社会学A·B		組織コミュニケーションA・B 組織と情報	不確実性下の人間行動倫理学	コーポレート・ガバナ	-ンスI・II
表現することと 社会・政治・法の関係を考える	メディア・リテラシー 政治学	市民社会と法I・II 社会学A・B	小集団コミュニケーション	情報社会論A·B 現代型犯罪と刑法I・II	知的財産法A·B 情報法A·B	個人と国家 組織と情報	ビジネスと法A・B
「芸術(アート)」と「コミュニケーション」が 交差する世界を探究しよう	美学・芸術学 身体コミュニケーションA・B	音楽論 メディア・アート		音楽表現論 身体表現論	映像表現論 造形表現論	メディア教育論 デジタルアートA・B	アート・マネジメント
日本の国際社会における 将来を隣国との関係から考える	日本史概論 東洋史概論			国際関係論   ·    社会文化史	近·現代史 I·II 地域文化論	異文化コミュニケー	ション史
メディアにおける 都市のイメージを分析する	社会学A·B 異文化理解	地誌学		都市情報論 人文地理学	広告論 メディアの歴史	記号論	
くいのち>の観点から 人間と社会を考える	生命論A·B 社会学A·B	哲学組織論	家族社会学概論	生命思想史 ·   倫理学	科学技術と人間		





### 学部間協定留学

学部間協定留学とは、明治大学情報コミュニケーション学部と交 換留学の協定を締結している学部間協定校に、情報コミュニケー ション学部生が交換留学生として留学するプログラムです。学部 に在籍したまま留学ができ、留学先で修得した単位が卒業要件単 位として認定されます。半年または1年留学をしても、条件を満た せば4年での卒業が可能です。留学には、本学部からの推薦が必 要なため、学部内選考を行います。

香港城市大学人文社会科学院(香港)/シーナカリンウィロート大学人文学部(タイ)/ベトナム国家大学ハノイ外国語大学日本言語文化学部(ベトナム)/ハノイ貿易大学(ベトナム)/ゲーテ大学言語学・文化学・芸術学部(ドイツ)



カンボジア・バイヨン村の学校で子供たちのための運動会を企画・実施

### 国際交流プログラム

タイのシーナカリンウィロート大学、モンクット王ラカバン工科大 学、ラオスのラオス国立大学との相互短期学生交流プログラム、ベ トナムのベトナム国家大学ハノイ外国語大学、ハノイ大学との相互 短期学生交流プログラムなどを実施します。単なる語学研修では なく、文化、歴史、政治、メディアをアカデミックな方法と実際の現場 で学びます。また、海外からの学生を受け入れた際は、本学部生が 日本語の学習等をサポートします。

アセアン短期学生交流プログラム(シーナカリンウィロート大学、モンクット王ラカ パン工科大学、ラオス国立大学)/ベトナム短期学生交流プログラム(ベトナム国家大 学ハノイ外国語大学、ハノイ大学)/海外ロケ体験プログラム(ニュージーランド)

#### **OB·OG MESSAGE**

、国際的な脅威から邦人の安全を守る。



外務省 領事局邦人テロ対策室

情報コミュニケーション学科2016年卒業 (東京都私立攻玉社高等学校卒業)

2013年、学部からタイ・バンコクのシーナカリンウィロート大学への交換留学中に、バンコクで発生した大規模な 政治デモに遭遇したことが、私のターニングポイントになりました。政治デモの際には、現地の邦人に対して日本 大使館がデモの場所や安全情報などを発信しており、それが外務省の仕事に興味を抱くきっかけになったので す。卒業後、タイに拠点を持つ民間企業への就職や外務省の在外公館派遣員の勤務を経て、現在は外務省領事局 邦人テロ対策室に勤務。海外でのテロ・誘拐事件などに関する日本人の安全対策や保護にかかわる業務に携わっ ています。振り返ると、在学中はとても多様な知識を身につけることができたと思います。海外へ興味を持つきっか けになった留学も国際交流プログラムの一環でした。これから入学される皆さんも、ぜひ積極的に情報を収集し、 何かひとつ誰にも負けないといえるものを身につけてほしいと思います。私にとっては、それがタイ語でした。学び たいと思う気持ちに応える環境は整っています。多様なことに興味を持ち、成長のチャンスを将来につなげてくだ さい。外務省ではゴルゴ13とコラボした、「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」も配布してお りますので、明治大学に入学後に留学などで海外渡航の機会がある方は是非手に取ってみてください。

※勤務先は2021年10月現在

フジテレビx情報コミュニケーション学部メディアリテラシー講座

実際の番組制作を通じて

メディア方法論を学ぶ「映像表現論」



「映像表現論」は、株式会社フジテレビジョンと共同して、番組制作を通 じてメディアリテラシーを実践的に身につける授業科目です。まずは撮 影方法や取材の段取りを学び、チームごとにテーマを設定してVTRを作

成します。取材の交渉から実際のインタビューや撮影まで、すべて学生主体。完成したVTRは、 フジテレビの番組制作に携わるプロの指導のもと、プロの機材を使用し、ひとつの番組として完 成させます。プロの現場を垣間見ながら、制作に取り組むことで、大きな収穫がある授業です。 テレビ局のスタジオで機材を駆使して番組制作



# 教員紹介・研究テーマ

科目	氏名·職名	研究テーマ	メッセージ
犯罪と法、現代型犯罪と刑法	阿部力也 教授	いろいろな犯罪にみる「現代的特徴」の考察 共犯の比較法的考察(とくに日本法とドイツ法)	いろいろな「ものの見方」のなかから、「法的な思考」を身につけるメリットに気づいて いと思う。意外に、皆さんにとって現代社会を生き抜くための「方策」になるのでは?
科学リテラシー、脳科学、認知科学	石川 幹人 教授	人間の認知機能を生物進化の歴史に位置づけ、	人間と社会、それらを取り巻く地球環境などと、
知的財産法、財産と法	今村哲也 教授	さまざまな心理現象の背景を探る 情報社会における知的財産法上の政策課題の検証	大きなことを見通す力を養ってください。 情報社会を生き抜くためには知的財産法に関する知識と理解が必要です。
生命思想史	岩渕輝 教授	生命論(生命とは何か)生命思想史グスタフ・フェヒナーの精神物理学	好きなこと、本当に大事だと思うことを、追求しつづけてください。
ジェンダー・マネジメント	牛尾 奈緒美 教授	企業に働く人々がジェンダーの枠を超えて活躍できる場・方策を 考案するなど組織のダイバーシティ推進に関する研究	幸せなキャリア、自分にあった生き方とは何か この4年間でじっくり考えてみませんか。
情報社会論	江下 雅之 教授	マ	実用的な知識は社会人になればイヤでも習得するもの。 大学生の時代こそ(役に立たないこと)に熱中しましょう。
情報政策論、現代アメリカ政治論	清原 聖子 教授	現代アメリカ政治とメディア、ネット選挙、フェイクニュースなど	メディアやソーシャルメディアを切り口に、政治学的な視点から現代社会の
超域文化論、地域文化論	高馬 京子 教授	ファッション・スタディーズ:メディアにおいて構築/伝達されるファッ	題を捉え、解決策を考えてみませんか。 情コミでの様々な学びや経験を通して、
家族社会学	施利平 教授	ション(服飾流行)とジェンダー像 東アジアにおける家族・親族関係の変容と持続	視野を広げ、深め、好奇心、探求心をもって自分の夢をみつけてください。 知力とともに気力、体力とコミュニケーション力を身につけよう!
国際経済論	島田剛 教授	産業政策、インパクト評価、災害復興をソーシャル・キャピタル	格差が世界的にも国内でも拡大しています。 どのような解決方法があるか考えていきましょう。
メディア批評	鈴木 健 教授	(社会関係資本)の視点から研究 カルチュラル・スタディーズ、説得コミュニケーション論	現代社会をボップ・カルチャーと説得コミュニケーション論を通じて 読み解く方法を学びましょう。
国際関係論	鈴木 健人 教授	国際安全保障、冷戦史、構成主義の国際政治理論の研究	厳しい現実を冷静に分析し前向きに問題解決を考える、
歷史学、社会文化史、	須田努 教授	日本近世・近代の社会文化、民衆暴力	たくましさを身につけよう。 歴史的センスを身につけ、よりよい将来を模索するための知を創り上げましょう
異文化コミュニケーション史		ドイツ文学、ユダヤ系文学、日神比較文化論	歴史的セン人を対につい、よりよい行木を挟来するための別を割り上りよりよう。 異質なものとの出会いを通して、自分の世界を広げ、深めていきましょう。
比較文学·比較文化	関口裕昭 教授 大黒岳彦 教授	「メディア」と「情報」の思想・哲学的研究	自分だけの「問題」を見つけ、それにとことんこだわること。
哲学			与えられたレールにのっていればよい時代は終わりました。
憲法、個人と国家、人権と政策	田村理教授	フランス憲法史、フランス革命と憲法、日本の政治文化と立憲主義	社会にアピールして居場所をつくる発信力を大学で身につけてください。
公共政策	塚原 康博 教授	情報化・少子高齢化・グローバル化時代の公共政策	現代社会を「論理的」かつ「有機的」に考える力を身につけてください。 大学では、さまざまな背景の人々との出会いや学びを通して、
異文化理解·異文化問コミュニケーション	根橋 玲子 教授	異文化間コミュニケーション・多文化共生	多文化に生きることを体感してください。
身体表現論	波照間 永子 教授	(1)身体技法および舞踊技法の研究 (2)無形文化財のアーカイブ化(記録・保存)(3)現代芸術の創造	さまざまな体験を重ね、試行錯誤しながら、 あなた自身の'ぶれない軸'(強み)を見つけましょう。
社会学	宮本 真也 教授	批判的社会理論	現代という時代、日本という社会を越えていく考え方を、大学時代で身につけまし
組織コミュニケーション	山口生史 教授	組織コミュニケーションと組織行動学	組織の中の人間関係と情報交換を学ぶことはみなさんの将来に役立つことでし
多文化と相互理解、地域文化論	横田貴之 教授	中東地域研究、イスラーム主義運動研究	大学生活を通じて、自分の人生における「推し」を見つけよう。
メディア教育論	小田 光康 准教授	ジャーナリズムと戦略コミュニケーションの理論と実践に関する研究	メディアを通じて情報発信するメディアリテラシーが求められる現在、 メディアの現在進行形を一緒に学びましょう。
政治学、政治とメディア	川島 高峰 准教授	ミレニアル・Z·α世代の日本国家論/日本人論	地球規模で考え、現場で行動できる人を目指そう。 Think Globally, Do Act Locally. Let's Get Glocally!
意思決定論	熊田 聖 准教授	ビジネスにおける交渉での満足できる合意の要因は何か	あなたの中の理系と文系の知識を統合すると、 社会の問題をじっくり考えられるようになります。
リスク社会論	小林 秀行 准教授	災害社会学、災害情報論、リスク社会論。 とくに、住民主体の災害対策や災害復興に関する研究	大学は、新たなものへとふれる機会に溢れた場所です。 多くにふれ、学び取り、あなただけの夢や志を見つけていきましょう。
言語学	坂本 祐太 准教授	言語理論に基づく「ことば」の研究	コミュニケーションの代表的なツールである「ことば」がもつさまざまな不思議? 一緒に紐解きましょう。
現代行政と法	清水 晶紀 准教授	行政活動の不作為に対する法的統制、原子力行政の 実態分析とその法的統制	情報コミュニケーション学部だからこそ得られる「何か」があるはずです。 それを一緒に考え、そして掴み取りましょう。
情報社会と教育	鈴木 雅博 准教授	学校組織における教師間相互行為	学ぶほどに問いが深まり、問いが深まるとそれまでの自分の考えが揺らぎます。 自分を揺さぶる学びをしてみませんか。
組織論、組織と情報	竹中 克久 准教授	組織社会学、組織における文化とシンボルの研究	大胆な発想から精緻な論理を組み立てる楽しさを 伝えていきたいと考えています。
ジェンダー論、ジェンダーと社会	田中洋美 准教授	メディア、テクノロジーのジェンダー/インターセクショナリティ分析	枠にとらわれない思考力を鍛え、自らを自由にしていきましょう。
ネットワーク社会論	中里 裕美 准教授	地域通貨研究、経済社会学、社会ネットワーク論	大学生活を通して、自分が夢中になれる何かを見つけてください。
都市情報論	南後 由和 准教授	都市・建築・デザインの社会学とメディア論	理論と実践をつなぎ、異分野を越境していく貪欲さに期待しています。
日本文学、日本文化論	日置貴之 准教授	日本演劇研究。江戸時代後半から明治時代の 演劇(歌舞伎)における災害や戦争の描写	「研究」ということを堅苦しく考えず、身のまわりのどんなことでも研究対象になり だと思ってください。自分が関心を持てる事柄について、少しじっくり考えてみましょ
人類学、身体と意識、 不思議現象の心理学	蛭川 立 准教授	心身問題への人類学的アプローチ。儀礼とコスモロジーの研究	世界には不思議がいっぱいです。よく観察し、よく考察しましょう。
ジェンダーと法	堀口悦子 准教授	「ジェンダー」視点でコミュニケーションから法制度までを分析	「ジェンダー」を知っている人も知らない人も、一緒に学び、考えてみましょう。
情報社会と経済、情報産業論	山内 勇 准教授	日本企業のイノベーション活動、知的財産制度に関する実証研究	情報社会やデータエコノミーで活躍できる「人間力」を養いましょう。 データやAIなど素材や道具だけではイノベーションは起こりません。
プログラミング実習	山崎浩二 准教授	LSIの故障検査	学ぶこと、考えることを大いに楽しみましょう。よろしくお願い致します。
青報社会と安全	和田悟 准教授	法分野を中心とした情報技術応用	いそがず、じっくりいきましょう。
社会心理学	脇本 竜太郎 准教授	防衛性の社会心理学。特に存在脅威管理理論、公正さの判断	心と社会の相互作用という視点から、 人間を多面的に理解する姿勢とスキルを身につけましょう。
青報と経済行動、不確実性下の人間行動	後藤 晶 専任講師	行動経済学・実験経済学、協力行動・利他的行動に関する研究	大学時代はさまざまなことに「総む」時代です。 よく悩み、いろんなことにドヤレンジして、自分の新たな可能性を切り拓きまし。
市民社会と法	齋藤 航 専任講師	民法、特に契約責任および不法行為責任に関する研究	法律を学ぶ楽しさ、ルールに基づいて問題を解決する面白さを知ってもらいたし 思っています。
国際開発論	高橋 華生子 専任講師	新興国・途上国の都市におけるジェントリフィケーションと住環境 のカ明枚 美に関する エアク	フットワークを生かして、経験からの学びと遊びを 一緒に探っていきましょう。
英語コミュニケーション、英語音声学	ドウ,ティモシー」、専任講師	の空間格差に関する研究第二言語習得	Don't be discouraged by your mistakes
			- they are your biggest opportunities to learn and develop! 文学や映画を題材に、世の中を少し異なる角度から
日本語表現	内藤まりこ専任講師	日本文学・文化研究、東アジア地域を対象とする比較文学研究	眺める方法を身につけるお手伝いをします。
紛争解決システム論	宮田泰 専任講師	現代社会における私的紛争の解決をめぐる制度と手続きの考察	情報コミュニケーション学部でともに学びましょう。 既成概念にとらわれず、失敗を恐れず、
音楽論、デジタルアート	宮川 渉 特任准教授	作曲と音楽学研究、音楽を中心としたアート実践研究	域板があるにというパイッタ、人ができない。 積極的に色々なことに興味をもって取り組んでください。 学びとは頭で考えることだけではありません。身体的な経験を通じて得る知識="身体知"という言葉がありま
ウェルネス、ウェルネス・スポーツ	竹﨑 一真 特任講師	スポーツ社会学、身体とジェンダーに関するカルチュラル・スタディーズ	もって新しい知と出会い、考え、またこれまでの当たり前を問い返すような、そんな学びの地平を切り開いていきま
社会調査法、質的調査分析法、社会調査実習	大島岳 助教	   社会学、社会調査、LGBTQI・HIV陽性者の生活史研究	夢中になって打ち込める何か、行ったことのない道を歩く勇気をもつこと。社会学

# 国際日本学部

School of Global Japanese Studies

■ 国際日本学科

明治大学国際日本学部の強み

## 日本と世界の文化・社会を幅広く学べるカリキュラム

多くのネイティブを含む経験豊富な教員による、 少人数制の充実した外国語教育

留学(短期・長期)や海外インターンシップ等、留学プログラムが充実

日本の社会システムや、伝統文化から、 現在のポップカルチャーまでを多角的に学ぶ

世界諸国の社会経済や思想文化、国際関係を幅広く学ぶ

大学での学びや研究に必要となる日本語力の養成

世界中から受け入れた外国人留学生と日本人学生の多彩な交流機会

英語で行われる授業も充実、 **ブ** 英語で学位を取得できるEnglish Trackも設置





# 国際日本学部12の特色

#### ポップカルチャー研究領域

マンガ、アニメ、ゲーム、特撮など日本の先端文 化が世界から注目を集めています。それら作品 の主題や表現とそのメディアや産業とのかか わり、制作を支える技術や流涌の形態、国内外 における受容のあり方やファン文化、歴史的変 遷やその時々の社会的影響などを多角的に分 析します。その追求を通じて、現代日本文化と 世界とのかかわりを考えます。

#### 社会システム・メディア研究領域

現代日本の基盤となっている社会・経済システ ム、産業組織、企業経営、メディアなどの最先 端の様相とその特質、優位性、課題について知 見を深めていきます。同時に、それらを世界と 照らし合わせつつ発信し、ビジネスやインフラ を高度化させていくための新たな方法を求め

#### グローバル共生社会研究領域

「世界で活躍する人材」の養成を目指して、国 際関係や世界各地の地域研究、多文化共生・異 文化理解に関する科目を充実させています。 多様な文化背景を有する人々とともに働き、と もに生活することができるように、異文化リテラ シーを高め、ダイバーシティ社会を支えるため の基礎を修得します。

#### 国際文化•思想研究領域

世界各地の歴史や文化、とりわけ映画、文学、 芸術、宗教、思想などについて、古典から現代 の最新状況にいたるまで、幅広く修得します。

#### 日本文化•思想研究領域

グローバル化が進展する時代で活躍するには、 外国の文化を受信するだけでなく、日本の文化 を発信する能力が不可欠です。その能力を獲得 するためには、日本の文化や思想を客観的に見 る視点を養い、日本の文化や思想に関する幅広 い知識を身につけ、その本質を見極めようとす る努力が必要です。思想・哲学から伝統文化ま でその本質に触れながら日本の心を学びます。

#### 日本語研究領域

現在私たちが使っている日本語とはどのよう な特徴を持った言語なのでしょうか。世界のほ かの言語と比較することや歴史的な背景を学 ぶことなどを通して、現代日本語の面白さを再 発見していきます。また、外国語としての日本 語教育を学ぶ「日本語教育人材育成プログラ ム」も設置されています。

#### 英語研究領域

母語は無意識で習得できるのに、なぜ第二言 語を習得するのは難しいのでしょうか。どうす れば効果的な英語教育ができるのでしょう か。言語学の分野を中心に実践に生かせる理 論を学びます。

#### 少人数クラスでの実践的な英語教育

英語の総合的なコミュニケーション能力を磨 き、英語で自分の意見を表現し、情報を発信で きる能力を育成します。1年次、2年次は、英語能 力試験の結果に基づいて習熟度別の少人数ク ラスで集中的な英語教育を実施します。また、 英語の授業は専任のネイティブ・スピーカー教 員を含む英語教育の専門家が担当します。

#### 日本と世界をつなぐ日本語教育

日本の文化や社会について深く理解し、その 知見や情報を発信していくためには、十分な日 本語能力が不可欠です。国際日本学部では、日 本語を母語としない学生を対象に、入門レベ ルから上級レベルまで一貫したカリキュラムで 独自の日本語教育プログラムを提供し、大学 での学びや研究に必要な日本語能力を養成し

#### 国際教育交流の推進

海外留学の経験は、国際的な視野の育成とと もに外国語能力の向上のためにも重要であり ますが、国際日本学部の学生にとっては、日本 を相対化して捉え、日本研究をさらに深化させ る契機としても大きな意義を持っています。そ のためにも英語圏を中心に、短期留学も含め た多様な留学制度を整備し、正課授業の一環 として海外留学の促進を図っていきます。

#### 総合的な教育プログラム

社会人文科学、ICT(Information & Communication Technology) 、日本語表現技術など 幅広く学べる総合教育科目、少人数で行う演 習. 社会連携. 実践型の科目. 第一外国語など がきめ細かく用意されています。

#### 多文化共生キャンパスの創成

豊富な国際経験を有した国内の学生や多様 な文化的背景を持った外国人留学生を積極的 に受け入れています。そうして形成された多文 化コミュニティーの中で、国籍や民族などの違 いを越えてともに学び、講義やゼミ活動、さら にキャンパスライフを通して、実践的に外国語 能力や異文化理解力を磨いていきます。

#### 国際日本学科

## 自分の言葉で日本の魅力を世界に発信できる国際人に

グローバル化時代にふさわしい人材を養成するため、集中的な英語教育と国際教養教育に力を注ぐとともに、伝統的な日本文化に加え、今日世界の注目を集めている 現代日本文化、そしてその発信基盤である日本語、および企業・産業・社会などの社会システムについて、魅力ある教育を行います。



#### 授業レポート

アジア太平洋政治経済論

この授業は、日本語と英語で開講しています。アジア 太平洋地域における国際関係の変化やグローバル化 への政策的対応の相違と共通性について、ディスカッ ションを通じて論点の理解を深めていきます。特に、 WTOとFTAのあり方、TPP、一帯一路などアジア太平 洋の経済連携の動きについて考察します。

#### 目指す将来イメージ

- マスコミ関係(テレビ・ラジオ局、新聞社)、出版関係、メディア産業、インターネット関連業種
- 旅行·交通業(航空·鉄道·海運)、観光開発関連産業、 貿易商社関連業種、金融、メーカー
- コンテンツ産業、文化芸能関連業種、知財関連業種 広告産業、映画産業、コンピュータ・グラフィックス関連業種
- 大学院進学、外資系企業、政府系国際機関

# カリキュラム

国際社会をリードする次代の人材を育成するため、日本の産業・社会・文化の特質を深く知り、世界の文化・思想と国際関係を幅広く学ぶカリキュラムを 多彩な教授陣が実現させました。集中的な英語教育と異文化の深い理解に基づいた、実践的な国際コミュニケーション力を養成します。

#### ■ カリキュラム体系図

国際日本学専門科目

#### ポップカルチャー研究領域

漫画文化論A·B アニメーション文化論A・B 日本先端文化論A·B 現代都市とデザインA・B ブェンダーと表象A・B 特撮の歴史と技術A・B 日本漫画史A·B

日本社会システム論A・B 国際経済史A·B メディア社会学 広告とメディアA・B クリエータービジネス論 ソーリズム・マネジメントA・B グローバル化と金融サービス業A・B ホスピタリティ・マネジメント論A・B 日本の教育A·B テクノロジーと日本社会A・B メディア・アートA・B 組織マネジメントと文化A・B 日本の政治A・B インターネットと社会 日本的流通システム論A・B コンテンツ産業論A・B 日本的ものづくり論A・R 日本技術移転史A·B 知的財産と企業戦略A・B 社会保障論A·B 経済団体研究A·B

#### グローバル共生社会研究領域

平和学 アジア太平洋政治経済論A・B 東アジア地域研究A・B 多文化共生論 異文化間教育学A·B 海外留学 λ 門 A·R 国際教育交流論A·B 日本とドイツA・B 世界のなかのアフリカA・B 東南アジア地域研究A・B ヨーロッパ政治経済論A・B ファッション文化史A・B モードの神話学A・B ダイバーシティと社会A・B アフリカと沂現代世界A・B グローバル開発学入門 共生と学びのデザイン論 国際関係論A·B ロシアとユーラシアA・B インド経済論A・B 移民政策論

#### 国際文化•思想研究領域

映画史概論A·B フランス文化論A・B 東アジア芸術論A・B 宗教と哲学A・B 比較宗教論 比較文化学A·B ラテンアメリカの歴史と文化A・R 映像文化論A·B 東アジア文化交流中A・B イスラーム史A・B ヨーロッパ都市風俗論A・B 近現代イギリス研究A・B 現代アメリカ論A・B 日本語研究領域

## 日本文化·思想研究領域

武道文化論A·B 海外日本研究事情 日本表象文化論A·B 近現代日本文学A·B 舞台芸術論A·B 日本の哲学A·B 武道思想史 刀剣文化論 日本の文化伝統A·B 世界から見た日本美術A・B 江戸学A·B 伝統芸能論 歌舞伎・能の美学 日本伝統工芸研究 日本映画文化論A・R 日本の宗教A・R

大学院国際日本学研究科設置科目

国際日本学研究科准学時に円滑に研究

活動を進めることを目的として、研究科

に設置されている科目の履修を認めて

日本語学A·B 日本語と社会A・B 日本語教育学(文法)A·B 日本語教育学(語彙)A·B 日本語教育学(音声) A⋅B 日本語の歴史A·B

外国語としての日本語教育法A・R

#### 英語研究領域

言語と文化A・B 心理と言語A・B 応用言語学A・B 英語学A·B

#### 総合教育科目

国際日本学入門講義 )アカデミック・ICTリテラシー 学術的文章の作成

)国際日本学基礎演習 国際日本学講座

▲学術研究・キャリア開発入門 社会学A·B 政治学A·B 経済学A·B 経営学A·B

アジア中A・B 地理学A·B 統計学A·B 人類学A·B メディアリテラシーA・B テクスト分析A・B スポーツ・身体運動文化A~E

都市交通システム論A・B

日本のジャーナリズムA・B

国際マーケティング論A・R

日本人の行動モデルA・B

西洋史A·B

日本史A·B

国際日本学部特別講座A·B 国際日本学特別演習A·R 計会連携科目A∼H 国内インターンシップ 海外インターンシッフ 海外ボランティア実習 全学共通総合講座

国際日本学実践科目A~E

CTエレメンタリー CTベーシックII CT統計解析 | · || CTデータベースI・II ICTメディア編集 I・II

CTアプリ開発 I・II CTコンテンツデザインI・II CT総合実践1·II 日本国憲法

#### 演習科目

演習A·B·C·D

## 海外留学認定科目

Study-Abroad Program 留学関係科目(語学·実習)A·B 留学関係科目(講義)A·B·C 海外大学等関係科目A·B

## 英 語

nglish (Speaking) I · II nglish (Reading & Writing) I Speech & Presentation

Research Paper Writing TOEFL® Preparation

Business English

Advanced Reading & Writing OAdvanced Speaking & Listenin TOEIC® Preparation I · II Advanced Level TOEIC® Current English A·B Discussion & Debate Integrated English A·B Literature Reading A · B Practical Drama A · B

## 第二外国語

イツ語 イツ語 フランス語 フランス語 中国語 中国語

(由級) A ~ D (初級) A·B (中級)A~D スペイン語 (初級)A·B スペイン語 (中級)A~D 韓国語 韓国語 (中級)A~D

(中級)A~D ▲Introductory Japanese (初級)A·B (General) ▲Introductory Japanese (Vocabulary/Kanii) ▲初級日本語(総合)

▲初級日本語(語彙·漢字) ▲中級入門日本語(総合)

日本語

▲中級入門日本語(語彙·漢字) ▲中級日本語(総合) ▲中級日本語(語彙·漢字)

△留学生のための学術日本語 | ~ |||

▲中上級日本語(総合) ▲中 ト級日本語(語彙·漢字)

▲上級入門日本語(総合) ▲上級入門日本語(語彙·漢字) ▲日本語能力試験対策(中級)

国際日本学部は国際日本学科のみの一学科制です。コースはなく、全カリキュラム(全領域)の中から履修できます。なお、カリキュラムは変更になることがあります。科目名のあとの英数学は、それぞれ違う内容の講義であることを示しています。 ○印は必修科目、△印は外国人留学生のみ必修、▲印はEnglish Trackの学生を対象とした科目となります。English Trackのカリキュラムは、ホームページをご確認ください。

### 「個」を強くするゼミナール教育

## 幅広い分野に展開されるゼミで 主体的に学ぶ楽しさを味わう。

多様な専門分野それぞれに優れた研究者が揃っているので、 ゼミは幅広い分野に展開されています。ゼミでは、リサーチ やディスカッションを通して得られた研究成果を学内外に発 表したり、学外にも開かれたイベントの企画・運営を通して、 学問の探究や社会実践方法の習得を目指します。国際日本 学部では学生の皆さんのニーズに応じて、ひとつのテーマを 深く探究したり、複数の異なるテーマの演習を組み合わせて 受講することもできます(\*一部の演習は3年次以降のみの開 講となる場合があります)。

## ゼミでの幅広い経験を活かし 誰もが暮らしやすい地域を目指します。

ゼミでは、中野区をフィールドとした「多文化共生のまちづくり」を実践的に学びました。地域を巻き込ん だ活動は多岐にわたり、区長と留学生を交えた懇談会や、小学生向けの多文化共生ワークショップ の開催、在日外国人の悩みを歌詞にした音楽動画の制作などを実施。様々な立場の方と意見交換 をする中で、視野が広がりました。また、イベント企画を何回も経験したことで、計画を実行する力 が磨かれました。今後は、ゼミで培った力を活かして、自治体職員として地域に貢献したいです。

国際日本学科4年 日高 悠希さん (広島県私立広島城北高等学校卒業、山脇ゼミナール所属)

88



# 留学制度 国際日本学部主催

国際日本学部では、学生たちの多面的な日本理解を促進し、高度な国際感覚を育てることを目的に、2年次秋学期以 降に留学できるプログラムを多数用意しています。これらのプログラムで修得した単位は一定条件のもと、国際日本 学部の単位として認定されるため、海外留学をしても4年間で卒業が可能です。また、留学に伴う経済的負担を軽減 するために、明治大学の授業料の一部を助成する外国留学奨励助成金制度も用意されています。

※新型コロナウイルス感染症等の状況によっては、海外留学プログラムを実施できない可能性があります。

### アカデミック・インターンシッププログラム

アカデミック・インターンシッププログラムでは、国際日本学部が 協定を結んでいる大学で授業を受講したのち、インターンシッ プに参加ができます。実際に海外での業務実習を経験できる、 学部独自のプログラムです。

#### | ウォルト・ディズニー・ワールド提携 アカデミック・インターンシッププログラム

フロリダ州の州都タラハシーに所在する総合大学、フロリダ州立大学(FSU)で約10日 間の導入授業を受け、ホスピタリティや異文化理解について学んだ後、ウォルト・ディ ズニー・ワールドにて実際に「キャスト」としてインターンシップを行います。インターン シップ中も継続的にFSUの授業を受講し、授業で学んだホスピタリティを現場で実践 することができる人気プログラムです。FSUで修得した単位は、帰国後、国際日本学部 の単位認定申請をすることができます。このプログラムに参加するには、学内選考に 加えて、ディズニー社の採用担当者による最終面接を通過する必要があります。



#### アカデミック留学プログラム(4カ月~1年)

アカデミック留学プログラムとは、国際日本学部が独自で協定を結んでいる大学への留学プログラムです。現在協定を結んでいる、アメリカ・イギ リス・スウェーデンの17大学において、現地の学生と一緒にキャンパスライフを送ることができます。各大学の参加条件は以下のとおりです。 ※留学先によって、明治大学での成績が参加条件に追加される可能性があります。

オレゴン大学	定員:10名以內/期間:9月~3月(1学期間)、 9月~6月(1学年間)/TOEFL iBT®:61点以上		
ニューヨーク州立大学 ニューパルツ校	定員:10名以內/期間:8月~12月(1学期間) TOEFL iBT®:68点以上		
ハワイ大学カピオラニ コミュニティカレッジ	定員:10名以內/期間:8月~12月(1学期間)、 8月~5月(1学年間)/TOEFL iBT®:61点以上		
ビュートカレッジ	定員:10名以內/期間:8月~12月(1学期間)、 8月~5月(1学年間)/TOEFLiBT®:51点以上		
オローニカレッジ	定員:10名以內/期間:8月~12月(1学期間)、 8月~5月(1学年間)/TOEFLiBT®:57点以上		
フットヒルカレッジ	定員:10名以內/期間:9月~3月(1学期間)、 9月~6月(1学年間)/TOEFL iBT®:61点以上		
エドモンズカレッジ	定員:10名以內/期間:9月~3月(1学期間)、 9月~6月(1学年間)/TOEFL iBT®:54点以上		
エベレット コミュニティカレッジ	定員:10名以內/期間:9月~3月(1学期間)、 9月~6月(1学年間)/TOEFL iBT®:61点以上		
グリーンリバー カレッジ	定員:10名以內/期間:9月~3月(1学期間)、 9月~6月(1学年間)/TOEFL iBT®:61点以上		
※のカレッジは、3校で合わせて10名以内としています。			

ピアスカレッジ	定員:10名以內/期間:9月~3月(1学期間)、 9月~6月(1学年間)/TOEFL iBT®:61点以上
ショアライン コミュニティカレッジ	定員:10名以內/期間:9月~3月(1学期間)、 9月~6月(1学年間)/TOEFL iBT®:70点以上
コントラコスタカレッジ *	定員:10名以內/期間:8月~12月(1学期間)、 8月~5月(1学年間)/TOEFL iBT®:61点以上
ディアブローバレー カレッジ *	定員:10名以內/期間:8月~12月(1学期間)、 8月~5月(1学年間)/TOEFL iBT®:61点以上
ロスメダノスカレッジ *	定員:10名以內/期間:8月~12月(1学期間)、 8月~5月(1学年間)/TOEFL iBT®:61点以上
オックスフォード大学 ハートフォード・カレッジ	定員:若干名/期間:10月~3月(1学期間) TOEFL iBT®:61点以上
ルンド大学	定員:15名以内(政治経済学部の学生と合わせて 15名以内)/期間:8月~1月(1学期間)、 8月~6月(1学年間)/IELTS:6.0以上または TOEFL:BT*:72点以上
セーデルトーン大学	定員:15名以内/期間:2月~6月(1学期間)、 2月~1月(1学年間)/IELTS:5.5以上または TOEFL iBT®:72点以上

## **OB•OG MESSAGE**

## 外国人教員と協働する教育現場で、子どもの個性と向き合う毎日。



LCAグループ瀬戸SOLAN小学校 鈴木 慶樹さん 国際日本学科2021年卒業(東京都私立かえつ有明高等学校卒業)

子どもたちと遊んだり、笑わせたりすることが好きで、教育支援ボランティアを通じて貧困や戦争のもとで生きる海外の子ども たちの現状を知り、彼らの成長のために教育工学の知識を活かしたいと思い小学校の教員を志望しました。在学中の学びで特 に印象的だったのは、社会構成主義という視点。「現実は、私たちの関係性において社会的につくられる」という考え方です。た とえば、教室の中で走り回ってしまう子は、みんなが静かに授業を受けているときは問題児と先生や友達から見られてしまい がちですが、体育でリレーとなれば、元気に走れる人気者になれます。孤児や学習障害など、社会的弱者とされがちな子どもた ちと向き合い、みんなと対等に成長できる可能性を大切にしたいと思うようになりました。今の仕事に就くことができたのも、 教育工学という学問に出会えたおかげだと思います。現在は、国内外を問わず活躍できるリーダーシップの育成を重視する小 学校で、外国人教師とチームを組んで指導にあたっています。在学中に鍛えた英語でのコミュニケーション力を活かして、理想 の教育を追求することが何よりのやりがい。一人ひとりが個性を発揮しながら成長できる学習環境をつくることが目標です。

# 教員紹介・研究テーマ \*\*2023年4月1日現在 \*\*週期等により資更となる場合があります。

科目	氏名·職名	研究テーマ			
国際関係論	Vassiliouk, Svetlana 教授	Russia-Japan Relations ; Russia's strategy in the Arctic.			
日本的ものづくり論	呉在烜 教授	日本的ものづくり・システムの国際競争力、その海外移転、各国ものづくり・システムの比較			
言語と文化	大須賀 直子 教授	英語教育、中間言語語用論、言語学習方略、日英の言語文化比較			
英語学	大矢 政徳 教授	依存文法の枠組みに基づいた自然言語の統語構造の明示的定量的比較対照研究			
組織マネジメントと文化/知的財産と企業戦略	小笠原 泰 教授	テクノロジー革新と融合するグローバル化による国家、企業、個人間でのパワーシフト・バランスについての研究			
アジア太平洋政治経済論	金ゼンマ 教授	アジア国際関係論、アジア太平洋の制度的経済統合とTPP、FTAをめぐる政策決定過程の日韓比較			
日本語教育学/日本語	小森 和子 教授	第二言語としての日本語の習得の難易を決定づける認知的・言語的要因の解明			
日本社会システム論/ヨーロッパ政治経済論	鈴木賢志 教授	国民の価値意識と社会心理、日本と北欧を中心とした社会システムの国際比較			
映像文化論/映画史概論	瀬川 裕司 教授	映画分析の方法論、映画ジャンル論、娯楽文化研究			
日本語学/日本語の歴史	田中 牧郎 教授	日本語話彙の歴史的研究			
ラテンアメリカの歴史と文化/スペイン語	旦敬介 教授	アフロ・ブラジル文化、アフリカ大陸とアメリカ大陸の間の人と情報の往来、ラテンアメリカ文学、読書論、Creative writing			
武道文化論/スポーツ・身体運動文化	長尾 進 教授	日本武道の特性と、その国際展開に伴う諸問題について			
舞台芸術論/日本とドイツ	萩原 健 教授	現代の舞台芸術(主に日本とドイツ)			
心理と言語	廣森 友人 教授	外国語学習の科学:理論·研究·実践			
漫画文化論/ジェンダーと表象	藤本 由香里 教授	少女マンガ。特に「性別越境」や価値観・表現の変化を追う。マンガの国際比較論			
世界のなかのアフリカ/アフリカと近現代世界	溝辺泰雄 教授	アフリカ独自の近代化・自立的発展論に関する歴史的研究			
宗教と哲学/日本の哲学	美濃部 仁 教授	西田幾多郎とドイツ観念論における絶対的なものの研究			
日本漫画史/アニメーション文化論	宮本 大人 教授	漫画、アニメーションの歴史的研究。特に昭和戦前・戦中期における戦争とのかかわり			
文化共生論/移民政策論 山脇 啓造 教授		日本の外国人政策および多文化共生のまちづくり			
English	Rugen, Brian D. 教授	Literature and language teaching; discourse and identity; English language teacher education			
フランス文化論	鵜戸 聡 准教授	現代イスラーム圏におけるユマニスム、地中海文学、台湾語文化			
共生と学びのデザイン論	岸磨貴子 准教授	共生を拓く場/学習環境のデザイン、教育工学			
近現代日本文学	小谷 瑛輔 准教授	日本近代文学、文学理論、文芸批評、近現代日本文化			
テクノロジーと日本社会	田中 絵麻 准教授	ICT政策論、コンテンツ産業論、メディア・リテラシー論			
日本的流通システム論 戸田 裕美子 准教授		現代日本流通の歴史的研究			
English McLoughlin, David A. 准教授		Second language learning motivation; second language learners' causal attributions; the role of affect in self-directed language learning.			
日本表象文化論 興嶋 亜有 准教授		近現代日本のグローバル化とアイデンティティをめぐる諸相、生活文化・家族・精神構造といった日常生活からみる比較文化論			
日本先端文化論/現代都市とデザイン	森川 嘉一郎 准教授	漫画・アニメ・ゲームを中心とする現代日本の輸出文化、およびそのアーカイブ構築や展示手法の研究。都市、建築デザイン			
日本語教育学/日本語	柳澤 絵美 准教授	日本語の音声知覚にかかわる手がかりの解明とその発音教育への応用			
広告とメディア	小野 雅琴 専任講師	広告等のマーケティング・コミュニケーションのさまざまな情報が、消費者の製品評価に与える影響をテーマに、現象を包摂して説明する理論モデルを構築し、実証する研究			
ツーリズム・マネジメント	佐藤 郁 専任講師	観光学、ツーリズムを通じた産学地域連携、観光地のマネジメント			
日本の宗教/比較宗教論	Ward, Ryan M. 専任講師	近代日本宗教史、死生観			
ダイバーシティと社会	岩田祐子 特任教授	相互理解のための異文化コミュニケーション能力の育成/移動(mobility)とことば/言語による社会化の言語とジェンダー			
English	Groff, David K. 特任准教授	Translation studies, presentation of traditional Japanese culture in English, meditation and language learning, neurobiology of consciousness, language, and meditation.			
English	Davies, Brett J. 特任准教授	Intercultural communication, course and materials design, learner autonomy and peer learning, the use of authentic materials in the classroom, and film theory.			
ホスピタリティ・マネジメント論	Mary, Quek 特任准教授	ホスピタリティマネジメント、ホテル経営史、観光業			
English	Weinberg, Joel 特任准教授	Promoting fluency, motivation, comprehension, and confidence in L2 reading assignments via the integration of technology into the learning process.			
日本語教育学/日本語	安高 紀子 特任講師	タスクの違いがパフォーマンスや評価に与える影響			
English	Ellis, Sara K. 特任講師	Creative writing as a means of fostering audience awareness and reflective writing practices, pop culture and genre fiction.			
English	Garside, Paul 特任講師	Development of fluency and interactional competence			
メディア・アート	琴仙姫 特任講師	現代美術/映像・ニューメディア/キュレーション/パフォーマンス			
English	Frazier, Erin 特任講師	CALL in TESOL using virtual reality(VR), augmented reality(AR), artificial intelligence(AI)			
English	Leto, Mario A. 特任講師	Ecolinguistics, CDA, PDA, framing, metaphor, identity, appraisal, facticity, narrative, salience			